（昭和八年十二月十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

聯盟調査委員初めてわが民間代表と會見

加藤ハルビン商議會頭から北滿排日の實情説明

【ハルビン特電十四日發】調査委員一行は十四日午前十時より總領事館において加藤ハルビン商工議會頭、高橋居留民會長と會見した、委員の滿洲に於いて民間代表を訪問會見せるは初めてゞある、會見は約一時間半に亘り十一時半に終つたが、當日は全く兩氏よりの説明を聽取せるもので加藤會頭は事變前の北滿に於ける排日實情を説明し一々例を擧げ

一、一九二一年に日滿露人合辦の下に出來たハルビン取引所が支那官憲の壓迫に依つて一年後解散されたる事實
二、ハルビン、滿洲里、布哈圖の各市政に對する支那側の壓迫解散の事實
三、日本金圓の排斥
四、ハルビンに於ける土地貸付法壓迫

その他諸實例を列擧して北滿在留邦人の從來被れる不法なる壓迫を述べ、最後に滿蒙に於ける日本の權益を維持するには實力解決を民衆が望んでゐたもので、また滿洲の經濟的維持なくば日本國民の生存は期待されぬものであると強硬なる在留民の決意を述べた、民會側よりは高橋民會長出席おくれた爲め副會長が在哈四千五百人を包含する邦人民會の組織につき説明した

我國輿論の傾向を委員側に再認識せしむ

【ハルビン特電十四日發】十四日の加藤ハルビン商議會頭、高橋居留民會長の調査委員との會見は委員の滿洲における日本側民間代表との會見として最初のものであるが別報の如く加藤會頭より述べたる強硬なる決意主張は在滿日本民間の輿論を代表するものとして頗る委員側を注目せしめた、即ち加藤會頭は北滿における實情を述べたる後滿蒙における日本の權益は生命線でありこの懸案解決するには實力解決を、多年民衆の要望せるもので、これに對する幣原外交は徒らに支那側の歡心を買ひ却て支那軍閥の專横を擅にせしめたるのみであると政府攻撃さへ敢てなし、これに對する軍の行動は當然で若しこの日本の滿蒙經濟維持を阻害されるが如きことあれば民衆の輿論は聯盟脱退をも辭せぬものであると強調し強硬なる決意を述べて日本民衆輿論の傾向を委員側に再認識せしめた

顧維鈞も交へて英總領事館で會議

【ハルビン十四日發】十四日一時間半に亘る英國總領事館に於ける聯盟調査團の會議は顧維鈞も初めて參加した會議の内容は去る十日來蒐集した資料を基礎に主として

一、北滿に於ける日本軍の兵力
二、白系露人の北滿に於ける政治運動
三、白系露人と日本との關係
四、北滿に於ける日本人の現狀
五、北滿事變前後の情勢
六、北滿の一般情況
七、露國と滿蒙

等について意見を交換した

が今迄滿洲國要路と會見して得た調査資料を顧參與員に提供願の意見を求めたが、これに對して顧參與員は自分は南京政府側よりこれをみると前提し委員の提出せる調査資料に對し反駁を加へ反對意見を陳述した

蒙實情認識の上に立脚せる調査方針をもつて軍司令官、領事との會見において從來と異れる方法による調査に着手するものと見られてゐる、頭初のスケジュールによれば第二次奉天滯在は四日と豫定されてゐたが右の理由によりて調査内容充實のため、奉天滯在も一週間位に伸びる筈で、これに依つて

東鐵失業露支人陳情

【ハルビン十四日發】東鐵失業露……

三隨行員鮮人收容所を訪ふ

觀點を變へる調査によつて委員の滿蒙再認識の過程及びその結果こそ頗る注目さるべきである

【ハルビン特電十四日發】調査團隨行員アンジエリノ、ハース、ヤング三氏は十四日午後三時より傅家甸にある避難鮮人收容所を訪れ約千三百名の悲慘なる鮮人の生活を見、彼等が避難せる徑路、支那官民よりうけたる暴行、掠奪等殘虐なる行爲を被害鮮人男女から直接にいちく聞いて三氏も流石に驚いたかたちであつた、三氏は熱心に約二時間に亘り、遭難談を聽取

全露共産黨鋒先を反聯盟運動へ

哈市で盛んに煽動

【ハルビン特電十四日發】鐵橋爆破陰謀軍用列車顚覆など盛なテロを行つて人心を寒からしめた全露共産黨は其後影を潜めてゐたが、聯盟調査員の來哈と共に彼等の鋒先は俄然反聯盟の潜行運動に變りハルビンスカヤ、プラウダなる黨機關紙を秘密裡に印刷し東支沿線及ハルビン市中に撒布し反聯盟の煽動に躍起となつてゐる、ハルビンスカヤ、プラウダ紙には

一、プロレタリアの祖國はソウエート聯邦だ
一、吾人の敵は日本人のみではない聯盟調査員を派遣した資本主義國家だ
一、新しき勝利の運命はコムソモールの双肩に

等々の標語を乘せてゐる、其他同樣の宣傳文書がハルビン市中に多數秘密に配布されてゐるらしい

戰闘義勇隊員を逮捕

【ハルビン特電十四日發】ハルビン特區警察及びわが憲兵隊は協力して十三日夜ハルビン郊外ナハロフカに潜伏中の東支印刷所職工ガバコフ外七名を逮捕し更に十四日未明十數名を逮捕取調中である、右はいづれも全露共産黨北滿委員會の戰闘義勇軍に屬し松花江鐵橋爆破陰謀、わが軍用列車顚覆に關係あるらしく、又聯盟調査員の來哈に際し不穩のビラを撒布し調査員暗殺を企てゝゐたことも發覺した結果だとみられてゐる

支那側隨員に陳情文手交

○○○の一味から

【ハルビン特電十四日發】調査團の北滿視察を迎へて○○○一味が抗日的逆宣傳の陳情をなさんと密使をハルビン或はチチハルに入込

成功だつた

會見後兩氏語る

【ハルビン十四日發】リットン卿との會見後高橋居留民會長、加藤商工會議所會頭は交々語る

多年の排日侮日の實例を擧げた五十數頁に亘る英文の陳情書を提出し事件勃發の不可避性を強調しリットン卿以下一同は充分諒解し十四日の會見は大體成功と痛く感じて同五時半歸つた

十六日のプロ

【ハルビン特電十四日發】在哈中の調査委員は十五日の日曜一日を休息し十六日午前中東鐵路理事沈瑞麟と會見後張景惠氏と會見の筈で十八日ハルビン發チチハルに向ふ筈

呼海鐵道擔保に六百萬元借款

○○○二萬の部下を納河に移動

討伐軍と決戰を豪語

黑龍江省より十三日來長した權運局員の談によれば○○○は呼海鐵道を擔保としてソ聯國より六百萬元を借り入れるべくすでに調印を了したといふが右擔保金で同國より飛行機、野砲、山砲、迫擊砲等精鋭なる武器及び彈藥多數を買入れ更にこれによつてソ聯國軍の援助を受ける内諾を得たものゝ如く而して○○○は二萬の部下を黑河から納河縣方面に出動せしめ軍と一大決戰を交へると豪語してゐるといふ、一方呼海線の○○○に對しては彼れの部下の多くが當不滿の聲を放つてゐる模樣である【長春電話】

杏花屯を中心に首都建設の大綱

成案を得る迄に時日を要す

滿洲國の首都新京の建設は……

見送りませう

第八師團凱旋の勇士

乘船開始十五日午前九時半

安藤旅順要塞司令官ゆふべ着任披露

在連官民を招待して

山海關の形勢を報告

長春中心に測量着手

廣東の獨立確實

内訌説は南京側宣傳

學良、學生に應援を求む

都市計畫と宅地拂下

六月以降の滿洲事件費決る

十四日の閣議に提案

上海の居留民は陸戰隊が保護

列國の趨向に注意肝要を要す

植松指揮官語る

閘北の陸戰隊けふ撤收す

わが簡單なる處置に支那側感謝の意を

わが閘北行政事務所閉鎖

派遣軍の乘船終了

廿四日ごろ

けふ凱旋部隊

圓卓會議問題で外務省コムミユニケ發表

郭泰祺退院

自邸で休養

上海在留邦人四五千名減少

事變前に比べ

皇軍撤退後の居留民保護力

陸軍首腦部會議

委員提出の調査資料に反駁

列席の顧維鈞

觀點を變へ再調査に着手

從て滯奉期日伸びん

裝備を一新

圓滿にして

各校青訓演習の指揮官決定

外交部地方辦事處

滿洲國政府が奉天に設置

社說　日本人の對支感情

國際聯盟調査員は、日本が支那によりて加へられた、排日運動に因る損害と侮辱との頗る多大なる實狀を知りて瞠驚いたことであらう。而して多年これを隱忍して來た日本國民の心理狀態に關して、恐らくは不審の念があるであらう。蓋し、權利を尊重し、他の壓迫に對しては少しも之を假借する所なくして反撃せんとする西洋普通の心理を以ては、日本國民のこの隱忍は到底解すべからざるものであらう。西洋にても國力の薄弱な場合に、強大國に對しては怨みを呑んで屈伏することもある。しかし、日本は世界第三位の强國であつて、軍事力から見ては支那に憚かる理由は少しもない。尤も日本が不當な攻撃を支那に加へんとするならば、世界の輿論に遠慮することもあらうが、彼に猛烈な排日行爲がある以上は、何時でも支那を攻撃する正當な理由があつたのである。

◇

國際聯盟第十一條第二項には「國際關係に影響する一切の事態にして國際の平和又はその基礎たる各國間の良好なる了解を攪亂せむとする虞あるものに付聯盟總會又は聯盟理事會の注意を喚起するは聯盟各國の友誼的權利なることを併せて玆に聲明す」とある。支那の排日運動が立派に此條項にあてはまるものであることは誰が見ても間違ひはない。故に日本は夙に此條項によりて國際聯盟に訴へ、その救濟を求めてよい筈であつた。日本はそれを爲さなかつた。これ恐らくは權利思想の發達した歐米人の理解し能はざる日本人の態度であらう。

◇

抑も日本が斯くの如き極めて溫和な態度を執つて來たのには三つの理由がある。一は東洋の事は東洋で決す可きが順當である。日支間の問題は日支間で解決す可きものと考へたからである。二は支那の革命に同情して其完成を告げしめんとしたからである。過渡時代にありてはかかる盲目運動も有り勝ちのことであるから、そのために支那を責めては或はその革命の成就を妨ぐることあらんかを恐れたからである。これは九國條約を尊重して、支那の有力な中央政府が建設さるゝにつきて、良好な機會を與へんとする意識をも含んだものである。三には日本が隣邦の非を世界に發くを快しとしないからである。何故かといへば、排日行爲を暴露するによりて、自然に支那の國內的の無秩序狀態を、並に對外的不法行爲を遺憾なく暴露せねばならぬ此筆が世界に暴露さるゝならば支那は結局世界に立つ能はざる打擊を受けるであらうと考へたからである。

◇

尤も、日支不兩立といふのが支那人全部の考へ方ならば、これに對して打擊を加へる必要もあるのであるが、それは國民の一部たる國民黨の政策であり、しかも國民黨の全部の意向ではなくして其一部の考である。故に其中には內部から改善さるゝ機會もあらう。日本人もそれを助けてやりたいと考へて居たのである。然るに只に改善されないばかりか、愈々出でゝ愈々惡辣になり、且つ滿洲では張學良蔣介石諸氏の私慾を增進せんがために、益々排日運動を盛んにした。此處において日本の民心も漸く激昂して來た。丁度其時に奉天官兵の滿鐵線破壞が起つた。そこで日本は自衛的に軍事行動を起さゞるを得ざるに至り事に軍事行動に移つて相手も敵對行爲を爲す以上、日本軍としても亦自衛上相當の自衛的行動を執られればならぬ。又官兵に隨いで匪賊が續々起る有樣であるから、隨つてこれを討伐せねばならぬ。而して支那がこの事件を國際聯盟に提出したのであるから、日本は心ならずも、支那內部の無秩序な事、並に其對外非行を摘發せねばならぬ立場に置かれた。而して實は斯くの如きは、吾々日本人としては快しとなさゞる所である。

◇

先日我重光公使が爆彈を受けて症狀重態と見られた時、支那政府慰問使の手を執りて、苦痛呻吟の裡にありながら「日支兩國は永久に親友だ」と言つた。この「心」は即ち、日本が排日を受けながらも、國際聯盟にも訴へなかつた「心」である。斯くの如き、日本國民の支那に對する感情は、外間の人の理解する能はざる所であらう。道德の根本を異にする歐米人には東洋道德の眞諦を解するに苦しむであらう。殊に遠く東洋の地を離れて、日支兩國の政府の表面的交涉ばかりを聞知する人々には到底理解しかねる所であらう。

私鐵買收問題を中心に貴院側俄かに活況

各派それぞれ對議會策を練る

【東京十四日發】私鐵買收問題を中心に貴院の對議會策は俄然活況を呈し研究會では十六日會合し研究會の最高方針を定め、十六日には政務審査部の第六部會を開き久保田次官を招き買收案の說明を聽取する筈である、更に公正會は十六日午前十時より政務調査部の臨時緊急七分科會を開き床次鐵相の出席を求め說明を聽取し二十三日再び久保田次官、鐵道會議員大井成元男より鐵道會議の報告を求め最後の態度を決定する筈である、しかして目下靜觀主義を持して居るが政府の一部では貴院は七月十日の改選を控へてゐるため政府提案に反對は出來まいと都合の良い放送宣傳をなせるものあり、有爵議員連は憤慨の意を漏らして貴院としては全く嚴正公平な立場で協贊の任に當るべきなりとし何れも強硬なる態度を持してゐるので成行は注視されて居る

床次鈴木兩派の抗爭愈よ表面化

私鐵買收案を繞つて

【東京十四日發】床次鐵相が臨時議會に提出すべく決定せる私鐵買收案を繞つて、政局緊張の折から栃木縣選出の岡本代議士が十三日午後突如私鐵買收案反對の意見書を犬養首相始め貴衆兩院全部に發送、床次鐵相に對し挑戰的態度に出た事はその背後に森幹事長が控へてゐるので、鈴木系の陰謀と見られ、鈴木對床次の抗爭は臨時議會を前にして遂に表面化するに至つた、今回床次鐵相が高橋藏相を口說き落して三千萬圓の交附公債で八私鐵買收を決意したのは、若しこの買收案が兩院を通過する場合床次鐵相の手腕は內外齊しく認むるところとなりその聲望は啻に與黨を壓するばかりでなく地方的に床次鐵相の勢力增大を來たすを看取した鈴木派は、遂に公然これに挑戰逆宣傳を開始し、同案が貴族院で否決乃至審議未了に終らしむべく策動してゐるので、臨時議會は俄然暗雲低迷、軍部及び平沼氏中心のファッショ運動の成行と共に中央政局はいよいよ緊張を加へて來た

投書歡迎　中傷はさらす　五十行以內

とんだ誤解

美人座主

◇十二日の本欄で日出町子供神輿の世話人が、神輿と子供大勢を當店の前に止めて、當店で飲酒されたといふやうなことがのせられてゐましたが、右はとんでもない誤解でありまして、當店の立場において右の眞相を述べ、大方の誤解をときたいと思ひます。

◇私はかねてこんど日出町子供神輿の世話役なされた方と知り合ひであつたのと、この度始めて子供神輿をお出しになることを聞いたので、出來るだけのおもてなしをしたいと思つて、西通りをお通りになるなら是非立寄つて戴きたいと申し傳へたのであります。

◇世話役の方も西通りを通るといふのでこれを御快諾下さいましたので、お寄り下さいました子供さん達始め皆樣に對して、百人ばかりの子供さんには氷水を、十四五人の大人の方にはコール紅茶を接待したのであります。

◇勿論當時恰も他のお客さんで女優さんたちと一緒に見えた方もあり、また其他にも二三お客さんが見えてなりましたが、私共はこれらのお客さんと神輿の一行とは區別してゐたことはいふまでもありません。

◇元來神輿の渡御に對しては內地の各地では沿道あらゆる方法で湯茶その他御接待を申上げるのでありますが、大連では何故かこのことが少く、私共はかねて殘念に思つてゐたのでありまして、私共の奉仕的なこの心持がこんどの御接待を申上げることになつた次第であります。

◇世話役の方々が醉つて出て來たとは何をみられての言か知りませんが、誠に誤解に苦むところでありまして、かく誤解されては、私共として日出町の世話役の方に對して、何とも申譯が立たないのであります、右樣の次第を御諒解されんことをお願ひする次第であります。

「五月祭」の舞踊練習　きのふ大連運動場で

議會淨化に一路邁進する

隱忍自重議會の神聖を維持　民政黨幹部會で協議

【東京十四日發】民政黨は來るべき臨時議會對策に關し具體的對策を決定すべく十四日午前十時より丸ノ內會館に於て幹部會を開き若槻總裁以下各總務、各顧問等幹部出席野黨としての對議會策、特に議會淨化問題に關しては全力を擧げてその目的貫徹に努むべく、これがため黨員は隱忍自重して議會の神聖を維持する方針にてこれが實行方法として與黨並に議長と交涉し議會直前に各派交涉會に提案し正式の取極め方法を決定すべく協議しその他重要法案に對する態度についても意見を交換し正午午餐後引續き重要對策につき協議するところあつた

特別金融制度調査會議案

【東京十四日發】特別金融制度調査會は[illegible]首相官邸に開會、會長高橋藏相各委員出席し日銀發券制度改[illegible]附議し大久保銀行局長より[illegible]兌換券發行制度に關する件保證發行限度を十億圓に擴[illegible]議案左の如し

一、制限外發行は十五日を越え發行を繼續せんとする時は藏相の認可を要する事

一、日銀は十五日を越えたる限外發行額に對し年三分を下らざる割合を以て限外發行稅を納むる事、但しその割合は時々藏相これを定む

第二、日銀納付金制度採用の件

一、現行明治三十二年法律第五十六號による發行稅（制限內發行稅）制度及び政府當座預金利子上納制度を廢止し納付金制度を採用す

二、日銀納付金制度を左の如くす

イ、日銀は事業年度每に純益金より拂込資本金額に對する年六分に相當する金額及び日銀條令十條に依り積立つべき金額の最少額に相當する金額を引いた殘額の二分の一を政府に納付する事

ロ、純益金より前記金額及び納付金を引いた殘額が拂込み資本金に對し年四分の割合を越えた時はその超過金額の四分三を更に政府に納付する事

三、日銀條令第十條に依り積立つべき金額の最少限度を二十分の一と改む

第三、日銀參與官設置の件

一、日銀の重要なる業務につき日銀總裁の諮問に應ぜしめるため日銀參與官を設置す

日魯、北洋兩漁業合併

【東京十四日發】日魯漁業、北洋合同漁業兩者は十四日それぞれ株主總會を開き北洋漁業を解散して日魯に合併し新會社組織の件を決定した

チャプリン一行燕號で東上

日本料理を味つて

【神戸十四日發】上陸後菊水で寛ぎ川畑氏等の斡旋により日本料理に舌皷を打つたチャプリン一行は、群がるファンに押潰されさうな中を自動車で漸く神戸驛に辿り着き驛長室に入り小憩の上零時二十五分發「ツバメ號」の最後部展望車に乘り込んで市內見物もそこそこに神戸を辭して終つた

床次鐵相招待

【東京十四日發】チャプリンを迎へる國際觀光局では、平井事務官を沼津まで出迎へさせ佐原觀光局長からの歡迎のメッセージをチャプリンに手交し床次鐵相が我國固有の雅樂に招待することを傳へて出席を求めた

京大第二回滿蒙視察團

京大では曩に新城總長自ら第一回視察團に加はつて來滿したが更に第二回滿蒙視察團として大井、中村、戶田、竹崎、大杉、松原（以上十八日海路來連）矢野、小西（二十日同上）神戸、中澤（廿四日同上）の諸博士が渡滿、長春に集合して約一ヶ月に亘り奧地を視察する筈である、因に大連吉田會ではこれが歡迎會（會費三圓當日持參）を十八日午後六時、登瀛閣にて催すが、參加希望者は大連病院小兒科小林綾藏氏又は滿鐵地方部庶務課林周介氏（電話社內二二〇七）宛申込まれたいと

通化事件で外相謝電

關東軍司令官と日本空輸へ

十四日芳澤外相は通化事件に關し關東軍司令官及び日本空輸會社麥田氏へ宛左の謝電を寄せた

軍司令官宛　通化事件發生以來多大の御配慮を煩はし殊に于芷山軍顧問堀內少佐等の熱誠なる御援助により完全に救出の目的を達するを得たり、こゝに貴下貴軍の御厚意に對し厚く御禮申上ぐ、右關係各位によろしく御傳達相成度し

麥田氏宛　今回通化在留民救出に際しては定期航空路外にして、しかも匪賊の跳梁する最も危險地帶なるに拘らず貴社員の[illegible]なる活動により多大の成果を得たる結果所期の目的を達するを得たり、こゝに貴下並に社員の御努力に對し深甚[illegible]謝の意を表す

因に森島奉天總領事代理は[illegible]午前本庄軍司令官を訪問、[illegible]りの謝電を齎し通化事件に[illegible]感謝の挨拶を述べた【奉天】

早大の脱退承認リーグ戰繼續

東京大學野球聯盟と改稱　早大とは試合せず

【東京特電十四日發】六大學リーグの評議員理事綜合協議會は十四日午後七時から東京會館に開催、阿部、平沼正副會長外早大評議員も列席、先づ早稻田側よりこの際リーグを解散し學生の手に委ねられたいと希望を述べて退席、五大學關係者のみで協議の結果、早稻田の脱退を承認し五大學でリーグを繼續するに決定し、六大學野球聯盟を東京大學野球聯盟と改稱することの聲明を發表し、午後九時四十分散會したが、聯盟は規約を以て今後一切脱退校と試合するを得ずと發表した

紛擾中のリーグ戰

帝大先づ明大を一蹴す

【東京十四日發】紛擾中の六大學リーグ戰帝明野球第一回戰は十四日午後三時半神宮球場で明大先攻に開始

▲一回　明大有谷四球後二壘を盜み眞野の中右間の二壘打に有谷生還

▲二回　裏帝大遠藤二觸惡投で生き片桐四球、大塚のバントで走者三、二壘に進み高橋遊擊背後にテキサスを放つて遠藤生還、後兩軍得點に至らなかつた

▲八回　裏帝大一死後中村左翼に安打、梶原中堅に二壘打、遠藤四球に一死滿壘となり片桐打者の時二木逸球して中村生還、片桐右飛は梶原を還し帝大二點をリードした後明大の追擊ならず三A對一で帝大一勝、閉戰四時五十七分

バッテリー（明大）針持、山脇、中村、二木（帝大）高橋、片桐

滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は十四日午後二時三十分から總裁室に正副總裁以下在連各理事、山崎總務部、羽田、佐藤兩鐵道部次長、宇佐美奉天事務所長參集のうへ開催、前日に引きつゞき鐵道問題をはじめ航空問題等について審議、同五時半散會した、なほ宇佐美所長は鐵道問題に關する會議も一段落を告げたので[illegible]

同志社大學の西尾理事來滿

同志社大學教授理事西尾[illegible]は日本組合基督教會理事、主任として滿洲各地の皇軍[illegible]同時に慰撫傳道をなすべく[illegible]會より派遣されて十四日[illegible]丸で來連したが、[illegible]語る

新國家建設と同時に我々の上にも大變化があり[illegible]

【寫眞は西尾氏】

記者倶樂部惜敗

[illegible]

大觀小觀

[illegible]

青年の思想と缺陷

若宮卯之助

私は大正六年「帝國大學は必ず危險思想の苗床となる」といふ一文を發表した。當時は何を皮肉な事をいふか、といふ位の反響しかなかつたが、私としても、社會主義思想が昨今のやうに流行しやうとは、想像してゐなかつたし、大正六年といへば戰時景氣の眞最中でもあつたのである。私が、何故さういふ一文を草したかといふと、帝大の研究方法が間違つて居るためで、西洋を誤解し、西洋の知識をそのまゝ日本に適用出來ると思つてゐるのが彼等なのである。西洋人は日本の家族制度をいくら研究しても、理解し難いと稱して居る。又アメリカあたりでは、親は子供を養育する義務があるが、子供は生長しても親を扶養する義務はない、といふ事になつて居つて、日本とは大變樣子が違ふのである。が、家といひ家族といふ言葉は彼我同一である。即ち言葉は同一でも內容が異つて居るに拘らず、學徒は日本の家族と向ふの家族と同じだと取りたがるのである。政治經濟等人間關係の事はすべて部分的に違つてゐるが、言葉は同じで抽象的には同じであるが、具體的內容は異つてゐる。而してこの抽象的な方面だけを教師は見て教へてゐるのが大學及び高等の學校である。

すべての文化は西洋が代表してゐる、といふ觀念は、極最近になつて破產したものであるが、歐洲大戰前洋行した大學の教師は、自分の仕入れて來た西洋の知識を金科玉條として學生に注入する。かういふ誤れる知識が、文化、文明の中心をなす時、その社會は危險である。さういふ抽象的な知識、考へといふものは準備のものであつて、最後の考へにはならない。學校で教へる知識は、洋服の假縫ひのやうなものであつて、そのまゝ着たら大變なことになる。教師及び學生は、論理によつて一つの理想を組立て、これに直進するのを唯一の使命とする。勿論そのものゝ如何なる狀態が理想的であるかを考へて置くのは必要事であるけれ共、すべての關係が有機的に結合して、出來上つてゐる人間界に於ては、一擧にしてそこに理想通りのものを造るといふことは不可能であつて、それを理想の標準にしてすべてのものを見るのは危險であり、それよりも、その理想を實現するに、そもそもの糸口を、どこからするか、誰が責任を持つてやるか、何時やり出すか、この三問題が重大な事であるこの三問題を等閑に附して如何なる事も出來るものではない。單に机上において計畫した抽象的な考への全部を、一時にやつてのける事は全然不可能であつて、何事も最後は成行きに委せるといふやり方が必要である。

問題といふものは、解決し切るものではない。世間から、問題として承認されてゐるすべての問題は、勞資問題にせよ、選擧法問題にせよ、これ等は永久に解決出來ないものである。今日新らしい問題となつてゐるもの、多くは、よく考へて見ると、古くから問題とされて、なほ未解決に持出されたもので、一つの事すらこれを徹底的に理想的に解決し得ないのが現實であつて見れば、青年、學生の理想主義的な抽象的な考へといふものが如何に賴りないのであるかゞ分るのである。知識抽象的な考へといふものは、あくまで準備、入門のものであつて具體的にものを考へるの必要がこゝに生ずる。

大學や高等專門學校を出たばかりの青年といふものは、目隱しされた馬の如く、實社會においては何一つ纏まつたとが出來ない。又同じ才能であれば、學校出より給仕上りの方が成功率が多いのである。これは人生の具體的な生活から長い間離れてゐたゝめである。即ち長年の學校生活で、抽象的な知識を吸收し學生仲間では抽象的な論議で固められた判斷で善惡正邪を定めて行き、そのために實社會の生きた知識、考へといふものを缺いてゐたのであり、あまりにも抽象的な頭である。

これを具體的な考へをつかむには、どうしても經驗、實社會に生活して、貧富、老若、男女の要求をよく認識し、世間の裏表をよく觀察する事である。而して抽象的な考へに血や肉をつけ、具體的な考へとして如何なる事も行ふべきで、この事を行ふに當つては、曩に述べた三つの、何時からどこで誰かを決定するのである。何事も現狀をもつて滿足すべき事は一つもない、しかし人間といふものは、思想的には進步であるが、生活的には今迄の惰力から離れ難いものである。大多數の人間は習慣の生活といふ事をなしてゐる大多數の人間は保守的なもので、極一部分の人間が飛躍的であるので、それ故、宣言通りの結果を得た革命はない如く、新しい考へを一擧にして實現は出來ない。抽象的な考へは準備のものである。具體的な實行的な考へが、最後のもの故、これの貯蓄に努力すべきである。

市況（十四日）

株式

內地ボンヤリ五品軟調

特產　南支筋の買で大豆强調

錢鈔　無料にて當市變らず

商品　廳袋變らず綿糸軟調

市場電報　神戸特產

空巣や交通事故

一年中で「この五月が一番」

危険な子たちの自轉車乘り　花見に出掛ける人々の戸締

一般に注意が足らぬ

滿洲居住の人が花見に浮かれ出す五月……一年中で最も忙がしい目を見せられるのは警察當局でせう、大連警察署の石井署長は次の様な注意を一般に促してゐます

五月は 窃盗、交通事故が一年中で最も多い月で一年中に起る事故の三分の一を占めるといつた狀態です、これは今まで室内に閉ぢ籠つてゐた多くの人が花見に浮れ出す關係上自然事故も多くなるのですが、これも各自が餘程注意されたら比較的豫防が出來るものです、昨年の窃盗、交通事故の統計を見ますと

▲窃盗＝一月七七件、二月一八二件、三月一六四件、四月二一二件、五月二八五件

▲交通事故＝一月二八件、二月二一件、三月一九件、四月二六件五月三九件

この やうに五月の月は他の月に比べて事故がウンと増加してゐます、交通事故中でも最近は小學校の二、三年生位の兒童が向ふ見ずに乘り廻す子供用の二輪車の事故が非常に増加して來てゐるのです、この二輪車も十圓かそこらで手に入りますので、一人友達が持つてゐるとそれが流行してだん／＼大勢の子供が持つやうになり、果ては危險な自轉車競走をするやうになります、最も冒險的な時代の子供の事ですから彼等は喜んで危險な事を試み人通りの甚いところを嫌つてわざ／＼交通頻繁な市街に進出して危つかしい足どり、手ごりで乘り廻し角を廻るにしましても「左小廻り、右大廻り」とある

規則 なんか、まるで問題外で横道から大道に出るにも遠慮なしにどん／＼乘り出すなど冷汗を握らせられる場合が度々です、私共の經驗から見ますにこの二輪車に乘る子供は必ず事故を起してゐます、しかもこの事故はいつも大きく自動車に轢かれた場合など大抵生命まで失くしてゐます、でなかつたら一生を不具で暮さなけりやならぬ様な大怪我をするなど二輪車の危險率は大きいものです警察でも學校側に對して注意してありますが

子供 はこのやうな危險といふ考へは毛頭ないのですから親の方で充分考慮されたら怪我も未然に防げると思ひます、次に一般の交通事故としては人力車と歩行者との衝突が増加する事です、これもやはり不注意のために起るのですから注意して欲しいのです、次は五月になつて急に増える空巣覗ひです、これもやはり一家揃つて外に浮かれ出すために留守居のないのを幸ひ覗ふのですが、外出する場合は家を全く空けて出るのが最もいけないのです、止むを得ない場合は充分戸締をして

お隣 にでもその留守を告げて出られたら注意していたゞけるため比較的盗人に見舞はれる率も尠いものです、一家揃つて外出される場合は決して南京錠は使用されないことです、空巣を覗つてゐる位の者はいつも三、四十個位の合鍵を用意してゐますから自由に家屋内に侵入する事ができるわけです、南京錠が掛つてゐることは換言すれば今留守だからお好きな時にお入りなさいと正直に教へた事に外ならないわけですから南京錠は止してナイトラッチといつたやうな

合鍵 のない錠を使用される事をお進めします、警察でも餘程注意してゐますが自分は自分で充分警戒すると云つた心掛でゐられましたら被害も餘程豫防できるものです、萬一窃盗された場合は物の大、小、善悪に關せず屆出て貰つたら塀を越えて侵入したものボテを外して或は合鍵を用ひて、又は便所の汲取所から侵入したなど、その手口によつて警察では犯人捜査に非常に便利ですから出來るだけ盗難にかゝつた場合は屆出るやうにして貰ひたいのです。

乳幼兒期の榮養（上）

大連彌生高女校　今川ツネノ

「子供時代の榮養は其人一生の健康を支配する」とまで言はれてますが、わけても成長の極めて旺盛な乳幼兒期の榮養供給が至當であるか否かは其人の體質に大きい影響を持つことは何誰でもお判りになることでせう。私は此時期の榮養上特に大切な無機質の攝取について申上げたいと思ひます

×　×

この無機質の一般榮養上の作用をあげてみると

一、骨骼齒牙の發育を助け且つこれを堅硬不變ならしむ

二、活動組織細胞の原形質を構成する成分となる

三、筋肉の彈性、神經の刺激感受性消化液に酸性又はアルカリ性を附與して組織血液に一定の滲透壓を與ふ

等で鐵、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウムなどですが近時特に注目されて居るのは鐵分とカルシウムです

×　×

哺乳期の一年は母乳を唯一無二の榮養物として供給されますが、この母乳中の鐵分含有量は僅に〇・〇〇〇四〇三％といふ實に驚くべき微量ですから到底かの異常な發育の需要に應ずることは不可能な筈です、けれども實際に於ては哺乳兒は單に母乳だけで優良な發育をするのはルンゲ氏の研究に依ると初生兒の體成分中に含まれる鐵分の體重に對する頃は成熟した大人の體成分中の鐵分の體重に對する比の約三倍量あるからださうです。胎兒は母胎内で徐々に鐵分を貯へて三倍大の貯藏鐵を持つて生れて來るのです、然し出生後哺乳によつて成長して體重が分娩當時の約三倍になつたときには體重に對する鐵分の比が大人と同一になつて居ります、この時期になつてもまだ微量を含む母乳ばかりで榮養をとつて居ると其兒の榮養に必要な血液其他に鐵分補給が不足して榮養不良になり發育不完全になつて參ります

幼い子達の 强情・短氣・慾張り

通有性だからと「放つて置けない」

强情、短氣、慾張りといつたものは幼い子供の通有性とも見られるもので、これらの性格を持ち合してゐない子はないと斷言してよい位です、新入學兒童のクラスをあちらこちら覗いて見ますと先生の前も憚らず相手構はず盛んにつかみ合ひを初めてゐるなど元氣旺盛な子供許りです、しかしこの性格も一途に悪いと排斥すべきものではありません、大人の命令に動かないと

＝强情＝ だゞ叱り飛ばすのを世間では度々見ますが、子供だつて小さいながらも意志によつて動き、嫌な命令に從がはうとはいたしません、もしこの場合人の命令通り左右に動くやうな意志の弱い子供でしたらその子供の將來は案じられるのです、一體に餘り頻繁に命令を下しますと終には習慣となつて從順でなくなります、だから止むを得ない場合だけ注意を與へできるだけ叱言の連發を止めて、自發的に矯めさせたら割合に効果が擧がるものです、次に

＝短氣＝ ですが、短氣な子供は大抵自由の利く家庭とか老人がゐたり、家婢がゐて子供の世話を見る家庭とか、一人息子、末つ子の場合で、これは幼少時代に思ふ通りにして貰つたが主な原因となつてをります、彼等は我意が通らないとすぐ泣き出したり、怒り出したりする癖を持つて居りますがこれを矯正するのには今まで我意を通させてやつた受身の立場を轉倒して、兄弟があれば兄弟の面倒を見させたり、家の仕事を手傳はせて出來るだけ責任ある仕事をさせ色々の經驗をさせますと自然自分の意思通りにならぬ事を悟り氣が柔らかになります、次に人の物を見さへすれば何でも欲しがり、自分は一歩も讓らないといふ

＝慾張＝ の時代がありますが、これは誰もが經驗し覺えのあることで大きな聲で慾張りなどといはれない問題ですが、この慾張りも全然排斥してしまふべきではありません、全然慾がなかつたら無能も同じです、だからといつて慾張りで通させるわけには行きません、幼い時の慾張りは動物的で全く自己主義のものです、これは成長するに從つて自然矯正されては參りますが、幼い兄弟姉妹の多い家庭で一日中喧嘩をやり通されたら堪りません、これを避けるためには親は兄弟を公平に取扱ひ決して依怙贔負をやらぬやう、秩序を立て、どこまでも各自の所有品は區別するやうにしておきますと慾より起る喧嘩を豫防することができます

滿倶後援會 會員を募集

本社主催の實滿戰は六月中旬に擧行する豫定であり引續き外來チームが來連する筈であるが滿倶後援會では例年の如く左記會員を募集することとなつた

一、會員別　特別會員、會費金十圓以上一時拂（約百名座席ネット裏中央前部）▲甲種會員、會費金八圓（約六百五十名座席中央より三壘側）▲乙種會員、會費金五圓（約五百五十名座席は一壘側但し滿倶對大連實業の試合には座席を移す）▲丙種會員會費金三圓（約三百名座席は音樂堂附近及び一壘外側）

一、一般席の決定は申込締切後抽籤による

一、申込締切、五月二十日限

一、申込場所、市中の方は滿洲日報社内本村武盛（電話四七六七番）伊勢町山本運動具店（電話五九七九番）大山通體育堂運動具店（電話三七二三番）連鎖商店街體育堂運動具店（電話二二一五七番）連鎖商店街玉澤運動具店（電話二二二三七番）滿鐵社内は各課所に於て取纏め總務部庶務課經理係滿倶後援會（電話公衆八四三八番社公二一〇八番）

お父さまの趣味（十五）

却々自慢の魚釣り

心細い加賀寶生流の謠ひ手　語る丸山房子さん

お父樣の趣味なんて私困つてしまひますわ

水仙町の靜かな官舍で眼鏡の奥にさかしさうな眼をまたゝき乍ら、今年大連神明高女の五年をすました房子さん（一九）はほんとに困つたやうなお顔でした。房子さんのお父樣は溫厚を以て聞えた大連二中校長丸山英一氏で房子さんはその二女、お父樣の氣質をそつくり受けついだおとなしいすなほなお嬢さんです。

▲……▼

お父樣のおすきなものといへばまづ釣くらゐのものでせう、夏になると時々學校の先生方と一しよに夢城子あたりまでいらつしやいますが、釣つていらつしやるのは大がいはぜで大きなお魚なんかちつとも釣つていらつしたことがございませんの、それでいつかお母樣が「お父樣のは魚釣りでなくてはぜ釣りでせう」と仰言つたものですからお父樣がむきになつて「よし、それぢや大物を釣つて來るぞ」とおつしやつて馴れない舟に乘つて釣りにお出かけになりましたら、釣どころかすつかり舟に醉つてはぜの子一匹釣らないで青くなつておかへりになつたことがございましたのよ。それでゐて御自分ではどこまでもお鼻が高いのですからかまひませんわ、毎年秋になると一度は必ず中等學校の校長先生方で龍王塘の鮒釣り會をなさいますけれど、一度も私共を連れていつて下さらない所を見ると矢張り御自慢ほどでもないんでせう。

▲……▼

ふだんは學校のお仕事がお忙しいし、別に將棋や碁もなさいませんから、お夕はんが濟むと家の者を相手に麻雀をしたり弟たちとお相撲をとつたり、五目並べをしたり、新聞をよんだりして大がい家にいらつしやいます、學校ではいろ／＼心配な事やうるさい事があるでせうけれど、家へかへつたらもう學校の問題には觸れたくないといつた御様子で、着物にきかへるとゆつくりくつろいで新聞を讀むのをたのしみにしていらつしやいます。

▲……▼

先年歐米へいらした頃は恰度寫眞に熱中していらした時分でしたからあちらこちらの風景を澤山うつしていらつしやいましたが、この頃は寫眞機もどこかへ押こまれてしまつてゐます、體が太つてゐますから學校の遠足等でもないと進んで遠足をなさる程のこともございませんが、先だつてから學校でテニスをやつていらつしやるやうです。音樂はとり立てゝお好きでもありませんが、謠曲だけは若い頃二三年加賀寶生流とかを學んださうで、今でも時折謠本をひつぱり出してゐる事があります、でも本がなくては一くだりも自信がないといふのですから心細いものでございますわ。

滿日各地版

漸く六ヶ月目に戰死兵の遺骸發見
鐵嶺に淋しく凱旋

【鐵嶺】昨年十月中旬通遼附近の戰鬪に於て戰死せる鐵嶺守備隊第四中隊軍曹黑木靜江氏、上等兵兒玉良作、箱崎光、吉田喜平等の遺骸は死後半歳を經るも發見されず止むなく去月慰靈祭を行ひたるが其後安藤中尉の一行が戰死現場附近に出動して遺骸捜査に全力を注いだ結果漸くこれを發見、同時に行方不明となつてゐた砲兵勇士の遺骸も發見したので即時荼毘に附し十三日午後九時着列車で遺骨を護送して來た、驛頭出迎への人達は白木の遺骨を迎へて更に涙新たなるものがあつたが戰死說傳はつて以來半歳の間杳として發見されなかつた遺骸を發見し得たるは故人の靈に對しても最大の慰めとなろう

匪賊、五道溝の分署を襲撃
電話を破壞、武器强要

【安東】十二日午前二時頃大刀會匪于子四の部下約廿名が五道溝地方警察署分署を襲撃し電話を破壞して通信不能に陷らしめ兵器の提供を迫つて署員一名を拉去した安東憲兵分隊では直に梅木班長以下六名が地方警察署員十五名を率ゐて騎馬で出動し情況偵察の後正午歸隊したが左の如く語つた

襲撃したのは二千名位だが城外に約百名、直ぐ前の山の背後に約三百の大部隊が居た模樣で附近を偵察したが草木が青々と茂つてゐる爲め殘念ながら發見出來なかつた、彼等は兵器を掠奪する爲めやつて來たものらしく拉去された分署員一名も無事歸つて來たが、匪賊も地方に居ては掠奪する何物もなく食物を得る爲めに段々都會地に接近して來る形勢があり殊に今朝襲撃された五道溝の分署など安東から僅か二里ばかりの距離で騎馬なら一時間もかゝらない位だから何時匪賊の侵入襲撃を受けるかも知れず全く油斷が出來ない

海城蓋平縣下に紅槍會匪横行す
討伐隊との交戰頻々

【大石橋】▲海城縣第八區分局長の報告する處によれば十二日午後四時頃遼陽縣第七區自警團長直仇東は部下百餘名と海城縣第九區鴨子蛇に於て紅槍會匪と交戰の結果直團長以下四名戰死した、遼陽縣警察隊百餘名于芷山討伐軍四百名はこれが應援のため目下遼海兩縣境なる接官堡を鴨子蛇に向けて前進

▲海城縣縣警務局長以下百名の討伐隊は午後三時西荒地に到着した

▲十二日來海城縣鴨子蛇に蟠居中の紅槍會匪賊團は十三日朝來縣警務局長及び縣大隊長の率ゆる警察討伐隊並に接官堡より南下せる遼陽縣警察隊に包圍的討伐を受けたため賊團は鴨子蛇の西北方なる高蛇子方面に向け逃走せるを以て討伐隊は之れを追撃中である縣警務局長は鴨子蛇に於て全員の指揮の任に就いた

▲十二日午前十時頃城內を距る西北方約六邦里趙馬河子に三四十騎より成る匪賊現はれたるを以て蓋平縣警察隊第二中隊長牛得坤の率ゆる討伐隊出動二時間餘に亘り交戰の結果漸く賊を擊退したが賊は逃走に當り五名の死體を遺棄したなほ重傷捕虜二名を得たが討伐隊中馬巡警は賊彈を受け名譽の戰死を遂げなほ討伐隊中三名の負傷者を出した

大刀會匪 輯安に入城

【安東】十二日通溝（輯安）對岸の美他より安東署への情報に依れば輯安城內は縣長の威令全く行はれず、依然として混亂狀態に陷つてゐるが十一日夜來から鴨綠河に潛伏してゐた反軍公安隊六十名は漸次移動し來り十二日早朝を期して城內に侵入した、又一方反軍の

盛會を極めた鐵嶺の日滿聯合運動會

殉職二警官 悲しき姿で歸溪
十四日盛大に市民葬

【本溪湖】通化方面邦人救出の爲め出動し五月一日二道河口に於て大刀會の大集團と遭遇し惡戰苦鬪の結果名譽の戰死を遂げた本溪湖署坂元警部補及皆島巡査部長の遺骨は戰友に護られて十二日午後四時奉天着、奉天警察署に一先づ安置されたが本溪湖署より寡村警部、光永高等係、村田巡査の三名と坂元未亡人及令息、令孃四名は十二日午前十一時發出奉し遺骨を受取り十三日午前十一時〇四分着列車にて遺骨を靜かに持して歸溪全市民は此の勳功に輝ける二勇士を迎へる爲め驛頭を埋めるの未曾有の人出で如何に殉職者に對し感激の念を抱き居るかを如實に現し涙ぐましきまでの場面を畫いた而して時局委員では協議の結果十四日午後一時より小學校庭にて市民葬を以て警官二勇士の英靈を赤誠以て弔意を表した、委員左の如し

▲葬儀委員長大岩銀象▲庶務係野村、山本、小林（清）小原（以上本溪湖）下田、有村（下馬塘）▲設備係溝上、赤杉、山根、太田、松林▲受付係谷口、野呂、中村、橘立、光永▲弔電係嘉村▲進行係尾崎、中井、西松▲場內整理係在鄉軍人▲花環係田中、小林、小原

ために解放された「教養公館」の不良者四十名も城內に在つて跳梁を極めてゐる、ために城內各商店は全部閉鎖し今や各方面への避難民で大混雜を極めてゐると

洮南に匪賊

【洮南】五月十日午後九時頃洮南南站附近居住雜貨商張發周方に各自拳銃を所持せる匪賊七名侵入し家人を脅迫し現大洋九十元を强奪し何れへか逃走した、急報により洮南警務局第三分局に於て嚴重捜査中である

新立屯に匪賊

【洮南】五月九日午前八時頃洮南縣西北方約八十支里新立屯に頭目國好の率ゆる八十餘名の馬賊現はれ同地に於て朝食をなし强奪暴行を恣にし西方に向ひ移動した

四洮鐵路管理局の警戒

【四平街】四洮鐵路管理局にては時下匪賊跋扈の現狀に鑑み一般局內居住者の保護に萬全を期する目的を以て同局周圍及び局內に張られたる電線に去る十日より每日午後七時より翌日午前六時迄發電所より送電してゐる

開原青年團 七年度行事

【開原】開原青年團は十日午後七時地方事務所會議室にて幹事會を開催し今年度の行事を協議し左の通り決定した

五月十五日野遊會、六月十日時の宣傳、同十九日スポンヂ優勝旗爭奪戰試合、七月十七日庭球大會、同月廿三日レコード演奏會、八月七日川狩り、同十四日體育ボール大會、九月八日商店訪問競爭、期日未定遠足、九月廿三四五日スポンヂ優勝旗爭奪試合、十月鞍山見學、十一月三日劍道大會、同廿日兎狩り、一月義士會、期日未定ピンポン大會、二月珠算競爭、三月辯論大會と春季總會

尙此の外每月の行事として青年カード配布座談會早起會講演及在鄉軍人分會の射擊大會に參加する事

鐵嶺から出動の警官歸る

【鐵嶺】通化在留邦人救助の爲め鐵嶺署より選拔出動を命ぜられた渡邊警部、千葉警部補、岩崎、吉田、平岡、清水の六氏は十三日解散して午後四時半着特急列車で開原、四平街の選拔警官隊十四名と共に鐵嶺に到着した、鐵嶺官民總百名はホームに出迎へ以下を取圍み祝辭や慰問の包圍攻擊で驛頭は全く凱旋將軍を迎へるやうな觀があつた警官一行は連日の苦鬪を物語るものゝ如く顏は何れも赤銅色に焦げ見違へるやうな姿であつたが元氣頗る旺盛怒濤のやうな萬歲の聲に送られて本署に去る事となつた

通化脫出の邦人等を慰問

【奉天】森島總領事代理は十二日夕刻總領事官邸に興津副領事以下通化避難邦人及び警官隊合計三百餘名を招待して盛大な慰勞宴を張つた

四洮局日語學校
十二日から授業開始

【四平街】最近滿洲國人側に日本語の修得熱勃興しつゝあるに鑑み四洮鐵路管理局にては日本語教育を開始すべく計畫をたて希望者を募集した處局員及び其の子弟より希望者は實に三百名を突破する狀況に幹部に於て協議の結果四洮日語學校といふ名稱にて去る九日同局に於て盛大なる開校式を擧げ講師は日本人二名滿洲人二名（何れも同局員）にして既に十二日より教育を開始した尙四洮局附屬たる四洮小學校に於ても本年度より日語科を正科とし廣く國語、歷史等も教育し人情風俗等に就いて深く理解せしめる樣努めつゝあり日滿の感情と意志を相互に融和せしむる爲めにも稗益する處頗る多く日滿あらゆる方面より好感を以て迎へられて居る

鎭江山の雪洞

【安東】櫻の開花と共に一段と鎭江山々一美觀を添へてゐた雪洞は櫻の落花で人足も少くなつたのでいよいよ十五日の日曜から取入つた

鞍山興盛廟 春祭り
滿洲國人各地より集り

【鞍山】鞍山興盛廟春季大祭は既報の如く十三日午前十一時より祭典を嚴肅に執行されたが來賓として松木警察署長、小野寺地方事務所長、岡本憲兵分遣隊長、佐藤郵便局長、各課長等參列定刻導師の讀經燒香あり、祭典委員長高知九氏の昇黄表の儀行はれ燒香禮拜、祭典委員の燒香、來賓代表の燒香ありて餘興團體代表の禮拜、餘興の奉納、祭典委員長の閉式の辭あり式典終つたが、當日は早朝より例年の如く營口、大石橋、海城、遼陽、奉天等より滿洲國人の參詣者數千名に達し社頭は文字通り立錐の餘地なき人山を築き高足踊、龍頭踊、獅子舞、手品其の他數種の餘興ありて夜は活動寫眞を公開し煙火は絕えず打ち揚げられ空前の大盛況を呈した

傷病兵還送
遼陽發大連を經て

【遼陽】遼陽衛戍病院に收容中の傷病兵十二名と北方の衛戍病院に收容中の傷病兵三十名合せて四十二名は十三日午後十時七分遼陽驛發列車で大連經由內地に還送された

鐵嶺の優良赤ちゃん表彰

【鐵嶺】滿鐵社會係主催の赤ちゃん審查會は十三日第一審查を終つたが今十五日午後一時より滿鐵クラブに於て優秀嬰兒のみの再審查を行ひ等級を定めたる後直に表彰式と賞品授與引續き母の會を催す

開原守備隊の內部檢查

【開原】開原守備隊は十、十一の兩日にわたり田所大隊長來開の上嚴密なる內部檢查を行つた

日滿人聯合して營口の大運動會
融和、親睦、祝賀の渦

【營口】營口に於ける日滿聯合の建國祝賀大運動會は十三日商科高級中學校體操場で開かれた、前日からの强風にもかゝはらず折からの快晴に惠まれ和氣藹々裡に集へる日滿人無慮四萬人を算した營口はさしもの大運動場も觀衆內外に溢れ整理委員に多少の困難を與へた程があり又其程空前の盛大さを三千萬民衆の前に力强く與へたであらう、午前九時先づ群立爆竹に開會は宣せられ同時に定刻前より

貴賓席

に着席せる楊、荒川兩會長はさすがに歡びをつゝみ得ざるなごやかな笑をたゝえ副會長金、門間兩氏に國旗の授與式を行つた、過ぐる事中刻國旗は商業學校生徒の樂隊演奏に希望の前途を祝福せるものゝ如く莊嚴裡に高く揭揚せられ參觀者等しく歡呼を以て迎へた、次で兩國々歌は各學校兒童生徒に依て合唱せられ參集者又も期せずして拍手萬雷の如く湧き起り十時廿分楊會長より營口における日滿兩國民は今日此處に聯合運動會を開催す一は此の期に於て兩國建設を祝賀し一は此の期滿洲國民が親善を益々深ふせん事を希望す參加團體は此の趣意を體し潑剌たる意氣を示さん事を希望す

このべ愈々豫定のプロにうつた滿洲側小學校生といひ日本小學校生と云ひ共に催しを

賑はし

しダンス、リレーを問はず共に祝賀新興にふさはしいものであつた閉會に際し荒川氏は略楊氏と同樣の趣意の辭を以てし大盛會裡に終了した

酌婦のドロン

【奉天】奉天柳町一山樓抱酌婦金彌事太田ハツ子(二)は兩三日前登樓した橋立町十三中島武次郎(二七)と共に外出した儘逃走したので樓主より捜查手配に依り十二日安東署の手に發見され十三日午前六時二十分着列車で連れ戾され金彌は再び苦界の勤めをなす事となつた

戀の逃避者 夫々捕はる

【奉天】合緣奇緣の文句通り妻まである分別盛りの男と娘のやうな女との戀の戲れが何時しか眞劍となり戀愛の淨土を築かんと內地へ道行きを志したが遂に警察の厄介となつた春にふさはしい戀愛物語—琴平町阿部某(三七)假名は同町カフエー銀鈴に女給をしてゐたまつ枝(二四)といふ阿部某の妻女の妹とまつ枝が姉を賴つて來奉中に戀愛な間柄となり昨年周圍がうるさいまゝにまつ枝を一先づ歸國させて落着したが昨年十一月頃再び來奉したまつ枝は○○座に勤務することゝなり二人の間は再び燃え上つた、最近に至り遂に二人の仲は妻女の知るところとなり家庭爭議を卷き起す始末、阿部はまつ枝を歸國させると九日午後十時五十五分の列車で手をとつて道行きを決行した、躍起となつた妻女は直に行方不明の夫の捜查願を警察に提出したので女は釜山で男は安東で手配に依り取押へられたがこの三角關係の家庭爭議は今警察の手に握られて解決を待つてゐる

沿線往來

▲大連大正小學校團 十三日熊岳城へ
▲公主嶺小學校團 同來奉
▲高岡市實業視察團 同大連へ
▲佐世保中學生 同安東へ
▲大阪市南區學校長團 同來奉

本間俊平氏講演

【鐵嶺】修養講演の大家として有名な本間俊平氏は來る十八日來鐵し同夜七時より滿鐵クラブに於て講演の筈

坂田上等兵遺骨

【安東】四月廿四日未明湯山城分遣隊步哨勤務中名譽の戰死をとげた故坂田上等兵の遺骨は安東守備隊の赤羽上等兵に捧持され十四日午前六時四十五分發で一先づ大連に赴き船便で故鄉長野縣小縣郡丸子町に歸還する事となつた

海城

海城の花祭り

十三日は釋尊の御誕生日に相當するので海城寺に於ては御堂の內外を美々しく飾りつけ花祭を催した朝來風强く砂塵吹き荒む中を老幼男女の御參詣多く正午頃は小學校及幼稚園の兒童で賑はひ甘茶やお菓子の接待があつた、午後一時より餘興となり塚本公醫夫人の指導で成清、清水兩孃の琴と三味線の合奏に初まり丸正のお嬢さん方はお得意のお座敷踊で一寸氣分を變へ他山驛の蜂光若○の浪花節乃木將軍と辻占賣は米若のそれに似て面白く其他田邊夫人の新作物のお琴などあつて參詣人を喜ばせ盛會裡に四時散會した

憲兵分遣隊長更迭

昨年事變以來海城憲兵分遣隊は築谷隊長を首め奉天其他へ出張中であつたが築谷氏は先般退職民政部へ入り、後任として曹長前田正氏が十二日着任した

多田郵便局長榮轉

海城郵便局長多田繁氏は今回開原郵便局長へ榮轉近く赴任の筈

鞍山

小旬子部落で匪賊と交戰

十二日午後二時ごろ匪賊頭目海霞三勝の率ゆる部下一團は海城縣小旬子部落に於て劉二堡の自警團及び王總連長、王旭東の率ゆる騎馬隊約三十騎、徒步隊約百名と午後九時まで交戰し、王總連長及部下二名は戰死し負傷兵五名を出したこの戰鬪に於て賊も多大の損害を蒙つたが暗に紛れて西方に逃走した、劉二堡北區自衛團及區長等は目下賊跡捜查中なるも不明である

鞍山雜信

鞍山社員俱樂部幹事會は十八日午後四時三十分より俱樂部に於て開催すると

◇

鞍山警察署より通化方面の邦人保護の爲め出動中の五警官は十三日午後二時五十三分着急行列車にて無事歸鞍した

安東競馬
廿一日から

【安東】安東競馬は愈々來る二十一日から六日間（二十一日より三日間、二十五日より三日間）開催することとなつたが昨年も一圓で八百圓を！と云ふので滿鐵沿線は勿論、京城、平壤或ひは遠く南鮮方面からもドシ／＼と押しかけ人氣を煽つたが本年の春季競馬からは出場馬數も增加し大連、奉天方面からの新馬も參加する筈で、從來の馬券一等八百圓を本年から千圓に引上げたのでファンの胸は今から高鳴つてゐる有樣である、倚ほ之人筋も每日々々の調教振りを見て夫々研究を重ね時季到來さこそ見物であるべくその好況が豫想されてゐる

鞍山の競馬
興盛廟の大祭と併せて大いに賑ふ

【鞍山】鞍山乗馬會主催の春季競馬大會は既報の如く十三日午前十時より鐵道西明治通り競馬場に於て第一日は開催された、恰度當日は興盛廟大祭のこと〻て南は營口、大石橋、海城より北は遼陽、奉天、撫順等より多數來鞍し定刻には無慮數千名の人山を築き、有信飯店、農商務聯合會、柳町の一樂等より寄贈された優勝旗は若葉薫る空高く飜り、出場馬百數十頭は休馬場に勢揃ひをなし我れ劣らじと意氣込んで居る、出馬係の合圖により第一レース丁組六頭はコースに雄姿を現はし佐藤審判長の合圖によつてスタートは切られた、騎手も馬も最大のスピードを出し決勝を競へば勝馬投票の觀衆は男も女も熱狂し第一レースは「愛宕」が一着の榮冠を得た、この頃から觀衆は益々增し快晴に惠まれ午後二時には一萬數千人に達し次から次へとレースは進みいよいよ熱狂したが第十三レースの馬主伊藤鎰太氏の「滿月」は斷然リードし着差三十馬身を以て第一着の榮冠を得、また第十七レースに於て馬主八畝田龜吉氏の「天祐」はこれまた斷然第一位を占め第十八レースは四分の三コースを以て左の福券付レースを行つたが福券一等の幸運は北二條町能登谷サカ氏に、二等は鐵道西北一番町平田アサノ氏、三等は北二條町二〇九ノ一一中尾才兵衛氏に當籤し大盛況裡に午後五時十分第一日を終了した、因に當日の五十錢券最高配當は四圓三十錢にて總賣高は六千七十一圓五十錢である【寫眞は賑つた春競馬】

開原

秋山憲兵伍長榮轉

開原憲兵分遣隊伍長秋山雅助氏は今回奉天本部附を命ぜられ十三日午前十一時四十六分發列車にて離開赴任した、後任には熊本憲兵隊より伍長齋藤勝馬氏が十一日着任した

匪首中華蠢動

昨秋昌圖東方沙岡子炭坑に立籠り昌圖開原附近を橫行した賊首中華は本年一月錦州方面に逃走したのであつたが一兩日前部下數十名を引連れ再び沙岡子炭坑に舞ひ戻り各地の賊徒と連絡を採りつゝありと

本溪湖

植田署長赴奉

本溪湖警察署長植田德次氏は岡田警部補を帶同して十一日午前八時半列車にて赴奉用務は通化方面にて名譽の負傷をし飛行機にて送還された本溪湖署立石巡査の見舞及び署用打合せのためで同日午後五時歸溪

公主嶺

オロツコ代表講演

樺太土人オロツコ族代表フロピウイチの講演會を十三日午後七時滿鐵俱樂部に開催した當夜の演題は「樺太民族は何を思ふか」と題し樺太土人の生活實情と風習及言語と傳説、滿蒙民族と樺太民族の關係、東洋民族の古代中世と現代について日本人以上の巧な內地語により熱辯に多數の聽衆に感動を與へた

陸大生來公

既報戰史旅行陸軍大學生六十二名は瀨川中將引率の下に十一日來公丸福旅館その他に分宿十三日北行した

五家子入りの鮮農出發

第五回五家子入りの鮮農五十餘名は十二日午前七時警官二十名の保護の下に公主嶺を出發した

匪賊の動靜

伊通縣東大溝の北方三十支里の部落に十日正午各自長銃及拳銃を携帶せる五十餘名の騎馬賊移動し來たり大掠奪を計畫しつゝありとの情報に伊通縣より三百名の保安隊が出動したので賊は交戰を避け南方に移動した、一方十一日午前八時郭家店の南方二十五支里伊通縣孟家嶺に頭目九江が率ゆる三十名の馬賊の一團現れ折から通行の荷馬車夫楊及傅の兩名を威嚇し挽馬七頭を強奪の上北行した、同日午後五時郭家店の南方四十五支里伊通縣高麗皮子頭目金不換の率ゆる四十名の騎馬賊移動し來り前記保安隊と交戰の結果賊は三名の戰死者を出し南方に向け逃走した

遼陽

森氏令弟死去

公主嶺地方事務所長森景樹氏は令弟死去の報に十二日午前九時三十五分發の急行で郷里に急行した

電燈に扁額

遼陽電燈公司が創業二十周年記念として城內貧民學校の維持費に金一千圓を寄附せるに同校から數日前「樂善好施」と書いた縱三尺橫六尺の扁額を公司に贈呈した

深尾氏轉地

遼陽城內特產商深尾準滋氏は舊臘來滿鐵醫院に入院中のところ餘程輕快に赴いたので十三日急行で夫人附添ひ朝鮮經由で滋賀縣八幡に轉地療養のため出發した

小學校遠足

遼陽小學校では十四日午前九時から全校生徒の太子河畔遠足を實施した

洮南

憲兵隊昇格

從來洮南憲兵分遣隊は少員數を以て治安維持に當つてゐたが當局にては時局柄增員の必要を認め今般愈々分隊に昇格し人員數名を增加する事に決し下士以下數名は既に當つてゐる、なほ分隊長は前東京憲兵分隊長前田直美大尉に決し近日中に來洮する筈

不穩落書發見

驛監調查員の來洮期を控へ當地日滿兩軍警は日夜嚴重警戒して居るが十日洮南城內守備隊兵舍萬福麟公館前支那家屋の壁に「打倒小日本才好」等白墨にて大書しあるを通行中の邦人發見し洮南憲兵分遣隊に届出た、同分遣隊にては直に現場調查の上守備隊と協議し內偵中である

安東

荒木軍曹離安

安東憲兵分隊に在る事約四年間、事變後は滿洲街方面を擔當して日滿兩官民の信望厚かつた荒木軍曹は十日附を以て大連分隊勤務を命ぜられ十四日離安、赴任することゝなつたが同氏の退安は各方面に惜まれてゐる

朝日校修學旅行

朝日小學校六年生八十二名は十一日午後五時廿五分發で京城、仁川方面へ修學旅行を催し、五年生七十名は十六日午後八時四十五分發で奉天方面へ旅行する事となつた

兩女史送別會

大和小學校同窓會では今回勇退した岡田、三浦兩女史の送別會を十五日午後二時から公會堂で催すと

大石橋

蓋平自治執行委員會

蓋平縣自治執行委員會では昨日午前十時より縣公署に各委員を招集し左記事項の決議を爲した

一、夏季警戒準備として來る十五日頃警察分署長會議を開催し尚ほ日を定めて警察分隊長を召集し討議を爲すこと

二、地租畝税の完納辦法として三十畝以上所有の農家に對しては各區分局に於て即時納付方を勸告せしめ若し遵はざるものある場合は相當處分の法を採る事とし所有地三十畝以下の者に對しては別に督促員を派遣し各戶毎に嚴重督促徵税すること

三、銃器取締の爲め縣公署に於て當分所持證明書を發給するも將來省公署の執照を受けしむる事

四、警察官の腕章制定に關しては縣長及指導員に於て協議の上適宜作成の法を採ること

五、地方公欵不足せるを以つて商務會預の市政貸欵を回收し速に準備金に充當する事

五警官凱旋

四月二十七日通化方面險惡の風雲に滿つるや突如邦人救出の重任を負ひ一路同方面に向つた大石橋警察勤務森田木田井上白鳥中川の五巡査は奉天に於て警察中隊長田上警部の指揮の下に通化に到り萬難を排して邦人救出に努めた、通化西方約二里半二道河口に於ては約五千と傳へらる〻敵匪と交戰警友坂元警部補皆島巡査の殉職に悲憤の涙を呑み五月四日迄三日三晩山を越え九日午前七時喙木臺子に於て完全に邦人を救出し使命を果たし十三日歸着した原田署長は午後四時五分着列車にて眞黑に陽に燒けた五名を迎へるや感に滿ち驛構武館に會し一行の無事凱旋を祝つた

本間氏講演

社會思想善導のため基督教本山より派遣せられた本間俊平氏は各地巡回講演中のところ十二日午後零時五十一分着第一一列車で來石午後七時より滿鐵社員俱樂部で一般のために精神講話を爲し同夜驛前梅酒家旅館に投宿し十三日午前十時より同俱樂部で婦人職合會のため再び講演を爲し午後零時五十六分發第一一列車にて鞍山に向つた

岩木警部補

通化邦人救出のため名譽の戰死を遂げたる警察官葬儀列席のため署長代理として岩木警部補十四日午前三時發第一三列車にて出發した

反田警部補

大石橋警察に於ては殉職警部補の後任として本日開原警察署より反田警部補着任した

旅順

陸戰隊の演習

在滿第十六驅逐隊では十三日午後日沒と共に陸戰隊約百五十名を編成市內を中心に夜間發火演習を決行水交社附近には土嚢鐵條網を設け白兵戰を演じその壯烈言語に絶した

御めでた

▲高千穗町三ノ三　松下重行氏長男和生君二十日出生

▲乃木町三ノ二二　大坪要三郎氏長男功君三日出生

傳染病發生 ●●● 桃園町八川島典（八）は十三日疑似猩紅熱と診斷さる

兎耳鷲目

旅順市では昨秋滿洲或は上海事變の爲め出動した陸海軍々人家族の爲め據て慰安の計畫中であつたが愈々來る十五日午後一時から同四時迄右家族を昭和園に招じレビュー映畫等可成家族的たるものを上場し慰安會を開催する事となつた

◇

滿電旅順待合所では十五日から營業を開始する戰跡遊覽自動車の試乘運轉を行ひ各方面の關係者數十名を招待した

◇

旅順民政署庶務河內弘邦氏は本月七日郷里に於て八幡小膳氏夫妻の媒妁に依り林庭作氏長女もと子孃と華燭の式典を擧げ歸旅したが十九日旅順偕行社に於て披露宴を爲す

◇

退職を惜しまれた前軍人後援會旅順支部幹事伊澤信一氏は十二日午後一時三十分旅順驛發列車にて夫人令孃同伴出發せるが驛頭には日下內務局長を始め在旅文武官多數盛んな見送りを爲した因に氏の住居は廣島市觀音町西二丁目四六六ノ二三である

SANTE

肺結核の革命的治療藥

醫學博士 藤澤好雄氏 創見
臨床大家六十餘博士 實驗推奬

サンテ

結核は不治に非ず、治すに道あり

「結核は不治なり」とは云ひ古されたる言葉であるが、醫學の進歩しない時代のその觀念が今に於てなほ相當有力に人々の腦裡に存して、近代的敎育を受けた若い人々の間に於てさへ、漠然と然し可なり根強く印象付けられてゐる事は實に慨はしい事である。

この不可解なる理由なき觀念が、どれほど結核治療上の障害になつてゐるか知れない。結核病卽ち死の宣告であるかの如き誤まれる觀念に支配されて、治るべき肺病を惜しげもなく諦めて自暴自棄に陷る人の如何に多き事か——

結核は斷じて不治では無い。寧ろ或る條件の下に於て最も治し易き病である。

その條件とは何か？

即ち「殺菌と排毒」これである。

然るに、世に行はれてゐる結核藥は多くはこの根本的條件を忘れて仕舞つてゐる。專ら結核毒素の中毒作用として現はれ來る發熱、盜汗、血痰、咳嗽、食思不振、頭痛、心悸亢進、下痢等の表面的症狀に對してのみ之を沈靜せんと力を注いでゐるに過ぎない様に思はれる。

これでは、百年河清を待つが如く、たとへ一時的に症候が消退しても、病菌に對する根本的處置をおろそかにしてゐる限り何時まで待つても病氣そのものゝ治癒は望まれない道理で、その治療は「邪道を走れる結核治療」と云はねばならないのである。

いろ／＼藥を服んでも少しも效果が見はぬといふ事をよく聞くが、これは明かに治療が邪道に踏み込んでゐる證據で、さうなると益益焦つて思慮分別を失ひ、彼か是かと迷ひ拔いて一層病勢を惡化させる例が甚だ多い様であるのは御氣の毒千萬である。

自分の服む藥に正しい認識を持たず、結核の藥と名が付けば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする人は、自分自ら治る希望を捨てた人と云はれても致方あるまい。

「サンテ」は飽くまで「殺菌と排毒」の學理に立脚して結核治療の正道をまつしぐらに直進する革命兒である。

ぐづ／＼廻り道などをせず、單的に病竈の中心に飛び込み之を粉碎せしめねば止まぬ、赤く燃ゐたる手榴彈である。

發賣して日は淺いが、山間の古沼の如く沈滯せる結核治療界に潑溂たる生氣を與へ回春の光明を投げたる功は、蓋し沒すべからざるものである。

現に臨床大家六十餘博士から實驗推奬を蒙つてゐるが、短日月に斯くも多數の權威者から推奬を受けた事は結核藥の歷史に未だ曾て無い事である。目下各官公私立大病院や公私立結核療養所に於て盛んに處方せられて居り一度使用せられた方は皆直ちにその偉效を認められて推奬せらるゝ有様であるから、今後續々御推奬者の增加を見る事は明かである。

東京帝大、入澤達吉博士の主宰せられる實地醫家の機關紙「實驗醫報」四月號誌上にも、內野淺次郎博士に依つて「サンテ」の効驗が報告せられ「**超越せる卓效を有する理想的新藥にして從來の他藥の追隨し得ざるもの**」と記載せられたる如き、如何に「サンテ」が治療界に於て歡迎せられつゝあるかを窺知するに足るのである。

自宅療養の患者諸氏より「サンテ」の卓効を賞讃して申越される御手紙も夥しい數に上つてゐるが、最初一號（有熱用）を服み始められた方が、やがて二號（無熱用）を服まれる様になり、その內に恢復期に入つて今度は三號（虛弱質用）を注文して來られる様になつて來るので、ズン／＼全快に向はれる様子が目に見ゆる様で實に喜ばしい次第である。

「サンテ」の効果の手近な證明は、實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

—食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
—發熱去り、平温となる
—ねあせ止み、夜間安眠する事を得
—咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
—胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感せず
—ラッセル消失し、下痢頓挫す
—肩こり、全身異和感去り、元氣振起す

斯くの如き著名な症狀の減退が、「サンテ」の服用後、早きは四五日**おそくも一週間目頃**からメキ／＼と現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、不快なる症狀の日增しに消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、步一步全快への堅實な步みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられてゐる。

單なる症狀の鎭靜劑であつてもこの様に速かに安全に奏效を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、卽ち「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ様作用して忽ち殺菌排毒の效果を現はす獨特の藥劑なればこそであつて、斯くてこそ始めて本當の治癒がそこに期待出來得るのである。

なほ、本劑が、服用極めて容易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又少しも副作用若慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれどもその必要なし）唯一劑のみに[illegible]頗る經濟的なる事など[illegible]

「サンテ」には三種の別ありて各病狀に適合す

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管枝加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、膓結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】「サンテ」一號＝有熱期に適す
「サンテ」二號＝無熱期に適す
「サンテ」三號＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

◉別に醫家調劑用粉末あり（容量二五〇瓦、五〇〇瓦）

【藥價】

種類	一二〇錠	三六〇錠
「サンテ」一號	二圓八十錢	八圓十錢
「サンテ」二號	二圓八十錢	八圓十錢
「サンテ」三號	二圓五十錢	七圓二十錢

御注文方法

◉御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◉御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用が御便利、前金の御注文には送料を要せず
◉代金引替便ならば御注文主にて送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社學術部
振替貯金大阪三五七番

我社が明治二十二年呱々の聲を擧げて以來既に四十四年、此間終始一貫常に學術に對する眞摯なる研究的態度を持し、堅實なる發展を遂げ各位の信任を享けつゝあるは世に認めらるゝ所であります。茲に「サンテ」を發賣するに當りて社會衛生上責任の益々重大なるに鑑み、一層愼重なる注意の下に之が發賣を果すべく充分の用意ある事を附言致します。

◉先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

「サンテ」を實驗推奬せらるる臨床諸大家【イロハ順】

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山鴨島氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 原田光男氏
醫學博士 濱田正枝氏
醫學博士 牟田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 西浦清一氏
醫學博士 豐田正達氏
醫學博士 富島嘉門氏
醫學博士 大國二郎氏
醫學博士 大森斌彥氏
醫學博士 岡本達三郎氏
醫學博士 小野醇吉氏
醫學博士 渡邊貞惠氏
醫學博士 川上理作氏
醫學博士 川上勝恭氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 米山義績氏
醫學博士 高橋三千彥氏
醫學博士 高橋四郎氏
醫學博士 高山四朗氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 玉田壽次氏
醫學博士 竹島光藏氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 內藤業太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 內田謙益氏
醫學博士 內野淺次郎氏
醫學博士 植苗福次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 野々上好太郎氏
醫學博士 野口健次氏
醫學博士 野木愛三氏
醫學博士 黑岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香住氏
醫學博士 增田貞一氏
醫學博士 藤田武夫氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 江副慶太郎氏
醫學博士 蘆名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 櫻木勇吉氏
醫學博士 木村良恭氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寬氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀貴氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂悞氏
醫學博士 杉田貞之氏

ST 54

本社主催 大連實滿野球戰 試合日程決定
六月十一日（土曜日）午後から 五回戰の火蓋を切る

日本球界の一大爭覇戰として毎年全日本野球ファンより待望されてゐる本社主催の大連實業團對大連滿洲俱樂部定期野球戰は昨昭和六年度より從來の三回戰を廢止し五回戰を以て爭覇することゝなり滿洲野球史上一大エポックを劃したが本年度もシーズン來ると共に兩軍首腦部種々協議の結果十四日正午より本社樓上會議室に於て滿俱側より芷田主將、福山マネイヂヤー、小林後援會幹事、實業團側より宮崎監督、安藤選手（高橋主將病氣缺席）本社側より佐賀營業局長、事業部、運動部社員集合の上第一回協議會を開催の結果試合日程を左の如く決定した

第一回戰　六月十一日（土曜日）午後四時二十分　實業球場
第二回戰　六月十二日（日曜日）午後二時三十分　滿俱球場
第三回戰　六月十八日（土曜日）午後四時二十分　實業球場
第四回戰　六月十九日（日曜日）午後二時三十分　滿俱球場
第五回戰　六月二十日（月曜日）午後四時二十分　實業球場

尙メンバー交換は來る五月二十九日正午を期して本社樓上に於て行ふことゝなつた

松花江船員同盟の頻々たる陰謀事件
こんどは運送船衝突

【ハルビン特電十四日發】學良及び南方の手は北滿の到るところに延ばされてゐるが、殊に國民黨員が中心となつてゐた松花江船員同盟中には不良分子を多數殘してゐるので警戒中のところ最近數回に亘つて船舶の燒き打陰謀が發覺したので滿洲國官憲が嚴重警戒してゐる、燒き打の目的は皇軍の松花江下流方面出動を阻止せんとするものであるが十三日朝吉林軍の出動に際して又も突然運送船の衝突を起し一隻は浸水し輸送不可能に陷つた、衝突の原因については目下調査中であるが衝突船の舵手が船員同盟の中心人物で國民黨員であるため一層疑惑を增してゐる

わが長谷部部隊 兵匪と交戰
敦化附近の匪賊討伐

十二日午前四時四十分吉敦線秋梨溝大平嶺間の木橋を破壞し附近部落を掠奪した頭目不明の匪賊はわが監視兵のため發見されその射擊を受けて孤山子方面に退却したがこれが掃蕩のため敦化警備司令長谷部少將は榮城田〇隊に出動を命じ同〇隊は十三日午前九時三十分敦化を出發敦化西方八キロの地點に差しかゝつた際突如孤山子方面において兵匪約八十名、騎馬兵匪約三十名の射擊を受けたのでわが軍は直に野砲、山砲、迫擊砲を以て應戰し兵匪を西南に潰走せしめ同日午後零時三十分無事敦化に歸つたが敵匪は相當大損害あるらしく我軍には一名の損害もなかつた【長春電話】

石黑枝隊出動

長春において待機中であつた第〇隊石黑枝隊は松尻大佐統率の下に十四日午前八時二十分長春發臨時軍用列車にて敦化に向け出動したが驛頭には來長中の陸軍大學校長を始め小山憲兵中佐、板野憲兵中佐その他官民多數の盛んな見送りがあつた、因に同隊は多門中將麾下で鶴見枝隊と共に長谷部少將の指揮を受け敦化を中心に猛威を揮つてゐる王德林軍一味、大刀會匪の討伐を決行する筈【長春電話】

海林駐屯の我軍苦戰

【ハルビン特電十四日發】海林のわが駐屯軍に對し約一千名の兵匪は十日夜襲すべく近づいて來たのでこれを邀擊し戰鬪は十一日朝に及びわが軍一時苦戰に陷つたが牡丹江駐屯のわが步兵及び砲兵が救援に來たので敵は死體三百を遺棄して東方に潰走した、わが損害は戰死二名、負傷三名である

戰死者の遺骨

滿洲事變のため滿山城及び九大子において戰死せる坂田信夫上等兵外一名の遺骨は十五日午後四時五十分大連驛着十六日午前十時出帆のばいかる丸にて内地に送還されるが、なほ戰死者遺骨は送還當日は乘船前午前八時三十分より埠頭において市役所主催慰靈祭を執行する

見事入選の赤ちやん群　寫眞向つて右上から＝樫原三保、稲村道子、中央上から＝荒牧孝夫、吉田米子、左上から＝和泉次夫、岩井好雄ちやん

自慢の赤ちやんを語る 最優良兒の親ごさん達
赤ン坊審査會の入選優良兒

さきに滿鐵、市役所主催の赤ン坊審査會の結果三百餘の自慢の赤ちやんの中から特により優良兒として表彰の榮譽を擔つた六人の赤ちやんの家庭を訪問すれば何れも子を思ふ親心の喜びをたゝへてゐる

◇

男兒の最優良兒として喜びを得た市内彌生町一四岩井好春（四九）氏の五男好雄君を訪へばお母さんさき子（三七）さんは語る

この子は兄四人姉一人の六人目の子供で本年一月十九日に生れました、親の口から云ふのもおかしいですが非常に發育がよく病氣等は生れて以來一度もありません、外へ出るのが迚も好きでそれに人見知りを致しませんので近所の方が代り〳〵抱いて遊ばして下さいますのでほんとうに幸ひな兒です、けふもそれあの通り……

と指さす表を見れば昭和の桃太郎好雄君は近所のをばさんに抱ッこしてニコ〳〵笑つてゐた

◇

最優良男兒荒牧孝夫君は吉野町五十四藥種商荒牧孝（三九）氏の四人目の子供さんで熊本縣人、大正九年大連へ來られ夫人花子（三二）さんとの間に二男二女の睦まじい家庭に育ぐんでゐる幸運兒である

孝夫が當選しましたか有り難うございます、この兒は昨年九月二十五日に生れましたが大變健やかで日一日と肥えて參ります、親やこれの兄姉も非常に達者なものですからこの兒も自然丈夫なのかも知れませんが何んにしても當選するとは思つてゐませんでした、この兒の將來にもつてもいゝ想ひ出となりませう

と語る美しいお母さんの傍で可愛らしい孝夫君はパッチリ眼をみひらいて笑つてゐた

◇

和泉町七八大連新聞社員和泉橘次（三二）氏の長男次夫君も最優良兒として表彰されたがあつ子（二九）お母さんは喜んで語る

次夫は二人目で姉は五つになりますが生れた時は九百三十匁位でした、この頃では一月程前から立つて傳ひ歩きをします、昨年六月二日生れでまる一年にもなりませんが大變發育もよく主人も自慢の子供でこの間も郷里山口へ寫眞を送つたり等してゐました、當選したと聞いて主人もさぞ喜んでゐる事でせう

◇

女兒の最優良兒樫原三保子孃は天滿屋ホテルの樫原建三郎（三九）氏の初兒で、でつぷり肥へたいゝ體格のお父さんと健康な幸子（三二）夫人の大事な〳〵お子さんであるが本年一月二十四日生れで溫かい家庭にヌク〳〵と育てられてゐる、父建三郎氏は審査會に出たことも知らずにゐたが、でも優良と折紙付いては流石にうれしさうである

實は一昨年七月一度流產しましたので何うかと心配してゐましたが三保子は生れた時は七百五十匁位でしたがその後非常に丈夫で病氣など一度もやつた事はありません、よく眠りますし大變元氣ですが女兒だけに案外しとやかです、妻も當選したと聞いてこれで安心してゐる事でせう

◇

保安隊に勤務する吉田喜六（三二）氏の三女米子孃もまる〳〵と肥えた可愛い孃ちやんです、二人の姉さんと二人の兄さんも大變元氣で賑やかな家族です、ます子（二九）夫人はお子達を慈しみ乍ら甲斐々々しく家庭の處理中に當選を傳へると傍の孃ちやんを顧みて「まあ米子さんが當選したんだつて！」家中が喜びに輝いてゐる

米子は生れた時は案外小さかつたのですが妾も乳が少いので妾が牛乳を飲み乍らでも母乳ばかりで育てゝゐます、まあ見てやつて下さい

と奧の間に眠つてゐた米子さんを抱いて來る、眠さうな眼を瞬たゝいてゐる可愛いマル〳〵と肥えた米子さんはチッとも泣かない御自慢の赤ちやんでした

◇

鑑部通り六〇番地料理屋いろはの若旦那稲村源一（三九）氏の一粒種道子さんも入選の榮譽を貧ふた一人だ、最愛の夫人富榮さんとの間に出來た道子さんは昨年五月二十八日生れで大勢の家族の人氣を一人で背負つてゐる幸福兒である、お父さんの源一氏は「道子が入選しましたか、道子偉いぞ」──大勢の仲居さんも「道ちやん道ちやん」と大變な騷ぎだ

兩親とも病氣を知らない元氣者でこの頃は「ハイ」と云つたりして可愛いものです、この二十八日が初誕生ですがこの兒の成育が家中の樂しみです

とガッチリした體格のお父さんは流石に兒を思ふ親心に嬉しさうだ、へ道ちやんも仲居さんに抱へられて無心に笑つてゐた

關係者懇談會

乳幼兒週間も滯りなく好成績で終つたので主催者側では十四日午後三時から關係者一同を滿鐵協和會館に招いて懇談會を開いた、定刻社會事業會主事木下氏開會を宣しついで大和田民政署地方課長の挨拶、中根滿鐵社會教育主任、永井社會事業理事兩氏の感想談あつて當日街頭に立つて愛護章の賣捌きに盡力した女學生側を代表し女子商業學校生徒森川はる子、水野文江、技藝女學校生徒米山信子、清水いち子、佐藤きよ子、彌生女學校生徒石河たかの諸孃が赤裸々な當日の體驗を語り、吳種子夫人が婦人會員を代表して所感を述べ、滿鐵社會教育係清水氏、永井軍治氏の感想談があり茶話會を開き午後四時半和氣靄々裡に散會した

定期船乘客に種痘を施す

先般來大阪方面に於て天然痘發生し漸次蔓延しつゝあるので大阪商船會社では十六日大連出帆のばいかる丸から引續き各船毎に航海中乘客の希望者に對し無料で種痘を施すことになつた

『滿洲に來たやうだ』と、素晴らしい人氣
きのふ中の入場者二萬に上る 開いた大滿洲國展

【東京特電十四日發】帝都の人氣を呼んだわが社主催の大滿洲國展は十四日午前九時より賑はしく蓋をあけた、會場白木屋前には定刻前盛裝の令孃、軍人、學生、老人子供が若葉日和を幸ひに黑山の如く押しかけショーウインドウの建國祝賀大盛龍、高脚踊りの

行列 に先づ滿洲氣分を味はつた、日滿大國旗交叉の入口が開かれるとドッと雪崩れ込み十數個所のエレベーターは皆滿員、五階々上北陵の大門をくゞると會衆は「ヤア滿洲に來たやうだ！」と大喜び、建國促進の旗やビラの記念物に目を見張り滿洲新舊貨幣を珍重がり銀百圓が金で幾らかなあ等と計算をする熱心者もあり更に陸軍省出品今村少佐の滿洲風景水彩畵十數點、武藤大將筆關東軍首腦部の肖像畵等にひどく感心する、馬賊、兵匪よりの分捕武器拳銃、小銃等にしげ〳〵と見される、その隣り

本社 從軍記者被服類、寫眞等に吸ひ寄せられる、蒙古人の風俗、鄭孝胥氏、闞奉天市長、徐實業廳長等揮毫の書面が珍しい、この他大阪商船、航空會社、滿蒙毛織、南滿工業等の出品も賑はしく人目を惹いてゐる、午前入場者無慮五千、土曜日のことゝて午後は二萬に達し警官連は交通整理に忙殺されてゐる、何といつても内地の滿洲熱は盛んなものである

中間驛へ慰安車
十七日に出發

例年の通り滿鐵社會施設係では沿線中間驛の平素娛樂機關と機會にめぐまれること少き鐵道現業員並にその家族慰問のため十七日朝大連驛發で娛樂車、販賣車、食堂車よりなる本年春季慰安車を約四十日間に亘り沿線各地に派遣する

本年は蓄間娛樂車内において兒童のため童話會を催す外食堂車ではうどん、そば、コーヒー、紅茶の簡單なサービスをなすことゝし特に時節柄滿洲國の建國精神の普及と民族協和運動の一助として滿洲國人宣傳員二名を乘込ましめて到る所で民衆に通俗的に宣傳し野外活動寫眞と相俟つてこれが徹底を期する筈であるがその他娛樂車のラヂオ、蓄音機、圍碁、將棋、映畵や販賣車の日用、食料品の消費組合の出張販賣等は從來通りである

全滿陸上競技選手權大會
けふ大連運動場で

滿洲體育協會主催の全日本陸上競技選手權並に萬國オリムピック兩競技選手權大會の滿洲豫選を兼ねた全滿洲陸上競技選手權大會はいよ〳〵今十五日午後一時より大連運動場に於て多數新進選手參加の下に擧行されるが競技豫定時間は左の如くである、なほ場内整理のため協會員以外大人二十錢、小人十錢を會費として徵する由（プログラム付）

▲トラックの部　八百米決勝（一時）百米豫選（一時二十分）女子百米豫選（一時三十分）高障礙（一時五十分）五千米決勝（二時十分）百米決勝（二時三十分）女子百米決勝（二時四十分）四百米豫選（二時五十分）二百米決勝（三時二十分）五種二百米（三時三十分）千五百米決勝（三時四十分）四百米決勝（三時五十分）五種千五百米（四時）女子四百米繼走決勝（四時三十分）八百米繼走決勝（四時五十分）

▲フィールドの部　砲丸投（一時五分）五種走巾跳（一時三十五分）走巾跳（二時）女子走巾跳（二時二十分）五種槍投（二時三十分）走高跳（二時五十分）槍投（三時二十分）五種圓盤投（四時）三段跳（四時二十分）棒高跳（四時四十分）

少年の無錢飲食
蓋平から家出し來連

十三日午後三時ごろ市内寺内通りどん屋長門屋で四十五錢の無錢飲食して大連署に突き出された少年があつた

同人は蓋平驛前で農園經營をしてゐる濱原俊三の長男俊雄（一六）といひ去る九日兩親に無斷で家出して大石橋にゆき三日間ほど諸所を徘徊して所持金一圓五十錢を使ひ果し、十三日午前一時の貨物列車に藤摩守をきめ込んで、甘々と來連、市内をあちこちさうろついたが空腹で歩けなくなつたので東公園町英支貿易商會の前に立てかけてあつた自轉車を窃んで走り廻り、午後三時ごろ寺内通の飲食店長門屋に飛び込んで四十五錢の無錢飲食をしたものである、大連署では直ちに留置し目下親許に照會中である

軍隊慰問大相撲 今年奧地で行ふ
日本相撲協會の山科理事きのふ來連語る

大日本相撲協會理事山科長之輔氏は朝鮮經由、十四日朝來連し二泊の上十六日出帆のばいかる丸で歸京の豫定であるが氏は本社を訪問して語る

先般千賀浦理事が來たのは主として滿洲博覽會開催に就ての準備打合せのためであつたが今度

私が來たのは地方巡業の挨拶打合せのためです、相撲協會も例の新興力士團、革新力士團等の

脫退で 一時悲境に陷つたがその後建直して武藏山、玉錦、清水川、沖ツ海、能代潟等の强剛を中心に新番附を編成し又巨漢出羽ケ嶽の復歸で新異彩を添へた、今度の巡業は夏場所後滿洲に入り長春、奉天等の奧地を打揚げた後御當地で厄介になる豫定ですが多分七月下旬頃には御伺ひ出來るでせう、奧地では軍隊の慰問相撲を行ふプランで私は歸京後直に理事會を開いてその協議をするつもりです、

協會力士の中でも武藏、玉、沖ツ、清水などの最近の成績を見ると力量殆ど

相伯仲 し殊に大力士の風格を備へる沖ツはめき〳〵强くなつて大剛武藏も玉も油斷出來ません、又幕下以下にも有望力士がドン〳〵擡頭し中にも今度十兩に昇進した小野ケ嶽（二十山部屋）は身長六尺五寸大砲の再來といはれ朝潮や出羽などゝは型の違つた强剛力士として認められ近き未來の橫綱と期待されて居ます、今度の巡業では東西兩力士軍が全部打揃つて來るのですから本場所と何等變りなく且非常な眞劍味を帶びて居ます、新進有望力士の擡頭が著しいだけに假令脫退力士の歸參なくとも協會の恢復は茲一兩年後の事だらうと思ひます、何うか何分よろしく

全日本學生對抗競技
第一日の成績

【東京十四日發】第五回日本學生陸上競技對抗選手權大會兼オリムピック豫選第一日は十四日午後零時四十分より神宮競技場にて擧行されたが成績次の如し

▲千五百米決勝　1北本正路（慶）四分七秒（大會新記錄）2多田（早）3今井（慶）4中田（早）5井上（文理）6山口（文理）▲二百米決勝　1吉岡隆德二一秒八　2佐々木（文理）3高野（早）4中島（早）5谷口（關大）6内海（關大）▲砲丸決勝　1栗原傳次郎（文理）一三米三五（大會新記錄）2齋藤（慶）3山本（慶）4野口（早）5佐部（中央）6中島（明）▲走幅跳決勝　1西田修平（早）七米〇一　2中島（早）3湊川（早）4吉岡（文理）5橫田（京都醫大）6片上（關大）▲圓盤投決勝　1久内武（文理）四〇米七四　2金子（文理）3上條（早）4藤田（文理）5齋藤（慶）6長尾（明）▲棒高跳決勝　1西田修平（早）四米　2望月（文理）3高野（文理）4大江（慶）松本（慶）5眞秋（早）6阿江（早）

第一日得點　四五點五文理、四五點早大、二五點五慶應、四點關大、二點中央、明治、京都醫大

安樂椅子

古來滿洲の綠林間には一種の迷信がある、それは某神の護符を一枚丸飲みにしてゐたなれば彈に斃れず、刄に傷かずといふのである、その迷信が大刀會匪と我が酒井部隊との衝突當時に於ても非常にさかんであつた。

……◇……

我が警官隊の機關銃の猛射に對して大刀會匪は勇敢にも紅い房のついた長槍や青龍刀を振りかざして突進して來た、勿論一たまりもなく大刀會匪はバタバタと斃されたが、迷信を深く信じてゐる匪賊は味方が死んだものとは思はず「起きろ〳〵、早く起きないかッ」と大聲に叫びつゝ、味方の死體を踏み越え踏み越え猛進して來た、これは我が部隊が射擊する上には非常に有利であつたが、一方この迷信を知らぬ警官隊は賊の猪突猛進振りには流石の大和男子も些か驚かされたと云ふことだ。

……◇……

處が漸く味方がなぎ斃されたことを知つて匪賊はこの奇蹟に仰天して、さつそく對策を講ずべく頭目連が三源浦に緊急會議を開いたが、飽くまで迷信を信じてゐることゝて意見まとまらず迷論百出して終に仲間喧嘩をおッ始め、しかも各頭目自論を固執し一歩をゆづらず、とう〳〵分立してしまひ、このため滿洲國の討伐軍にもろくも蹴散らされてしまつたと云ふことだが、如何にも滿洲の馬賊らしい話ではないか。

曙の鐘 (284)

倉田潮 作
河野想多 畫

征服 (七)

あけみは二人がそこへ來てゐるのを見ると、手を叩いて跳び上りたいほど嬉しかつた。彼女はベル・ボタンを押して、出て來た主人のドイツ人に

「お夏と由太郎が來てゐるわね」

と云つたと思ふと、もう上にあがつてゐた。ドイツ人は周章てゝ遮るやうに手を振つて答へた。

「ゐません、御嬢樣」

「ゐるわよ。下駄があるぢやないの」

「否、この日本靴、うちの坊つちやんのものあります」

「何を云つてるの。隱しても駄目よ」

とあけみはドイツ人の手をすりぬけて、勝手を知つてゐる二階へかけ上つて行つた。ドイツ人は燕に飜弄された鷹のやうに間誤つきながら

「日本女、あまーりに禮義知らな過ぎます」

と泣き言を云ひながら後を追つて來た。

「そつちで居留守の不禮を使ふんですもの、こつちの禮を破るのは對等ぢやないの」

あけみは二階の一番右隅の部屋の前に來ると、立止つて人の氣配をうかゞつた。その部屋こそ此の前お夏が由太郎を連れこんだ室だつた。が、そこには何の物音もしなかつた。しかし闖入者に脅えて息をのんでゐるのだと思つて、あけみはすぐ扉を投げ開けた。と、二つ並べた椅子の上にお夏と由太郎が重なり合つて、壯士芝居のセンチな戀人のやうに闖入者を恐れたやうな風をしてゐた。その甘いポーズがあけみは癪にさはつた。

「お夏」と彼女は憎惡に燃える眼で二人を見つめて、聲を顫はせて云つた。「先夜由太郎を思ひ切るから金を出せなぞと、しらじらしいことを云つておいて、金をとつた上に由太郎まで連れて行く氣なのかい」

お夏はさう云はれても返事もせずに、なほ甘つたるく由太郎と重なり合つて、泣いてゐるやうな風をしてゐる。あけみはムカムカとしたが、今度は由太郎に

「由ちやん、そんな鬼のやうな女に、何うして詰らぬ義理立てなんかするのよ」

と云つても由太郎までお夏の眞似をして返事をしないので、なほ一層カッとなつて

「私が來たんだから、挨拶をなさいよ」

と由太郎の腕をとつて引起さうとした。餅のやうに柔かく重い男の身體はズルズルと二三尺疊の上を滑つたが、由太郎はなほ身を起さなかつた。

「まだ起きないの」

とあけみは跳びよつて、由太郎の體をかゝへ、右手を顎にかけて顏を無理に上にねぢつた。恥羞と恐怖に薄紅く色づいた氣高いやうに美しい顏が、眼を疊に向けたまゝあけみの眼に相對した。あけみはその唇に己の唇を近づけたが、すると急にその時お夏が身を起して、

「お嬢樣、あんまりぢやありませんか」

ときつとなつてあけみを睨んだ

「何云つてんの。この鬼女が。先夜約束した言葉が私を欺く罠だと判つた今、よくもそんなしやあしやあしたことが云へたものだね」

「わなではありませんわ。由太郎が私を思ひ切つた場合には……とあの時も申してあるぢやありませんか、それが思ひ切れないと云ふ以上、私は由太郎と別れなくてもいゝ譯だと思ひますわ」

「お前が狡猾な戀のトリックで、思ひ切ると云へないやうにしてしまつたのよ」

あけみはさう答へておいて、なほも由太郎の體に白蛇のやうに卷きついて行つた。そして、その紅い唇に己の唇を觸れようとあせつた。

由太郎は手を口にあて體をねぢつてそれを防いだが、怖ろしい執念の蛇の魅力には敵することが出來なかつた。生き物を食ふ花の中に閉ざされた胡蝶のやうに無益に身を悶えるばかりだつた。

あけみは魔術にしびれて自由を失つたやうな由太郎の手を引いて

「さ、此方へ來るのですよ」

と引摺るやうに部屋の外に連れ出さうとした。

けふの放送

大連 JQAK 五月十五日

▲午後零時十分 ニュース
▲午後三時三十分 ニュース
▲午後六時十分 ニュース
▲滿洲工業講座「建築概觀」村田治郎
(以下内地中繼、七時)
▲東明節(一)松の操(二)白百合、唄東明松舟、三味線同吟幸
▲「聲帶描寫」古川緑波、伴奏指揮福田宗吉
▲浪花節「鹽原多助」東家樂燕
(以下大連放送局より)
▲五月祭舞踊練習第三回、柳木龜二郎
▲ニュース
▲氣象通報

名譽のレート化粧料

畏くも伏見宮殿下を總裁として奉戴し目下東京上野公園に於て開催中の第四回發明博覽會に於てレート化粧料本舗株式會社平尾贊平商店出品のレート化粧料は審査の結果同會最高賞たる大賞を授與せられた、之れ同店が不絶國産報國、優良廉給の爲に精進せる努力赤誠の酬ひと云ふ可く我國化粧品界の誇りである

現代 (六月號)

「危機に立つ議會政治」「米國は日本に勝ち得るか」その他現代人士の讀まねばならぬ事柄が豐富に力強く載せてある

第四十三回 滿日勝繼碁戰 (勝二回目)(沼本氏一回)

先相先先 高本吉郎氏 / 沼本到氏

—【6】—

黑	白
●一〇一 ロ十三	○一〇二 ロ十四
●一〇三 ホ十五	○一〇四 ホ十四
●一〇五 ヌ十三	○一〇六 チ十三
●一〇七 ト十四	○一〇八 ロ二
●一〇九 ヘ六	○一一〇 ヘ七
●一一一 リ十一	○一一二 チ十一
●一一三 ヌ十二	○一一四 チ十二
●一一五 リ十	○一一六 チ九
●一一七 ニ十八	○一一八 ハ十八
●一一九 ニ八	○一二〇 ホ九

▲清水三段講評 白百二の約へ無理隨て黑百三は(い)に夾み白の應手を見白若し(ろ)に下れば黑(は)に切るべく白(に)なれば黑(ろ)に當て白(は)のとき黑(ほ)白(へ)なれば黑十八に打ち何れに變化しても黑大に有利でせう黑百七は百八に締れるが利益又百十七はとに斷き當り白(ち)ならば黑百十八又は白百十七なら黑(ち)に出て打つがよい

電話四四九一、三六九五、滿洲日報廣告部專用

滿洲日報

南京首腦部に自發的排日取締の意見有力
わが自主的撤兵に對應

【上海特電十四日發】確なる筋よりの消息によれば南京政府首腦部は日本が自主的に迅速に撤兵して誠意を見せたので支那側としても對外的手前もあり、自發的に排日取締令を近く全國に發せんとする意向が有力であると、而して日本側としては若し支那がこの態度に出づるにおいては圓卓會議においても排日問題を取擧ぐる事なく、その進捗を圖らうとする意向らしく、外部に現れた圓卓會議反對又は拒否の空氣と異り事實は相當その開催に關する話が彼我の間に進んでゐる事は確である

上海の各國會議所が圓卓會議の促進運動

【上海十三日發】日本軍の引揚は各國關係者に好感を與へてゐるが、殊に上海各國商業會議所は直ちに圓卓會議促進の具體的運動を開始し、本國政府を動かし開催促進に努める事となり、同會議要求の聲具體化しつゝあり

協定のみに滿足せず

【東京十四日發】芳澤外相は十三日午後五時外務省に英、米、佛、伊各國大使、代理大使の來訪を求め、上海派遣軍撤收經過につき詳細說明すると同時に日本政府が停戰協定のみで滿足せざる理由を說明し、更に圓卓會議開催に關しても言及するところがあつた

東北問題は實力對抗
羅外交部長記者團に語る

【南京十三日發】羅文幹は支那記者團に語る

張學良からの電報により山海關の狀勢は知つてゐる、朱光杰の報告も聽いた、我方も既に對策は出來てゐる、東北問題は外交手段で解決し得るものではない今は只實力で對抗する外ない、

日本側に人を派して上海事件の後始末その他一切を協議したい意向は有してゐる

尚羅文幹は停戰協定正文全部を示して秘密條文のなき事を明かにした

圓卓會議 當分開かぬ
羅外交部長聲明

【南京十四日發】外交部長羅文幹は十三日午後十時記者團に對し日支停戰協定中秘密の附屬文があると噂されてゐるが、斯るものは絕對にないと協定文書全文を示して之を否定した後、左の如く聲明した

外間に傳はるところによると日本は圓卓會議其他のため代表を派遣せんとしてゐるとのことだが、我方では上海問題と東三省問題と一括して解決する方針である、現に英、米兩國公使は既に上海を去り滿洲の形勢が再び惡化してゐる際、圓卓會議等は當分開かれる譯のものでない

オリムピツク馬術へ五選手出發

オリムピツク出場の我馬術選手今村、吉田兩少佐、奈良大尉、西中尉、並に民間代表の山本豫備騎兵大尉の五氏は十二日監督遊佐大佐と共に午後零時半東京驛出發晴れの競技場ロスアンゼルスへ向つた、寫眞は右より奈良大尉、遊佐大佐、西中尉、山本豫備大尉、吉田少佐

日、印度支那通商協定調印

【パリ十三日發】久しきに亘つて交涉を重ねた日本と印度支那間の通商協定は遂に最近成立し本日フランス首相タルヂユ氏と駐佛長岡大使は夫々調印を了した

遭難要人容體 經過益々良好

【上海十三日發】白川、野村、植田、重光、村井の諸氏其後の經過は良好で植田中將は本日始めて杖をつき病室を步行し、白川大將は病床にて新聞を讀む、重光公使の容體も徐々ながら快方に向ひ後藤軍醫監は十九日發歸國、新に九州大學から外科教授を呼んで手當するに決した

閣僚に御慰勞の御陪食

【東京十四日發】天皇陛下には十三日午後六時から宮中に犬養首相以下床次、大角、荒木、山本、秦の六大臣を召され御慰勞の御陪食を仰せつけられたが、晚餐後別殿で御茶を賜はりつゝ陛下には各閣僚に親しく各種の御下問あらせられた、その際犬養首相から孫文の人物批評並に彼の事蹟等を、山本農相から支那の美術について言上、陛下には特に白川、野村兩司令官の病狀を御軫念あらせられ、大角、荒木兩大臣に對し御下問を賜ひ一同恐懼し同八時半御前を退下した

植田將軍謝電

去る五月一日奉天に開催された滿洲靑年聯盟第五議會に於て緊急動議として滿場一致可決された上海遭難顯官慰問打電の件は議會終了後直に本部より打電せし處在上海植田將軍より左の如く謝電あつた由

見舞電 閣下今回不慮の御遭難は寔に遺憾に堪へず、謹みて御見舞申上ぐ、邦家のため速に御平癒あらんことを祈る。

宛先 白川軍司令官、重光公使、野村司令官、植田〇團長、村井總領事

謝電 御懇篤なる御見舞を深謝す、輕傷に就き御安心を乞ふ

重大時局に御奉公 誠に欣快に堪へぬ
在滿約四年、武勳を樹てゝ 三宅中將けさ離滿

關東軍參謀長として滿洲在任三年八ケ月の長きに亘り、今次の滿洲事變に當つては最高首腦部として多大の軍功を殘し、今回中將に昇進參謀本部附として榮轉することになつた三宅光治中將は家族同伴十四日出帆のうすりい丸で赴任の途に上つたが、埠頭では船中まで關東長官代理小坂秘書官、內田滿鐵總裁、八田副總裁、滿鐵各理事安藤要塞司令官、館內大連民政署長、小川大連市長、石井大連、三澤水上兩署長、岩井在鄕軍人聯合分會長始め旅大の知名氏多數が見送り、サロンにおいて惜別の盃を擧げたが、三宅中將は謙讓な態度で語る

滿洲につきぬ名殘を惜しみつつ歸ります、自分の在滿期間は既に足かけ五年となる、その間には滿洲事變といふ千載一遇の重大時局にも際會したが、幸ひさして大過なく微力ながら御奉公申し上げることが出來たことは欣快に堪へぬ、この多端なりし過去を追懷すれば全く感慨無量である、歸國後も出來得る限り滿洲のため努力する覺悟であるが、三宅最後の言葉として國家のために一層御奮鬪を請ふと滿洲の同胞諸氏に御傳へ願ひたい

離滿に際して各方面へ一々御挨拶に上るべきであるが時局の折柄御遠慮申し上げる（寫眞は三宅中將）

旅順官民見送り

前關東軍參謀長三宅光治中將は十三日午後十時三十分旅順驛發列車にて家族同伴出發離旅した、驛頭には山岡長官、安藤要塞司令官を始め在旅文武官、市民側及び小學校兒童多數の見送りあり發車に際し永山市長發聲にて萬歲を三唱した

張學良南下 對滿策を商議

【南京十四日發】國民政府の發表によれば張學良は山海關問題につき蔣介石と協議のため近く北平から南京に來る事に決定した、又山海關に在る何柱國も善後策につき直接蔣介石に對し請訓して來たと

なほ學良の南下は右問題のみならず對滿洲策及び北方の對閻、馮問題につき蔣と相談するためと見られ、特に學良の對滿策に一大變化が生ずるのではないかと注目さる

日支協定文は あす午前中に調印

【上海十四日發】協定文飜譯については其後依然兩國代表間に折衝が續けられてゐたが、昨夜遲く支那側より最後案を送附して來たので、我公使館は今朝之に對し同意を與ふべく本省に請訓したが、明日迄には本省より受諾の回訓あるべく十六日午前中には調印出來る見込がついたので、支那側からは郭泰祺、戴戟、黃强、日本側から田代參謀長、島田書記官出席して多分外交部駐滬辦事處で行はれる豫定である、目下請訓中の日本譯字句は只一ケ所であるが、支那譯は日本の要求により二十數ケ所を訂正したものである

調査團、踊り狂ふ
カバレーでハルビン情調滿喫 ゆふべ滿鐵代表招待

【ハルビン特電十四日發】十三日夜九時より當地隨一のカバレーフアンタジアにおいて調査團隨行の委員招待滿鐵代表金井清氏主催の宴會が催された、各委員外隨員、各國領事、日滿官民百餘名出席、絢爛たるステイジダンスを娛しみながら各自踊り狂ひ、夜一時過ぎまで北滿の花園ハルビン情調を滿喫した

露滿國交問題 は南京側の宣傳

【モスクワ十三日發】最近南京政府が「ロシアは滿洲國と國交を樹立すべき手段を講じつゝあり」として攻擊してゐるが、ロシア當局は全然さる事なしと否定して居る、右につきイスヴエスチヤは左の如く論じて居る

これは南京政府がロシアとの外交關係回復をなし得ざる眞相を隱蔽せんがために企圖した逆宣傳的攻擊に過ぎぬ

議會淨化問題に鑑みて不信任案提出せず
民政黨の對議會策

【東京十四日發】重大時局を前に民政黨の若槻總裁以下町田、小橋、俵、松田、櫻內、小泉、中村、頼母木氏等首腦部は十三日午後六時麗ケ岡茶寮に會合、對議會策につき意見交換

一、臨時議會は特に重大性を帶びてゐるから衆議院では町田氏は財政問題を提げ、次いで松田、櫻內氏等も立ち貴族院では若槻總裁が財政問題で肉薄し

一、議會淨化問題は若槻總裁から本問題は我慢忍從を要し、黨員は一入勇猛心を以て解決に當らねば目的貫徹は期せられない旨意見開陳一同之を諒とし擧黨一致解決に邁進す

一、財界對策並に今後民政黨の政策は黨の正式機關の議を經て近く正式決定す

一、滯貨生糸處分問題は徹底的に政府の責任を追及すると共に關稅、私鐵問題其他極力質問を爲し政府案の缺陷を天下に暴露すに意見一致を見た、なほ今議會には經政策的問題たる議會淨化問題があるので、內閣不信任案提出は成るべく見合せたいとの意嚮に傾いてゐる

今後は陸戰隊の保護に信賴
上海時局會の申合せ

【上海十三日發】時局會は午後五時より日本俱樂部に總會を開き陸軍引揚後の對策につき協議したが今後は陸戰隊による在留民の保護に萬全を期して貰ふやう運動を繼續する事に申合せた

廢兵優遇案の要項

【東京十四日發】廢兵優遇案は十三日陸軍、大藏兩當局折衝の結果左の二項から成る成案を得たので之に要する豫算二百萬圓を臨時議會に提出することになつた

一、從來一時賜金を得た廢兵中症狀の最も重きものに對しては恩給を給する

一、症狀右に次ぐものに對しては再び一時賜金を給與する

鐵道問題の根本的方針決定
政府、軍部との交涉了る 穗積滿鐵技師歸任談

滿鐵々道部附技師穗積哲三氏は滿洲における今後の鐵道問題について政府、軍部兩方面と打合せのため三月初旬村上理事の先發として上京中であつたが、滿鐵本社からの招電により急遽十四日入港のうすりい丸で歸連、直に出社のうへ村上理事にその後の情況、經過について報告するところあつたが、なほ氏は午後正副總裁に報告の筈でその結果により、多分數日中に赴奉、軍部と打合せをなすものと見られてゐる、同氏はサロンで語る

自分は東京で村上理事のお手傳をしてゐたので先月末歸連の村上理事のお話以上のお土產は持つて居ない、理事と私は相當に忙しい思ひをし每日仕事は夜の十一時、十二時までかゝつたが仕事に張合があるだけに遂に倒れずにやり通した、幸ひ總ての交涉や打合せは滿鐵の希望通りに運び圓滿に解決したから、村上理事もこの點は滿足してゐられると思ふ、根本的問題は關係方面と全部了解ずみだから、同じ問題で再び村上理事が上京されるやうなことはなく、今度上京されるとすれば細部的問題の打合せにすぎないだらう、何分二ケ月以上も留守にしてゐたから滿洲の內部的問題は隨分變つてゐるやうしまた大急ぎで勉強だ

ラング首相罷免

【シドニー十三日發】ニユーサウスウエルス總督サー・フイリツプ・ゲーム氏は首相ジエー・テー・ラング氏を罷免した、而して聯合濠洲黨の領袖スティヴインス氏を首班とする諮問委員會を任命し近く行ふ總選擧まで政務を執らしむる事となつた

中央銀行總裁 熙治省長兼任か

滿洲國中央銀行總裁に擬せられてゐた藏親王は出廬の意思なく既に過般大連に歸つたので、多分吉林省長熙治氏が同行總裁を兼任することにならうと見らる

印度佛教學者入京

【東京十三日發】印度國民黨首領にして佛教學者として有名なサー・ハリシン・グール氏は十六日朝東京着列車で入京、三十日迄滯在の豫定

航空問題懇談 兒玉大佐來連

兒玉航空兵大佐は十四日午前十時滿鐵本社技術局を訪問、斯波局長、根橋次長等と航空問題について時餘に亘つて懇談した

あめりか丸船客

【門司特電十四日發】十六日大連入港豫定のあめりか丸主なる船客諸氏

京大教授眞下俊一、代議士葉梨新五郎、滿鐵銑鐵課長三浦又一、官吏草間義登、益井利三郎、滿洲自動車會社支配人中村榮次郎、吉田文衞、陰山如信

定期叙勳

【東京十四日發】海軍大將正四位勳二等功五級山梨勝之進 敍勳一等瑞寶章

人事

▲古川達四郎氏（滿鐵奉天事務所鐵道課長）十三日廿一時卅分着一列車で來連
▲白井喜一氏（滿鐵長春鐵道事務所長）同上
▲高橋彌太郎氏（日華生命支配人）十四日入港ばいかる丸で來連
▲西尾幸太郎氏（同志社理事）同上
▲羽田亨氏（京都帝國大學教授）同上
▲四方京一氏（陸軍一等軍醫）同
▲穗積哲三氏（滿鐵社員）十四日うすりい丸で歸連
▲三宅光治氏（陸軍中將）十四日出帆うすりい丸で歸國
▲加藤保敏氏（本社記者）同上

1932

「正規軍」か「兵匪」かといふことは蔣介石の聯盟調査員も十分理解してゐなかつたらしい。それが判つて來ただけでも、來ただけの價値はある。

◇ いゝ機會だ、支那の所謂「正規軍の正體」を世界に徹底するやう發表して欲しい。

◇ 不景氣で、勞働爭議が最高記錄を作つた。不景氣で、その爭議參加人員が激減を示した。

◇ 共に昨年の現象、一見矛盾のやうだが決して矛盾に非ず、それだけ不景氣が深刻なんだ。

◇ 羅文幹外交長曰く「東北問題は實力で解決する外はない」

◇ 謝介石外交總長曰く「滿洲問題は既に實力で解決してゐる」

◇ 曾ての臣民から毆打の歡迎を受けたのが敗殘のスペイン廢帝。

◇ 目色毛色の違ふ他國の群衆から熱狂的歡迎を受けるのが映畫の帝王チヤプリン。

◇ けふのニユースに現はれし皮肉な一つの對照。

今後の滿蒙 移植民に就いて (8)
難波勝治

何事も溫故知新が肝要であります、故に經驗を無視して新しい計畫を立てやうとするのは間違つてゐます、この意味において近來の移植民論者には、動もすれば二箇の誤解があります、一つは從來の移民事業は總て失敗であつたから、根柢から新規蒔直しの大々的經綸が必要だとの意見で、その結果舊い組織は打ち壞さぬまでも棄て顧みるに及ばぬことになります、他の一つは唯だ新しい數字を書き並べて、その上に國家の保護を加へよとの抽象論であります、道理としては何れも立派であるが現在の實情からいへば惑なきを得ません、直言すれば今までの移民事業は一種の手習草紙であつた、しかしその草紙にはそれ自體の尊い芽生えがあります、それを如何に培養するかゞ第一の要點です、移民事業はグロウすべきで、メークすべきものでありません、組織の缺陷は改善すれば好い、當事者の無能は之を交代しても方針の刷新を圖るべきでありませう、兎に角同じ時代に、同じ條件で企てられたことにも、成績の優劣や、事業の盛衰は幾許もあります

ただ要する所は指導者の有無如何であります、隨て朝鮮併合當時と記憶しますが、漁村の建設を思ひ立つて各縣から移民が招待され、その箇數實に幾百を數ふるほどでありました、そのうち今日まで殘有するもの僅かに四五に過ぎない、他は皆自然消滅の姿であります、しかしその殘つた少數者が自發的氣運を半島の全土に及ぼした感化は甚大であります、就中經營の對岸岡山村の如きは、僅か數十戶の一漁村ではあるが、經營法の巧妙、經濟基礎の鞏固、總督府の常に模範として推奬する所であります、而もこの建設の中核は波多野鷹藏氏個人であつて、別に自ら優れた私產を有しては居ないが創立當時から村民と苦樂を共にし全村擧つて年額數十萬圓の收入を得、吉凶慶弔一に氏の指導を俟つといふ有樣です、數に於てまた大を誇るに足らぬとしても、朝鮮の農林地帶至る處同樣の美蹟があつて、時の力は漸次その感化を普及させて居ます

移植民事業は無暗に焦つてはなりませぬ、隨つて最初から大きな構へで、多額の資本と、多數の人員とを收納したからといつて必ず成功するものとはいへないのであります、氣永な地味な仕事だけに、一時の勝敗を目安とする軍隊の動員などゝは、全く意義を異にして居ます「今後の田園開發は農村の樹立に限る」など鐵道守備隊や、警察機關の配置同樣、資本と組織計畫とさへあれば、簡單に片付く者のやうに誰もがいふ、併しそれは餘りに歷史を無視した臆斷だと私は考へます、其處には學究以外の經綸が要ります、その經驗を積む爲の年處と犧牲とが要ります、今日滿洲の農產物は、幾んど過半北支那からの移民が基礎附けたと稱しても宜しい、しかし現在の農法が此程度に基礎附けられるまでには、隨分長い時日と失敗とが重ねられたことを、私は滿洲系の故老から度々聞かされたのであります、曾て日露戰役の實驗から、海城に陸軍の軍馬班が駐劄され、軍馬の改良に從事したことがありますが、班の首腦者は地方農民に對して、屢々從馬の體格を今少し大型に改良するの利を說きました、しかし誰もが頑として聽入れない、異口同音に「之は數百年前聖賢が遺した敎訓に從つたもので、最も完全な型なのだ」と主張して變りません、成程味はふて見れば尤も千萬で、現在の農法、並に農民經濟の基調が續くかぎり、この傳統は容易に打破れぬことになると、私は該首腦者から委しく理由を聽かされました

また私はこの機會にブラジル北西線の上塚周平氏を引例したい、それは私人の所有地でも何でもないが、創立者上塚周平氏の獻身的苦心と努力とが、イタコロミイ、ゴンザガなどの諸部落、約五百萬本に亘る大珈琲地帶を建設し、其處に幾百家族の安住區域を基礎附けて居ります、大正八年上塚氏が一名の同志と、自ら荊棘を拔いて僅かにプロミツソン附近を檢分した時は、猶ほ林中に毒矢を番へた印度人が徘徊して居たといはれます、それを一握の同胞農業者を招來して、不便と不安の中に開拓に從事したのでありますが、大衆の間には兎角物議が起り易い、事故も絕へぬ私が最初訪問した大正十一年ですら、種々上塚氏に對する入植者の不平を聽かされたほどです、氏が沁々私に語つた言葉の中に「人間は利益のみ追ふのは宜しくない、利益よりも名譽心に活きることだ、併し眞の事業にはその名譽心をも棄てねばならぬ、私は唯如何にして同胞安住の地を建設すべきかを念とし思ひ、畢生の心血を之に注いで居る」とあつたが、私はそれを聽く中、熱淚の胸に湧くのを禁じ得ません、それは勿論他縣のそれに比較して年月が舊い關係でもありますが、併し畢竟該區域の指導者に人を得て居たからで、そのメークよりもグロウに重きを置いて居る處に特色があります

新興滿洲國を一目に いよ〳〵展覧會始る けふから東京白木屋で

【東京特電十三日發】本社主催の大滿洲國展覧會は愈々十四日より東京白木屋樓上で開催、白木屋階上の入口には日滿大國旗を交叉し五階の窓からは滿日の大きな社旗が翻り一目で會場が判る、ショウウヰンドには滿洲美人人形や風景が飾られエレーベーターで五階にあがると會場入口には奉天北陵の大門があり日滿國旗、建國標語などの旗がならべられた、右側の通路には城壁の上に滿洲商店の看板ポスター或は新京鳥瞰圖などがあり、更に右手に入ると滿洲國建設運動の記念物が賑はしく人眼を惹いてゐる、執政溥儀氏夫妻の大寫眞の兩側には鄭孝胥、臧式毅氏等滿洲國大官等の大寫眞がズラリとならびその附近には旗人の正裝具、或は滿洲國新舊貨幣、寶物等があり、更に滿洲人の風俗、食物、土匪馬賊の武器、生活、産業經濟、政治組織を一目で見せる資料などが次ぎ〳〵の室に飾られて居る、十三日夜在京委員の外に秋山事業部長も到着して徹夜で陳列に臨ひ萬全を期した、東京府市高女や中學校、小學校生など續々參觀の希望あり、熱狂的前景氣の下に蓋をあけた、元關東長官兒玉伯は語る「流石に滿洲日報だね、よくこんなに材料を蒐めたものだ、この展覧會を見れば滿洲へわざ〳〵行かなくてもわかるわけだね、一目で滿洲國を見せるなんて全く面白い趣向だね」

海城驛附近の線路で 昨夜火薬が爆破 威力弱く列車に被害なし

十三日午後九時卅分ごろ上り貨物第七二列車が他山海城驛間二五七キロ三八〇米突附近薫家溝河附近を通過の際同線北側の線路内に火薬を仕込んだ甕二個が裝置してあつたゝめ同火薬が突如爆破大音響と共に火の手は機關車の高さにまで揚つた、然し幸ひ火薬の威力が微力であつたため線路列車人畜共に被害はなかつたが犯人は相當計畫的に列車爆破を企たものとして目下嚴探中

上海の第一線から 滿洲の第一線へ けさ後續部隊大連上陸

上海より移駐の第十四師團後續部隊○○隊○○○名は十四日朝入港の御用船宇品丸で來連、午前九時九番バースに繋留、同十時十分より上陸を開始したが同バース前の廣場には出迎への市民が殺到して大旆、小旗をたて並べ中等學校生徒は大太鼓に合はせて皇軍勇士歡迎の軍歌を高唱し我等の勇士を心から歡迎した、同十時四十分上陸を終へた部隊は岸壁にて整列し小川大連市長は市民を代表して感謝と歡迎の辭を述べたがこれに對して輸送指揮官種村少佐は

大連市民諸氏の熱誠なるお出迎を感謝いたします、今度上陸の部隊は上海にても最前線の守備につき又撤退の際も最後まで殘つて支那軍と引繼ぎを行つてきたのでありますがその間何等の出來事もなく心なき日を送つてゐたのであります、今回駐滿の命を受けて將士一同勇躍して來滿こゝに第一歩を印しました、我々は日本の軍人であります、たとへこの身は倒れるとも必ず國民の期待にそむく如き事は致しません、どうか御期待下さい、既に覺悟をきめてゐます

と挨拶したが續いて小川市長の發聲で萬歲を三唱した、准士官以上は待合所特別室にて冷酒をくみ皇軍の武運長久を祈り部隊は忠靈塔大連神社と參拜後、關東倉庫に入り午後七時發列車で北上の豫定である

名譽の負傷兵 けさ奥地から來連

滿蒙の曠野に奮戰した名譽の戰傷病兵はその後沿線各地衛戍病院において手當を受けてゐたが歩兵第○聯隊古谷清一中尉以下四十二名は内地へ歸還すべく遼城赤十字救護員附添ひの下に十四日午前七時大連驛着列車で到着したが、驛頭には森本法院長、石井大連署長、岩井在郷軍人聯合分會長等官民多數出迎へ是等悲痛な感慨な白衣に包んだ傷々しい傷病兵をねぎらつたが一行は直に輸送自動車にて大連衛戍病院分院に收容されたが、旅順、天津より輸送された八名と共に一行五十名は來る十六日午後四時大連發照國丸にて四方一等軍醫附添ひ内地へ送還、廣島衛戍病院に收容の上それ〴〵衛戍地に歸る筈である【寫眞は大連驛頭で】

赤ん坊審査會 優良兒決る 來る二十日に表彰式

過般實施された全滿幼兒愛護週間中、大連で「あかんぼ審査會」を催し可愛い赤ちやんの健やかな發育狀態を審査したが、以來浮田委員長金子、小林兩副委員長以下各委員はその審査せる五百名の赤ちやんから「大連一」の強い正しい最優良兒及びこれに準ずべき優良兒を選拔すべく慎重に成績考査中であつたがいよ〳〵その結果も決定したので十四日正午滿洲社會事業協會から左の如く發表され、來る二十日午後一時より滿蒙協和會館に於て審査會長小川市長からこれ等優良兒を表彰する事となつた

最優良

彌生町一四 岩井好雄
昭和七年一月十九日生、身長六七、五センチメートル、體重八、五五キログラム、頭圍四一、五センチメートル、胸圍四三、〇センチメートル

吉野町五四 荒牧孝夫
昭和六年九月二十五日生、身長七二、〇センチメートル、體重九、三五キログラム、頭圍四六、〇センチメートル、胸圍四五、五センチメートル

天神町七八 和泉次夫
昭和六年六月二日生、身長七六、五センチメートル、體重一〇、九五キログラム、頭圍四七、〇センチメートル、胸圍四八、〇センチメートル

西通り一一五天滿屋ホテル内 樫原三保
昭和七年一月二十四日生、身長六一、〇センチメートル、體重六、七五キログラム、頭圍三九、〇センチメートル、胸圍四二、〇センチメートル

聖德街一丁目九二 吉田米子
昭和六年十一月十三日生、身長六三、〇センチメートル、體重七、六〇キログラム、頭圍三九、〇センチメートル、胸圍四四、〇センチメートル

監部通り六〇 福村道子
昭和六年五月二十八日生、身長七九、五センチメートル、體重一〇、九〇キログラム、頭圍四五、五センチメートル、胸圍四七、〇センチメートル

優良（男子十五名女子十五名）

▲日出町二五久健治▲水仙町三八松尾讓▲錦町一小森次郎▲土佐町三四松尾達哉▲大江町一永野泰久▲紀伊町五九伊森靖昌▲山手町三ノ四井手英雄▲光風臺一七伊藤伊織▲加茂川町四石原恒雄▲沙河口霞町特一八小田徹▲鳴鶴臺一九二山縣信一▲沙河口霞町五五秋川洋弘▲近江町八二麻生一信▲桂町一四神宮司純▲鳴鶴臺二ノ三尾越敏男▲臺山町龍ケ岡淨水場官舍一藤田須美子▲惠比須町一六一三鼓和美▲蒲島町五一蒲池晴子▲桂町三山本素子▲龍田町一二九竹中滿壽惠▲寺内通り海務協會二三號市川美子▲文化臺八九水谷洽子▲花園町三〇茂見節子▲日出町九山本淑子▲早苗町七川原眞佐子▲山吹町九一塙千惠▲沙河口霞町六丁目六鈴木八重子▲初音町一六多田芳子▲八幡町四四岩本澄子

なほこの外佳良百八十五名である

樂土に活躍する人物を養成する 東北大學の復活計畫

元奉天東北大學教授白系露人ウラジミル・ゲウロウイッチ・パヴロウスキー氏は滿洲事變が突發して東北大學が休校となると同時に一時東京に赴き、滿洲新國家建設を期として東北大學を復活すべく秦拓相始め有力者を歷訪して運動を續けてゐたが、いよ〳〵復活に着手すべく十四日入港のばいかる丸で着連したが船中にて語る

東北大學休校當時より今日まで東京の新宿ホテルに宿つて大學を回復すべく努力して來ましたが今回私が運動してゐる大學は東北大學の校舍こそは以前のものを使ひますが、内容は全然變へて所謂國際大學を建設したい希望です、從來の東北大學は支那人學生のみでしたが、今度は滿洲人は勿論日本人も、露人も、人種の如何を問はず平等なる教育を施し、將來滿蒙樂土の大舞臺に立つて充分活躍し得る人々を養成したいと思ひます、日本内地におきましても相當有力者の贊成と援助を受けることが出來、又、秦拓相からはわざ〳〵滿鐵の内田總裁への紹介狀をいたゞいて來ました、兩三日大連に滯在し、内田伯にも御目にかゝり、又關東廳にも參りまして、どうかこの大理想を掲げた大學を無事に成立させたいと思つてゐます

待望のチャプリン！ けさ神戸に上陸第一歩 日活の夏川靜江から花束贈呈

【神戸十四日發】薫風五月瀬戸内海の風に吹かれてチャーリー・チャプリンは神戸着の郵船照國丸で瀬戸内海のしめつぽい風が吹く日本の港へ入つた、曾ては歐洲大戰の苦難の時代に塹壕の兵士達と殘された少年達を笑ひと涙で育んだ彼、又世界不況の生活苦に喘ぐ大人達に眞にユーモアの何たるかを解さしめんとするチャーリーは今や世界漫歩の途すがら十四日午前十時十五分日本上陸の第一歩を印した、十四日午前八時チャプリンの乘つた照國丸が潮岬に現はれる税關差廻しのランチで海上に待構へた特別出迎へ委員長格の國際觀光局秦事務官、高野秘書を始め上山草人、日活の村田實、夏川靜江、臨時税關長、兵庫縣神戸市の各公式歡迎委員全國から集まつた二百名の新聞通信記者寫眞班は一齊に歡呼の聲を擧げタラップを踏んで歡迎の第一聲を擧げた、あの山高帽子と竹のステツキとダブ〳〵ズボンとあのチビ髭を何處かにしまつて哲人の面影を多分に持つチャプリンも素晴らしい歡迎に上氣さへしてゐる、午前九時半チャプリンと令兄シドニーと夏川靜江嬢が贈呈の花束を手ににこやかに笑ひつゝ瀟洒な利久鼠色の背廣服姿、半白の頭髮を美しくなでつけ寫眞班のカメラに納まる午前十時豫定の如く船は港内第一突堤大岸壁に横付けになる歡迎のどよめきは大きく鳴り拍手の嵐に帽子が飛び上着が投げられるこの歡迎の嵐の中に降り立つたチャプリンは豫て用意の自動車で神戸市中をドライヴし料亭菊水に入つた

日本の第一印象 チャプリンの第一聲

【神戸十四日發】憧れの日本に第一歩を印したチャプリンは語る

私の映畫でどれが一番すきかつて？一番最後のやつと云ふより外ありません私の足の踏み方がバレー・ルスの第一ポジションに似てると云ふのですがバレー・ルスには非常に興味を持つてゐます、パブロヴァが僕の演出が映畫俳優の中で一番好きだと云つてゐたが、私はパブロヴァが舞踊家中最も高尚なものと思つてます映畫藝術に對する私の意見はまあ語る時ではないと考へてゐます、私の哲學ですつて？そんなむづかしい事はゆつくり落着いてから喜劇に對する一般原理、これも美學上の難問題です日本の第一印象ですか、日本は非常にエンタプライズとエネルギーを見せてゐます、それがこの船の上からも判ります

改革案提出を明大側拒絶 早大側は孤立に陥る

【東京十四日發】三大學應援團聯盟が明大野球部を通じてリーグに提出せんとしたリーグ改革案は明大野球部から提出を拒絶されたので早大側はこれを遺憾とし應援團の土倉外三名は十三日午後二時半明大を訪問しその眞意を確める處あつたが、明大側は態度を明かにせず不得要領に會見を終つた、明大としてはこの際早大に追隨してリーグ側と挑戰的に出づるを欲せず兩應援團の結束もこゝに崩潰の形となり早大は今や野球部も應援團も孤立の狀態に置かれてゐる

稻門倶樂部は野球部を支持

【東京十四日發】稻門倶樂部第二次臨時總會は十三日午後六時から丸ノ内會館に開催對早大當局或はリーグへの態度を決定すべく押川、楠戸、河野諸氏の長老連を初め三十六名出席議論沸騰したが、結局野球部のとつた手續上の不行屆きは飽くまでせめるがリーグ淨化の意志は尊重すべきものでその精神を生かすのが至當であるとしリーグ復歸の希望を棄て飽く迄早大當局並に野球部を支持するに決定十二時過ぎ散會した十四日代表が安部會長を訪問態度を表明する事となつた

聯盟解消を建言する 稻門倶樂部

【東京十四日發】稻門倶樂部では早大野球部支持の態度決定と共に學生スポーツ淨化のため早大野球部の主張するリーグ解消論をリーグ聯合會席上に建言する筈でその具體案は十四日正午開かれる實行委員會に於て作成されるものと見られてゐる

安部會長の辭任を勸告

【東京十四日發】稻門倶樂部では現リーグ會長たる安部磯雄氏に對してはリーグの淨化問題が喧傳されるこの際老軀を煩はすに忍びずとして會長辭任を勸告する事となつた

苦衷を語る會長

【東京十四日發】稻門倶樂部の安部會長辭職勸告決定の報を聞いて安部會長を訪へば沈痛な面で語る

自分がリーグ會長を辭する事は前から押川、河野にも話して居たがリーグの難關に遭遇しその目鼻もつけずに逃げ出す樣な事はしたくない

滿鐵と工大 定期對抗庭球戰

滿鐵庭球部では明十五日午前十時より中央公園内滿鐵コートに於て旅順工科大學庭球部と定期對抗戰を擧行する、シングルス五組ダブルス三組であるが滿鐵側出場選手は阿部、三浦、伊藤、小寺、新井、江口、田中の七選手である

ハルビンの建國運動會

【ハルビン特電十四日發】滿洲國の理想たる民族の融合を表徵する日、滿、露聯合建國記念大運動會は十四、五兩日連續してハルビンに於て開催されることゝなり第一日が十四日朝九時から埠頭區スタヂオンにおいて盛大に開かれた先づ三國小學校生徒は元氣に滿ちた足取りで入場着席し續いて一同起立國歌及び合歡合唱裡に滿洲國旗、日本國旗、大會旗の掲揚式を行ひ會長張景惠氏開會の辭、鮑市長、長岡副領事の挨拶、委員及び選手は場内を一周して各種運動競技を行ひ正午休憩した、なほ聯盟調査員一同も出席觀覽する筈である

清朝時代の文献研究 羽田博士來る

十四日入港はいかる丸で京都帝國大學文學部教授羽田亨氏が來連したが氏は東洋文學、並に東洋考古學の權威として有名なる人であるが、サロンに於て語る

私は既に數回滿洲には來てゐますが、今回の事變後は始めてゞす、目的は奉天に在る清朝始め種々の文献の研究でありますが清朝時代の文献の研究は清朝の直系たる溥儀氏が滿洲國執政となられた折から非常に意義深いものと考へてゐます、同時に從軍閥が日本に對して採つた陰險な政策的な國交とは全然異つた美しい眞の親善を旨とした滿洲と日本との交際も當然文献上に現はれて來ることでせう、豫定は約三週間で大體奉天のみで研究を行ふつもりです（寫眞は羽田博士）

一面坡まで 列車運轉

【ハルビン特電十四日發】東支東部線一面坡附近の反吉林軍は逃走し漸進中の皇軍は豫定はずして十三日夜一面坡に入つた、東支管理局は皇軍の手で線路の破壞個所が復舊し匪賊も掃蕩されたので十四日午後三時三十分ハルビン發二十五列車よりハルビン一面坡間運轉を開始する旨發表した

視察團に映畫公開 滿鐵の試み

滿鐵では近來滿洲視察旅行團體の激増によりこれが優遇法に就いて種々頭を惱ましてゐるが、大連に來訪した視察團體には先方の希望により無料で滿鐵が購入または弘報係が作成した活動フィルムを公開することに決定し十四日から實施することゝなつた、この團體のために用意されたフィルムは各方面のもの五十五種類に上るが滿鐵では實業視察團體には經濟資源關係のもの、學生團體には事變もの等とそれぞれ適當なものを提供する筈で、旅行團體に概念的な知識を與へまた旅行範圍の狹少な團體には非常な便宜を與へるものとして大いに歡迎されてゐる

西班牙廢帝毆打さる 犯人は無頼漢

【マルセイユ十三日發】スペイン廢帝アルホンゾ十三世が本日P、O汽船會社のストレサード號からマルセイユに上陸するや突如勞働者風の無頼漢が群衆の間から踊り出して廢帝の面部を數回毆打したが無頼漢は直に現場で逮捕されたがスペイン人である

トンネル警手が匪賊と格鬪

十三日午後零時二十五分安奉線馬架子、南坎間一六三、四キロ米古松子隧道警手稻留貞助氏は六列車を北口で通過せしめ南口に向け巡警の途中一六三、三キロ米附近で約十米の前方から突如匪賊に發砲されこれと應戰せんとしたが匪賊が近寄つて來たゝめ約二十分間格鬪の結果匪賊はピストルを捨てゝ北方に逃走した、なほこの際稻留氏は頭部その他に負傷し本溪湖病院に收容された

旅費をすられ服毒し警察へ

十三日午後九時五十分ごろ毒薬を呷つて大連署へ轉げ込んだ青年があつた、同署では直に普愛病院に收容手當の結果外生命を取止めた同人は東京市澁谷町新橋五六木村競（二〇）といひ滿蒙で飛躍する希望を抱いて本月初め來連日本館に止宿中所持金二百餘圓を電車内でスリ取られ就職口も見當らず遂に進退に窮して厭世自殺を企てたものと判明、懷中には大連署警務主任殿として、いろ〳〵迷惑をかけて濟まぬ旨の遺書があつた

筑後人會 大連筑後人會では十五日の日曜午前九時から星ケ浦後藤伯銅像附近で家族會を催し運動競技外博多にわかなどの餘興もある由縣人は奮つて參會されたいと會費五十錢家族十錢

鄕軍第二分會 鄕軍大連第二分會では十五日日曜午前九時より春日池射撃場に於て春季總會を開き引續き射撃會を催し婦女子初心者には銃器の操法を指導し家族のために賞探しその他の催しがあると

外池氏母堂 旅順第二小學校々長外池平氏母堂は今朝七時死去、葬儀十五日午後三時旅順市街日進寺にて執行

天氣豫報 十五日 南の風 晴一時曇
滿潮（午前五時三十分 午後六時）
干潮（午前十一時三十五分 午後—）

けふの小洋相場（正午） 金百圓は一六七圓九五錢

武門血笑記 (144)

下村悦夫作　布施長春挿畫

偸盗の群れ（五）

「げえ」

六兵衛と乾分の者は、思はず叫び聲を上げて、棒のやうに佇立つた。

「話がある。座れ！」

作樂は銃口をぴたりと突きつけたまゝ、かう云つて、顎で座敷の中を示した。

六兵衛も乾分も、全く魔に捲かれた形である。善右衛門に骨の髄まで叩きつけられて、やつとほつとした瞬間に、またこの不思議な男の出現。流石に兇悪な男達も、うすつかり怯え切つて、目をぱちくりさせてゐるばかりであつた。

と、床の上に座つて、この様子を見てゐた善右衛門。

「ほほう、その方が用があるのださうだ。温和しくこれへ来て座るがいゝ」

と、にこ／＼笑ひながら取成し顔。

泥棒達は、ほつとしたやうに、漸々座敷の中程に腰を下した。

作樂は靜かに部屋の中へ入つて來て、

「やあ、飛んだ餘興が出まして濟みません、一寸、この連中に訊ねたい事がありまして」

と、善右衛門に云ひながら、泥棒達の前に座つて、無造作に短筒を膝の上に置いた。

そして、

「話と云ふのは、外でもないが」

靜かな口調で云つた、

「お前達は、鳥取の城下で死んだ飛龍の黒兵衛の配下ぢやな」

「へえ、左様で」

六兵衛は白洲で調べられる咎人のやうに素直に答へた。

「では、白鷺のお蓮の居所を知つてゐるだらう」

「えッ！」

六兵衛は、この意外な言葉に、どう答へたものかと、目を白黒させながら乾分の者と顔を見合せた。

と、その時、後の方で默つて作樂達の話を聞いてゐた善右衛門、ぽんと我が手で膝頭を叩いて、

「いやあ、これは年甲斐もなくとんと失念してゐました、成程」

と、獨り言のやうに云つて、六兵衛の方を見ながら

「さうだ、知つてゐるなら、この方に云ひなせえ」

と、口を入れる。

「それが、その……」

六兵衛の口籠る様子に、作樂は屹となつて、

「知らぬとは云はせぬぞッ」

言葉は穏かであるが、その右手は膝の上の短筒を握つてゐた。

「いや、決してそんな」

と、六兵衛は周章てゝ手を振りながら、

「實は、あつし達も、お蓮には鳥取を出る時から、出入があつて探して居りますので……」

源之丞とお蓮の經緯から、喧嘩別れになつて、京都以來今だにその行方を探してゐる事を、細かに話した。

作樂は、默つて頷いてゐたが、

「うむ、ぢやそれは夫として、鳥取の城下で精蔵先生を手にかけたのは、お蓮とその方達のうち誰々ぢや」

作樂の射竦めるやうな鋭い眼光に、六兵衛達は、颯と顔の色を變へて、項垂た。

兒童舞踊デー　あす協和會館

大連舞踊研究所主催の兒童舞踊デーは明十五日（日）午前十時から協和會館にて開催されるが、明治製菓大連賣店寄贈のチヨコレート一千個を先着順に贈呈し、また兒童の健康上、喫煙させず窓を全部開放して開演する、會費は兒童十錢、女學生及付添人二十錢である

パテー聯盟　懸賞募集　創立記念に

滿洲パテー聯盟では創立記念のためパテー九ミリ半作品の懸賞募集するが規定は左の如くである

一、課題　自由
一、尺數　特大罐一卷以内
一、締切　昭和七年六月末日（絶對嚴守）
一、審査員　東京、大阪のクラブに一任し其平均點に依る（但應募多數の場合は大連に於て豫選を行ふ事あるべし）
一、入賞　一等（一點）パテー本社名譽大賞牌、聯盟賞、福昌公司賞、二等（二點）聯盟賞、福昌公司賞、三等（三點）聯盟賞、佳作（十點）聯盟賞（應募者には洩れなく參加賞呈上）
一、發表　昭和七年八月末の豫定
一、應募資格　聯盟加入クラブの會員たる事、未加入の方は何れかの聯盟加入團體に入會の上出品されたし（加入手續は當聯盟に問合せを乞ふ）
一、版權　入賞フヰルムの版權は無償にて當聯盟に申受く
一、應募注意　一、フヰルムはタイトルを入れ所要の罐に收め加入クラブ名及住所氏名を明記の上破損せざる様包裝して當聯盟宛送附の事
一、入賞フヰルムは審査發表映寫會にて公開の後返送す
一、入賞以外のフヰルムは審査後即時返戻す
一、他の競技會に入選したる映畫は受付けず
一、應募作品には希望あらば其梗概を附しトーキー映畫には必ずレコードを添付すること
一、應募作品には既製フヰルムの挿入を許さず

「滿蒙膝栗毛」の撮影隊一行歸る　封切は盆興行の豫定

新興キネマ入江プロ提携の「滿蒙建國の黎明」の別動隊として杉狂兒、小宮一晃主演で「滿蒙膝栗毛」を撮影中であつた新興キネマの西本撮影部長、川浪良太監督杉狂兒小宮一晃ら一行十二名は十三日奥地より歸連し、今十四日出帆のうすりい丸で歸洛の途に就いたが川浪監督は語る

「滿蒙膝栗毛」のストオリイは二人のルンペンが滿洲に流れ込んで各地を求職して歩くものでロケは滿鐵線をなるべく離れて今日まで映畫で未紹介の土地を中心として撮影し、州内ではロケしてゐない、奥地は鄭家屯から温都爾王府まで入つた、封切はお盆興行で、また「滿蒙建國の黎明」は今秋九月十五日封切の豫定である、溝口監督一行は昨日また鄭家屯から奥地へ入つた筈で、この二作品が成功すれば來年は溝口監督と私（川浪監督）がカメラマン二人をつれて白音太來から買賣城まで横斷旅行する計畫をたてゝゐる

中村歌助來演　大連劇場出演

日露戰役當時慰安餘興部長として出征し戰後は大連に居住し家族會及振付等に從事してゐた御馴染の中村歌之助は今回中村歌助と改名京阪地方及九州地方の巡業を終りて來連し昨十三日より大連劇場において初日の蓋を開けた、一行四十五名の大一座で狂言七十餘種を用意し依舊の熱演を豫想されてゐる、なほ今回は市内春日町最上稻荷新殿建立のため義捐的興行である入場料は特等一等一圓、二等五十錢、子供二十錢

キネマ噂話

新興キネマの滿洲ロケ隊は御大の西本撮影部長をはじめ川浪監督杉、小宮らの一行がけふの船で歸り▲あとにはまだ溝口監督松本泰輔らの一行が殘つて撮影をしてゐるが▲一行中の桂珠子が奉天のダンスホールで聯盟調査團の隨員で素晴らしくダンスの上手な人と踊つて以來▲「妾、あの人忘れられないわ」と繰返してボーッとなつてゐるといふゴシップが飛んでゐる▲また福田滿洲は滿洲育ちといつて「你ヤ快々的」式の通譯をやつてのけ「俺は俳優と通譯と一人二役だからお給金も倍にしていたゞこう」と得意の獨舞臺だと放送されてゐる▲これらのゴシップのうちビックニュースはあのキカン氣の中野英治がお姫さまにボーッとなつてゐるといふのであるが

「滿蒙建國の黎明」の入江たか子

滿洲ロケを終へて赴滿した入江たか子のイタについた支那服姿、これなら在滿邦人にもお氣に召すだらう、スチールは「滿蒙建國の黎明」の女主人公彩鳳姫に扮した入江たか子

滿洲日報

聯盟調査委員初めて わが民間代表と會見
加藤ハルビン商議會頭から 北滿排日の實情説明

【ハルビン特電十四日發】調査委員一行は十四日午前十時より總領事館において加藤ハルビン商工議會頭、高橋居留民會長と會見した、委員の滿洲に於いて民間代表を訪問會見せるは初めてゞある、會見は約一時間半に亘り十一時半に終つたが、當日は全く兩氏よりの説明を聽取せるもので加藤會頭は事變前の北滿に於ける排日實情を説明し一々例を擧げ

一、一九二一年に日滿露人合辦の下に出來たハルビン取引所が支那官憲の壓迫に依つて一年後解散されたる事實
二、ハルビン、滿洲里、布哈圖の各市政に對する支那側の壓迫解散の事實
三、日本金圓の排斥
四、ハルビンに於ける土地貸付法壓迫

その他諸實例を列擧して北滿在留邦人の從來被れる不法なる壓迫を述べ、最後に**滿蒙に於ける日本の權益を維持するには實力解決を民衆が望んでゐたもので、また滿洲の經濟的維持なくば日本國民の生存は期待されぬものであると強硬なる在留民の決意を述べた**、民會側よりは高橋民會長出席おくれた爲め副會長が在哈四千五百人を包含する邦人民會の組織につき説明した

我國輿論の傾向を 委員側に再認識せしむ

【ハルビン特電十四日發】十四日の加藤ハルビン商議會頭、高橋居留民會長の調査委員との會見は委員の滿洲における日本側民間代表との會見として最初のものであるが別報の如く加藤會頭より述べたる強硬なる決意主張は在滿日本民間の輿論を代表するものとして頗る委員側を注目せしめた、即ち加藤會頭は北滿における實情を述べたる後滿蒙における日本の權益は生命線でありこの懸案解決するには實力解決を、多年民衆の要望せるもので、これに對する幣原外交は徒らに支那側の歡心を買ひ却て支那軍閥の專橫を擅にせしめたるのみであると政府攻撃さへ敢てなし、これに對する軍の行動は當然で若しこの日本の滿蒙經濟維持を阻害されるが如きことあれば民衆の輿論は聯盟脱退をも辭せぬものであると強調し強硬なる決意を述べて日本民衆輿論の傾向を委員側に再認識せしめた

觀點を變へ 再調査に着手
從て滯奉期日伸びん

【ハルビン特電十四日發】調査委員一行は來滿以來二十日餘に亘つて軍部始め日滿要路に會見して今日までに根本的調査大綱は殆ど終つたもの、如く、而して委員の今日までの調査を顧みるに委員の調査に當るに際しては皆、北平、南京等の支那側に於いて蒐集せる材料を基本としてその反證を擧げるか又はその確證を求めるかする方法をとつてなり、未だ滿蒙調査の一貫せる根本的方針を樹立して調査に當るとの態度は見えないが然し北滿調査後滿蒙一帶の一通りの調査を終り、概略的滿蒙認識を得たうへ再び奉天に歸着せる後は滿蒙實情認識の上に立脚せる調査方針をもつて軍司令官、領事との會見において從來と異れる方法による調査に着手するものと見られてゐる、頭初のスケジュールによれば第二次奉天滯在は四日と豫定されてゐたが右の理由によつて調査内容充實のため、奉天滯在も一週間位に伸びる筈で、これに依つて觀點を變へる調査によつて委員の滿蒙再認識の過程及びその結果こそ頗る注目さるべきである

十六日のプロ

【ハルビン特電十四日發】在哈中の調査委員は十五日の日曜一日を休息し十六日午前中東鐵路理事沈瑞麟と會見後張景惠氏と會見の筈で十八日ハルビン發チチハルに向ふ筈

顧の随員に 密書を手交

【ハルビン十四日發】十三日午後五時三十分モデルン・ホテル附近で〇〇〇の密使と覺しき者が顧維鈞に近づき其の随員に密書數枚を手交した、傳へられるところによると同樣の密書が調査委員の手にも渡つた形跡あり非常に重大視されてゐる

全露共産黨鋒先を 反聯盟運動へ
哈市で盛んに煽動

【ハルビン特電十四日發】鐵橋爆破陰謀軍用列車顚覆など盛なテロを行つて人心を寒からしめた全露共産黨は其後影を潜めてゐたが、**聯盟調査員の來哈と共に彼等の鋒先は俄然反聯盟の潜行運動に變りハルビンスカヤ、プラウダなる黨機關紙を秘密裡に印刷し東支沿線及ハルビン市中に撒布し反聯盟の煽動に躍起**となつてゐる、ハルビンスカヤ、プラウダ紙には

一、プロレタリアの祖國はソウエート聯邦だ
一、吾人の敵は日本人のみではない聯盟調査員を派遣した資本主義國家だ
一、新しき勝利の運命はコムソモールの双肩に

等々の標語を乘せてゐる、其他同樣の宣傳文書がハルビン市中に多數秘密に配布されてゐるらしい

戰闘義勇隊員を逮捕

【ハルビン特電十四日發】ハルビン特區警察及びわが憲兵隊は協力して十三日夜ハルビン郊外ナハロフカに潜伏中の東支印刷所職工ガバコフ外七名を逮捕し更に十四日未明十數名を逮捕取調中である、右はいづれも全露共産黨北滿委員會の戰闘義勇軍に屬し松花江鐵橋爆破陰謀、わが軍用列車顚覆に關係あるらしく、又聯盟調査員の來哈に際し不穩のビラを撒布し調査員暗殺を企てゝゐたことを發覺した結果だとみられてゐる

經費二百萬圓で 警官五百五十名増員
拓務、大藏兩省の諒解成立 關東廳の滿洲事件費

【東京十三日發】七年度追加豫算として臨時議會提出の關東廳の滿洲事件費（警官増員）に關しては拓務大藏兩省折衝の結果十三日警官五百五十名増員、經費二百萬圓と諒解成立した

上海の居留民は 陸戰隊が保護
列國の趨向に注意善處を要す 植松指揮官語る

【上海十四日發】陸兵撤兵後の警備に關し陸戰隊植松指揮官は聲明に換へ左の談話を試みた

吾々は新聞の報道によつて陸軍撤退その他の事を承知してゐるに過ぎないが、中央では陸軍撤退後の上海居留民の保護は陸戰隊に委任されるものと思はれる陸戰隊は今後事變前の約三倍の兵力を殘留しその他裝甲車、戰車、火砲の新鋭をもつて

裝備を一新

したから事實において事變前の戰闘能力に數倍するものがあると思ふ、また同方面における實戰の經驗等は再び豫想せざるも若し萬一今後同方面の作戰を行ふ場合ありとしても事情不明に苦しむ事はないと思ふ、從つて陸戰隊指揮官として十倍以上の暴兵に對して陸軍と共同作戰の要もあるまいと思ふ、一方陸軍大臣の聲明により決して上海居留民を見殺しにする事はないと明言されてゐるので從つて將來今次の如き事變發生するも從來の如く陸兵の派遣を要する事なく極めて迅速に内地より海兵を出兵し得るの用意ありと考へる次第である、上海の事は對支關係よりも寧ろ對列國關係に重點を置く必要あり對列國關係が

圓滿にして

その協調歩調親密であれば決して支那自體のみが事を起し得ざる可く、特に今回の事變を彼等は誇大に宣傳するも内實へコ垂れてしまつてゐるのは事實なるを以てこれ以上到底我國に對し事を構へる事はないと思ふが吾人は深く列國の趨向に注意し善處するが第一に必要なりと考へる

滿洲事件費 陸軍分は一億二千萬圓

【東京十四日發】滿洲事件費陸軍の分は一億二千萬圓と決し次回閣議で決定される筈である

陸軍首腦部會議

【東京十四日發】陸軍では十四日午前十時から省、部首腦部會議を開き十二日の會議に引續き對滿、對上海、對露、對支、對聯盟等當面の重要問題を協議した

第四次の撤退開始

【上海十三日發】第四次の我が撤收地區、眞茹、大場鎭方面の軍隊の一部は本日から協定による四ケ所の殘駐地區に向ひ撤退を開始した

圓卓會議問題で 外務省コムミユニケ發表

【東京十四日發】一部に芳澤外相が上海圓卓會議開催の點につき英、米、佛、伊四國政府に斡旋方を依頼したとの報道あるに對し十四日外務省はこれを否定して左の如きコムミユニケを發表した

外務大臣は十三日夕英、佛、伊三國大使および米代理大使の來訪を求め過日の日支停戰交渉に際し右各國の在支代表者の好意的努力を謝し陸兵全部上海撤兵の經緯を述べた

在滬邦人は 軍隊引揚に驚く
時局會から駐兵要望

【上海特電十三日發】驚くべき本年一杯は駐屯すると思はれた陸軍が突如として全部引揚げることに決定したので上海在留邦人は一大恐慌を來してゐる、戰前の深刻なる排日と戰爭中の業務放棄により經濟上瀕死の域にまで達した邦人は陸軍の來征によつて幾分潤ひ料理屋、飲食店、カフエー、土産物諸雜貨商、殊に陸海軍御用達商人或は軍用夫として雇はれたルンペンは所謂軍人景氣によつて漸く息づいてゐたところ、陸軍撤退のニユースを聞いて忽ち青くなつて悲鳴をあげてゐる、支那側の排日運動は戰後却て險惡化してゐる際とて邦人の前途は戰前にも増して闇黒の闇に投込まれたかたちである日本人時局會（各團體代表た組織せる會）では上海の現勢はなほ駐兵を必要とするといふ理由のもとに十三日派遣軍司令部官憲を歴訪して實狀を具陳するとともに撤退の理由を質れ、その結果によつては居留民會を開いて撤退反對の猛運動を起すべく畫策中である

郭泰祺退院 自邸で休養

【上海十四日發】弘恩病院に入院加療中なりし郭泰祺は昨日退院して佛租界の自宅に歸り當分自邸で休養するはず、なほ郭は日支交協定調印には出席可能の模樣である

軍費捻出に 阿片を公許する
張學良が課税を實施

【天津十二日發】張學良は軍費捻出のため阿片の運搬、販賣、吸飲を公許し之により多額の收入を圖らんとし既に之が實施をなしつゝあり、これに對し防毒會では人道上より學良に警告を發したるに對し學良はこれを事實無根として一蹴した、しかし消息では北平、天津、熱河等に徵税機關を設くると共に關内各所に吸飲所を公開し吸飲器具に一月八元の課税を行ひ、河北のみで一月一千萬元の收入を得る見込でなほ天津では市政府社會局に阿片課を新設し一切の事務を掇ふ事となつた

山海關事變を 各國軍に説明

支那側は山海關事變の捏造記事を掲げ宣傳せるため、わが派遣軍は十日各國軍參謀長を集め學良陰謀の眞相を説明した【奉天電話】

滿洲擾亂の 陰謀暴露 正規軍を派遣

張學良が公然正規軍を派遣し滿洲擾亂をなせる事實が十日の山海關東前衞の戰闘で判明した、北上せんとして敵は第四、第十路義勇軍を主隊とする六五六團の徽章を有しダムダム彈を使用してゐた【奉天電話】

總指揮に王樹常を任命

河北省政府筋の情報によれば張學良は第二軍長王樹常を滿洲遠征の先鋒總指揮に任命した【奉天電話】

山海關の形勢を報告

【南京十四日發】張學良代表朱光沐は山海關東方前衞の西北方で張學良義勇軍と、日本守備兵間に十一、二兩日に亘り激戰行はれ日本側負傷下士以下六名、義勇軍死體百二十を棄した旨汪精衞、蔣介石に報告を終り本日北上の筈

學良、學生に應援を求む

【天津十三日發】張學良は南京、上海兩地の學生に對し應援を求むる通電を發したが、之に對し學生から折返し失地回復の積極的行動を起し寸地にても回復せば國民の同情期して集まるべしとの返電があつた

滿洲事變の 不穩文書を配布
犯人は在留の支那人

【東京十三日發】警視廳外事課ではさる三月中旬來市内外各所に亘り「滿洲事變の眞相」と題して我軍部を極度に誹謗した不穩パンフレットを秘密裡に配布するものがあつたので以來極力内偵中漸く兩三日前この眞相を突止め昨夜深更迄に神田區北神保町中國キリスト教青年會幹事長濟鑑（三七）小石川區指ケ谷町早大政治科二年胡廣年（二〇）牛込區辨天町東北軍將校委員會委員長支那陸軍中佐何弘遠（三〇）ら三名を順次檢擧し神樂坂署その他に分散留置し取調を急ぎつゝあるが、彼等は出版法違反外に刑法八十六條に依り外患に關する罪（即ち帝國の軍事上の利益を害したるもの）として處斷すべく檢事局とも打合せを行つて居る

遞信參與官後任は東郷實氏

【東京十三日發】坂井遞信參與官は逝去に伴ふ後任參與官は東郷實氏と決定、明日持廻り閣議を經て左の如く發令の見込である【寫眞は東郷氏】

任遞信參與官　從四位勳四等　東郷實

對外貿易 入超激增 五千三百萬圓

【東京十三日發】内地臺灣朝鮮南洋を含む全國の四月中に於ける對外貿易は入超五千三百六十萬五千圓にして一月以降の累計入超は二億二千七百四十九萬圓となり前年より一億二千二百五十萬圓の入超激增して居る（單位千圓）

項目	金額
輸出	九八、〇九九
輸入	一五一、七〇四
入超	五三、六〇五

杏花屯を中心に 首都建設の大綱
成案を得る迄に時日を要す

滿洲國の首都新京の建設は着々進められてゐるが、長春附屬地並に城内と切離して新京のみの都市計畫は勿論不可能であるため附屬地城内を如何にして取入れるか相當

重要問題

とされ、隨つて早急の決定は不可能とされてゐる長春驛前中央通りを一直線に南へ延長するの計畫も勿論實施されるであらうが、西公園内の一部を貫通せねばならぬ關係にあるので滿鐵側へ既に準備交渉が行はれつゝあるも城内の地區改正はこれによつて相當大變に實施を見る筈而して首都建設はこの一里半餘に亘る長春驛前、南嶺間の大幹線道路を挾んで南方卽ち

杏花屯を

中心に城内及び附屬地と接續せしめられる事になるが、各官衙の新築は極彩色の古式を採り民情に即したものにする模樣である、因に長春驛が長春、孟家屯間に移轉新築される計畫案は或る事情によつて中止された【長春電話】

都市計畫と 宅地拂下

滿洲國の都市計畫は頗る大規模に立案されてゐるが、これが發表たる一般民衆は非常に期待して居り、實業家も投資を希望してゐるので極力その完成を急いでゐる實情にある、新國家ではその都市計畫發表と相前後して新國家自體で不動産に對する金融機關を設立し拂下げられる宅地に對して新築資金の融資を圓滑に行ふ計畫がある、勿論都市計畫による地區割は一定の標準價格によつて一般に拂下げその收入は一つは國家の財源とし一つは不動産金融に對する融資金に充當される筈である【長春電話】

長春中心に 測量着手

滿洲國々都建設局では鋭意都市計畫設計の歩を進めつゝあるが近日中に大體の設計を終ると共に直に一部工事に着手する豫定で既に測量隊では十二日より長春を中心に約三邦里四方の實測に取りかゝつたが現在のところ豫算の關係上本年度は一部急工事に止め來年度より豫定工事の實行に着手する模樣である【長春電話】

上海の重傷大官 何れも經過良好
野村中將の右眼を手術した 船川大連醫院眼科醫長歸る

上海事件掉尾のセンセーショナルな事件として未だに耳新しい天長節當日の爆彈事件勃發と共に急報に接し旅順より驅逐艦朝顏によつて上海に急行、野村第三艦隊司令長官をはじめ重傷大官の診察に當つた大連醫院眼科醫長軍醫大佐船川尤三氏は重責を果し十三日入港の奉天丸にて歸連船中語る

自分は恰度當日內田總裁の招きによる觀櫻會に出席中だつたが旅順の久保田駐在武官よりの懇請によつてその夜のうちに驅逐艦に乘込み三十日の晩上海に到着した、醫者として駆けつけた者のうちでは恐らく一番早かつたらう、自分は專門上主として野村司令長官の診察に當つたが野村中將の傷は右眼の上眼瞼を突抜けザクリと米粒位の破片が目玉の中に入つてゐてこの儘放つておいたら交換性眼炎を起して無事の左眼にも影響すると思つたので直ちに一日の午後右眼の摘出手術を施した、同中將はその傷と左の下肢から腹部にかけて無數の破片を受けて居つたが今では大分よく治療用の義眼によつて平靜を保つてゐる、爆彈は野村司令長官と重光公使の間に後の方から轉り込んだもので重光公使は最も非道く下腹部まで危險狀態に陷つたので遂に大手術をしたものである、さにかく一同は破傷風をおそれて血清の注射をやつたが之れが一週間位して反應が現はれ野村、白川兩將軍は全身にかゆみを感じ二三日は食欲も進まなかつた、しかしこれは注射の關係であるから自分の出發の際は大した事はなかつた、もつと早く歸らうと思つたのだが丁度領事館のタイピストも眼中に破片をうけたと云ふので診察してゐて遲くなつた、結婚前の娘さんにとつて悲慘な感じがした、白川、植田兩將軍は兵站病院で野村中將は福民病院で醫界の權威者の手によつてそれぞれ一生懸命の治療を受けてゐる

植田〇團長の 經過頗る良好

【上海十三日發】軍司令部發表＝植田〇團長の容體は三十六度九分脈搏六十、總て極めて良好なる經過をとり創部は著るしく縮少す本日試みに松葉杖により始めて右脚を使ひ床上に降りその程度をみるに足首の創部の痛み等は殆ど訴へられず

外交部地方 辦事處
滿洲國政府が 奉天に設置

滿洲國政府外交部は奉天における外國側との交渉が頻繁且つ重要なるに鑑み奉天に外交部地方辦事處を設置することに決定し目下その準備を進めてゐる【奉天電話】

王道宣傳の 芝居成功
各地を巡演

滿洲國最初の平和的民衆慰安として計畫された民族協和促進會主催の光明新劇團男女俳優十九名一座の芝居は十三日午後一時より四時まで城內四道街龍春舞臺で開演したが、舊軍閥の虐政と賑かな新國家とを巧に取入れた王道の光を上場、觀覽者は男女、中等學校以上の學生で立錐の餘地なき滿員振りにて場の內外は憲兵と巡警で警戒し、新國家宣傳としては未曾有の成功であつたが、十四日は一般民衆のため開放する筈で、新國家宣傳を芝居で試みたことは人情の機微を捉へたもので迎へられてゐる、なほ十六七八の三日間は吉林で開演、順次ハルビン、チチハル、洮南、鄭家屯、通遼その他を巡演の筈である【長春電話】

對支、關東州 及び香港貿易

【東京十三日發】大藏省發表、四月中の對支那・關東州及び香港貿易は（單位千圓）

項目	金額
輸出	二四、五六八
輸入	一七、九七三
輸出超過	六、五九五

前年同期に比し輸出は二一パーセントを增加し輸入は二十九パーセントを減少した

勞働爭議增加

【東京十三日發】內務省社會局發表、昭和六年中の勞働爭議總數は二百四十六件でわが國勞働爭議件數の最高記錄をなしたが、然し爭議參加人員は十五萬四千五百二十八人で五年度より三萬七千二百七十七名の激減を見せてゐる、原因は經濟不況を主因とする

佛、伊公使の動靜

【上海十三日發】フランス公使ウイルデン氏は明朝南京經由北上北平に赴く筈、又イタリー代理公使コルレラツタオ伯は本日十日間の豫定で漢口へ向つた

手形法案提出

【東京十三日發】手形統一に關する條約批准に伴ふ手形法案は臨時議會に提出され貴衆兩院の諒解を求め通過をみた上國際條約御批准を奏請八月三十日迄に批准寄託をなす方針である

社説　日本人の對支感情

國際聯盟調査員は、日本が支那により加へられた、排日運動に因る損害と侮辱との頗る多大なる實狀を知りて驚いたことであらう。而して多年これを隱忍して來た日本國民の心理狀態に關して、恐らくは不審の念があるであらう。蓋し、權利を尊重し、他の壓迫に對しては少しも之を假借する所なくして反撃せんとする西洋普通の心理を以ては、日本國民のこの隱忍は到底解すべからざるものであらう。西洋にても國力の薄弱な場合に、强大國に對しては怨みを呑んで屈伏することもある。しかし、日本は世界第三位の强國であつて、軍事力から見ては支那に憚かる理由は少しもない。尤も日本が不當な攻撃を支那に加へんとするならば、世界の輿論に遠慮することもあらうが、彼に猛烈な排日行爲がある以上は、何時でも支那を攻撃する正當の理由があつたのである。隣邦の非を世界に發くを快しとしないからである、何故かといへば、排日行爲を暴露するによりて、自然に支那の國內的の無秩序狀態を、並に對外的不法行爲を遺憾なく暴露せねばならぬ。此等が世界に暴露さるゝならば支那は結局世界に立つ能はざる打撃を受けるであらうと考へたからである。

◇

尤も、日支不兩立といふのが支那人全部の考へ方ならば、これに對して打撃を加へる必要もなくして其一部の考である。故に其中には內部から改善さるゝのであるが、それは國民の一部たる國民黨の政策であり、しかも國民黨の全部の意向ではあるのであるが、機會もあらう。日本人もそれを助けてやりたいと考へて居たのである。然るに只に改善されないばかりか、愈々出で、愈々惡辣になり、且つ滿洲では張學良蔣介石諸氏の私慾を增進せんがために、益々排日運動を盛んにした。此處において日本の民心も漸く激昂して來た。丁度其時に奉天官兵の滿鐵線破壞が起つた。そこで日本は自衞的に軍事行動を起さゞるを得ざるに至り遂に軍事行動に移つて相手も敵對行爲を爲す以上、日本軍としても亦自衞上相當の自衞的行動を執らねばならぬ。又官兵に踵いで匪賊が續々起る有樣であるから、隨つてこれを討伐せねばならぬ。而して支那がこの事件を國際聯盟に提出したのであるから、日本は心ならずも、支那內部の無秩序な事、並に其對外非行を摘發せねばならぬ立場に置かれた。而して實は斯くの如きは、吾々日本人としては快しとなさぬ所である。

◇

先日我重光公使が爆彈を受けて症狀重態と見られた時、支那政府慰問使の手を執りて、苦痛呻吟の裡にありながら「日支兩國は永久に親友だ」と言つた。この「心」は卽ち、日本が排日を受けながらも、國際聯盟にも訴へなかつた「心」である。斯くの如き、日本國民の支那に對する感情は、外間の人の理解する能はざる所であらう。道德の根本を異にする歐米人には東洋道德の眞諦を解するに苦しむであらう。殊に遠く東洋の地を離れて、日支兩國の政府の表面的交涉ばかりを聞知する人々には到底理解しかねる所であらう。

私鐵買收問題を中心に　貴院側俄かに活況　各派それぐ\對議會策を練る

【東京十四日發】私鐵買收問題を中心に貴院の對議會策は俄然活況を呈し研究會では十六日會合し研究會の最高方針を定め、十六日には政務審査部の第六部會を開き久保田次官を招き買收案の說明を聽取する筈である、更に公正會は十六日午前十時より政務調査部の臨時緊急七分科會を開き床次鐵相の……

しかして目下靜觀主義を持して居るが政府の一部では貴院は七月十日の改選を控へてゐるため政府提案に反對は出來まいと都合の良い放送宣傳をなせるものあり、有爵議員連は憤慨の意を漏らして貴院としては全く嚴正公平な立場で協贊の任に當るべきなりとし何れも强硬なる態度を持してゐるので成行は注視されて居る

床次鈴木兩派の　抗爭愈よ表面化　私鐵買收案を繞つて

……案を繞つて、政局緊張の折から……縣選出の岡本代議士が十三日午後突如私鐵買收案反對の意見書を犬養首相始め貴衆兩院全部に發送、床次鐵相に對し挑戰的態度に出た事はその背後に森幹事長が控へてゐるので、鈴木系の陰謀と見られ、鈴木對床次の抗爭は臨時議會を前にして遂に表面化するに至つた、今回床次鐵相が高橋藏相を口說き落して三千萬圓の交附公債で八私鐵買收を決意したのは、若しこの買收案が兩院を通過する場合床次鐵相の手腕は內外齊しく認むるところとなりその聲望は嘗に輿黨を壓するばかりでなく地方的に床次鐵相の勢力增大を來たすを看取した鈴木派は、遂に公然これに挑戰逆宣傳を開始し、同案が貴族院で否決乃至審議未了に終らしむべく策動してゐるので、臨時議會は俄然暗雲低迷、軍部及び平沼氏中心のファッショ運動の成行と共に中央政局はいよ／＼緊張を加へて來た

十四日からの滿洲國展覽會
寫眞は東京會場の東京日本橋白木屋

議會淨化に一路邁進する　隱忍自重議會の神聖を維持　民政黨幹部會で協議

【東京十四日發】民政黨は來るべき臨時議會對策に關し具體的對策を決定すべく十四日午前十時より丸ノ內會館に於て幹部會を開き若槻總裁以下各總務、各顧問等幹部出席野黨としての對議會策、特に議會淨化問題に關しては全力を擧げてその目的貫徹に努むべく、これがため黨員は隱忍自重して議會の神聖を維持する方針にてこれが實行方法として正式の取極め方法を決定すべく協議しその他重要法案に對する態度についても意見を交換し正午散會後引續き重要對策につき協議するところあつた

特別金融制度調査會議案

【東京十四日發】第一回特別金融制度調査會は十四日午後一時半より……

管理案發表から　爲替市場氣迷ふ　發表不用意非難さる

【大阪十三日發】爲替管理說に怯へて前日慘落した市場は今朝米日續落と英蘭銀行利下げは人氣を刺戟して益々軟化し、外銀筋が棉爲替の取きめを行ひ、一般輸入商も續々輸入手當を急ぎ來たり、三十一弗十六分の十三にて五月物に小額の出會ひ、あと氣配更に惡化し落潮滔々の感を呈した、然し管理案の內容は不明であつて見越し手當も却つて不利となるのではないかとの懸念もある、輸入手當は稍一服氣味となり正午前から生糸ビルの出廻りポツポツあり下げとめ商狀に轉じ、午後は三十一弗八分の五と小戾した、金輸禁止の現狀においては或程度の爲替管理は當然であるが、斯くも不用意に管理案を發表する事は徒らに市場を攪亂するものであるとして爲替銀行間に非難の聲が相當たかまつてゐる

東亞土木は存續　滿鐵重役會議の意見

滿鐵重役會議は十三日午後二時三十分から總裁室に正副總裁以下在連各理事、山崎總務部次長等參集最初のうちは酒井鐵道部庶務課長も出席し、午後五時からは宇佐美奉天事務所長、羽田鐵道部次長が出席、午後七時まで約四時間半の……行はれんとする際同會社の存續は是非共必要であることに意見の一致を見更に同社の今後の經營方針等についても協議、最後に社外線關係の鐵道問題に就いて具體的な打合せを行つた……なほ十四日午後も鐵道問題に就……

靑年の思想と缺陷
若宮卯之助

私は大正六年「帝國大學は必ず危險思想の母胎となる」といふ一文を發表した。當時は何を皮肉な事をいふか、といふ位の反響しかなかつたが、私としても、社會主義思想が昨今のやうに流行しやうとは、想像してゐなかつたし、大正六年といへば戰時景氣の眞最中でもあつたのである。私が、何故さういふ一文を草したかといふと帝大の研究方法が間違つて居るためで、西洋を誤解し、西洋の知識をそのまゝ日本に適用出來ると思つてゐるのが彼等なのである。西洋人は日本の家族制度をいくら研究しても、理解し難いと稱して居る。又アメリカあたりでは、親は子供を養育する義務があるが、子供は生長しても親を扶養する義務はない、といふ事になつて居つて、日本とは大變樣子が違ふのであるが、家といひ家族といふ言葉は彼我同一である。卽ち言葉は同一でも內容が異つて居るに拘らず、學徒は日本の家族と向ふの家族と同じだと取りたがるのである。政治經濟等人間關係の事はすべて部分的に違つてゐるが、言葉は同じで……

……ある。抽象的には同じであるが具體的內容は異つてゐる。而もこの抽象的な方面だけを敎師は敎へてゐるのが大學及び高等學校である。

すべての文化は西洋が代表してゐる、といふ觀念は、極最近つて破產したものであるが、大戰前洋行した大學の敎師は自分の仕入れて來た西洋の知識を科玉條として學生に注入する。かういふ誤れる知識が、文明の中心をなす時、その社會は危險である。さういふ抽象的知識、考へといふものは準備のであつて、最後の考へにはならない。學校で敎へる知識は、洋假縫ひのやうなものであつてそのまゝ着たら大變なことになる。敎師及び學生は、論理によ……

投書歡迎　中傷はさらす　五十行以內

とんだ誤解　美人座主

◇十二日の本欄で日出町子供神輿の世話人が、神輿と子供大勢とを當店の前に止めて、當店で飮ませられたいふやうなことがのせられてゐましたが、右はとんでもない誤解でありまして、當店の立場において右の眞相を述べ、大方の誤解をさきたいと思ひます。

◇私はかれてこんど日出町子供神輿の世話役をされた方と知り合ひであつたので、この度始めて子供神輿をお出しになることを聞いたので、出來るだけのおもてなしをしたいと思つて、西通りをお通りになるなら是非立寄つて戴きたいと申し傳へたのであります。

◇世話役の方も西通りを通るといふのでこれを御快諾下さいましたので、お寄り下さいました子供さん達始め皆樣に對して、百人ばかりの子供さんには氷水を十四五人の大人の方にはコール紅茶を接待したのであります。

◇勿論當時恰も他のお客さんで女優さんたちと一緒に見えた方もあり、また其他にも二三お客さんが見えてなりましたが、私共はこれらのお客さんと神輿の一同とは區別してゐたこといふまでもありません。

◇元來神輿の渡御に對しては內地の各地では沿道あらゆる方法で湯茶その他御接待を申上げるのでありますが、大連では何故かこのことが少く、私共はかれて殘念に思つてゐたのでありまして、私共の奉仕的なこの心持がこんどの御接待を申上げることになつた次第であります。

◇世話役の方々が醉つて出て來たとは何をみられての言か知りませんが、誠に諒解に苦むところでありまして、かく誤解されては、私共として日出町の世話役の方に對して、何とも申譯が立たないのであります。右樣の次第を御諒解されんことをお願ひする次第であります。

……

第三、日銀參與官設置の件
一、日銀の重要なる業務につき日銀總裁の諮問に應ぜしめるため日銀參與官を設置す……

日魯、北洋　兩漁業合併

【東京十四日發】日魯漁業、北洋合同漁業兩者は十四日それ／＼株主總會を開き北洋漁業を解散して日魯に合併し新會社組織の件を決定した

三菱川崎造船が二千名整理

【長崎十三日發】打續く海運界の不況で注文船激減のため經營不振に陷つた三菱、川崎造船所は一昨年從業員二千名の整理を行つたがその後依然海運界不況に現在の從業員五千名中二千名の整理を行ふに內定した、時期は六月初旬頃であるさ

米國稅改正法案大統領拒否

「建國の春」と寫眞帳を贈る

製糸業免許制　根本方針決定

【東京十三日發】農林省はの省議で製糸業免許制度に案根本方針を決定、臨時議……の運びとなつた

關東廳辭令（十三日）
任關東廳……　細川　淸

人事

▲細井肇氏（獨立國策協會理事）孫て滿洲國各地視察中十三日午後四時五十分來連ホテルへ投宿、約一週間滯在後上海へ向ふ由
▲宮村大佐（第〇〇團第〇〇）上海より奧地轉向の途來連
▲藤本鐵男氏（福岡縣地方……福岡縣產業視察團……）來連各方面歷訪挨拶のため十三日市內各方面……

大觀小觀

市況（十四日）

乳幼兒期の榮養（上）

大連彌生高女校　今川ツネノ

「子供時代の榮養は其人一生の健康を支配する」とまで言はれてますが、わけても成長の極めて旺盛な乳幼兒期の榮養供給が至當であるか否かは其人の體質に大きい影響を持つことは何誰でもお判りになることでせう。私は此時期の榮養上特に大切な無機質の攝取について申上げたいと思ひます

×　×

この無機質の一般榮養上の作用をあげてみると

一、骨骼齒牙の發育を助け且つこれを堅硬不撓ならしむ

二、活動組織細胞の原形質を構成する成分となる

三、筋肉の彈性、神經の刺激感受性消化液に酸性又はアルカリ性を附與して組織血液に一定の滲透壓を與ふ

等で鐵、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、カリウムなどですが近時特に注目されて居るのは鐵分とカルシウムです

×　×

哺乳期の一年は母乳を唯一無二の榮養物として供給されますが、この母乳中の鐵分含有量は僅に〇・〇〇〇四〇三%といふ實に驚くべき微量ですから到底かの異常な發育の需要に應ずることは不可能な筈です、けれども實際に於ては哺乳期は單に母乳だけで優良な發育をするのはルンゲ氏の研究に依ると初生兒の體成分中に含まれる鐵分の體重に對する頃は成熟した大人の體成分中の鐵分の體重に對する比の約三倍量あるからださうです、胎兒は母胎内で徐々に鐵分を貯へて三倍大の貯藏鐵を持つて生れて來るのです、然し出生後哺乳によつて成長して體重が分娩當時の約三倍になつたときには體重に對する鐵分の比が大人と同一になつて居ります、この時期になつてもまだ微量を含む母乳ばかりで榮養をとつて居ると其兒の榮養に必要な血液其他に鐵分補給が不足して榮養不良になり發育不完全になつて參ります

一年中で この五月が一番 空巣や交通事故

危險な子たちの自轉車乘り 花見に出掛ける人々の戸締 一般に注意が足らぬ

滿洲居住の人が花見に浮かれ出す五月……一年中で最も忙がしい目を見せられるのは警察當局でせう、大連警察署の石井署長は次の様な注意を一般に促してゐます

五月は　窃盗、交通事故が一年中で最も多い月で一年中に起る事故の三分の一を占めるといつた狀態です、これは今まで室内に閉ぢ籠つてゐた多くの人が花見に浮れ出す關係上自然事故も多くなるのですが、これも各自が餘程注意されたら比較的豫防が出來るものです、昨年の窃盗、交通事故の統計を見ますと

▲窃盗＝一月七件、二月一八件、三月一六四件、四月二一二件、五月二八五件

▲交通事故＝一月二八件、二月二一件、三月一九件、四月二六件、五月三九件

この　やうに五月の月は他の月に比べて事故がウンと增加してゐます、交通事故中でも最近は小學校の二、三年生位の兒童が向ふ見ずに乘り廻す子供用の二輪車の事故が非常に增加して來てゐるのです、この二輪車も十圓かそこらで手に入りますので、一人友達が持つてゐるとそれが流行してたんく大勢の子供が持つやうになり、果ては危險な自轉車競走をするやうになります、最も冒險的な時代の子供の事ですから彼等は喜んで危險な事を試み人通りの少いところを嫌つてわざく交通頻繁な市街に進出して危つかしい足どり、手ごりで乘り廻し角を廻るにしましても「左小廻り、右大廻り」とある

規則　なんか、まるで問題外で横道から大道に出るにも遠慮なしにどんく乘り出すなど冷汗を握らせられる場合が度々です、私共の經驗から見ますにこの二輪車に乘る子供は必ず事故を起してゐます、しかしこの事故はいつも大きく自動車に轢かれた場合など大抵生命まで失くしてゐます、でなかつたら一生を不具で暮さなければならぬ様な大怪我をするなど二輪車の危險率は大きいものです警察でも學校側に對して注意してありますが

子供　はこのやうな危險さいふ考へは毛頭ないのですから親の方で充分考慮されたら怪我も未然に防げると思ひます、次に一般の交通事故としては人力車と步行者との衝突が增加する事です、これもやはり不注意のために起るのですから注意して欲しいのです、次は五月になつて急に增える空巣覗ひです、これもやはり一家揃つて外に浮かれ出すために留守居のないのを幸ひ覗ふのですが、外出する場合は家を全く空けて出るのが最もいけないのです、止むを得ない場合は充分戸締をして

お隣　にでもその留守を告げて出られたら注意していたゞけるため比較的盜人に見舞はれる率も尠いものです、一家揃つて外出される場合は決して南京錠は使用されないことです、空巣を覗つてゐる位の者はいつも三、四十個位の合鍵を用意してゐますから自由に家屋内に侵入する事ができるわけです、南京錠が掛つてゐることは換言すれば今留守だからお入りなさいと正直に教へた事に外ならないわけですから南京錠は止してナイトラッチといつたやうな

合鍵　のない錠を使用される事をお進めします、警察でも餘程注意してゐますが自分は自分で充分警戒すると云つた心掛でゐられましたら被害も餘程豫防できるものです、萬一窃盗された場合は物の大、小、善惡に關せず屆出て貰つたら塀を越えて侵入したもの、ボテを外して或は合鍵を用ひて、又は便所の汲取所から侵入したなどゝその手口によつて警察では犯人捜査に非常に便利ですから出來るだけ盗難にかゝつた場合は屆出るやうにして貰ひたいのです。

幼い子達の 強情・短氣・慾張り

通有性だからと放つて置けない

強情、短氣、慾張りといつたものは幼い子供の通有性とも見られるもので、これらの性格を持ち合してゐない子はないと斷言してよい位です、新入學兒童のクラスをあちらこちら覗いて見ますと先生の前も憚らず相手構はず盛んにつかみ合ひを初めてゐるなど元氣旺盛な子供許りです、しかしこの性格も一途に惡いと排斥すべきものではありません、大人の命令通りに動かないと

＝強情＝　だと叱り飛ばす、子供の方では度々見ますが、子供だつて小さいながらも意志によつて動き、嫌な命令に從がはうとはいたしません、もしこの場合人の命令通り左右に動くやうな意志の弱い子供でしたらその子供の將來は案じられるのです、一概に餘り頻繁に命令を下しますと終には習慣となつて從順でなくなります、だから止むを得ない場合だけ注意を與へできるだけ叱言の連發を止めて、自發的に矯めさせたら割合に效果が擧がるものです、次に

＝短氣＝　ですが、短氣な子供は大抵自由の利く家庭とか老人がゐたり、女中がゐて子供の世話を見る家庭とか、一人息子、末つ子の場合で、これは幼少時代に思ふ通りにして貰つたが主な原因となつてなります、彼等は我意が通らないとすぐ泣き出したり、怒り出したりする癖を持つて居りますがこれを矯正するのには今まで我意を通させてやつた受身の立場を轉倒して、兄弟があれば兄弟の面倒を見させたり、家の仕事を手傳はせて出來るだけ責任ある仕事をさせ色々の經驗をさせますと自然自分の意思通りにならぬ事を悟り氣が柔らかになります、次に

＝慾張＝　の時代があります、これは誰も經驗し覺えのあることで大きな聲で慾張りなどといはれない問題ですが、この慾張りも全然排斥してしまふべきではありません、全然慾がなかつたら無能も同じです、だからといつて慾張りで通させるわけには行きません、幼い時の慾張りは動物的で全く自己主義のものです、これは成長するに從つて自然矯正されては參りますが、幼い兄弟姉妹の多い家庭で一日中喧嘩をやり通されたら堪りません、これを避けるためには親は兄弟を公平に取扱ひ決して依怙贔負をやらぬやう、秩序を立て、どこまでも各自の所有品は區別するやうにしておきますと慾より起る喧嘩を豫防することができます

滿倶後援會 會員を募集

本社主催の實滿戰は六月中旬に擧行する豫定であり引續き外來チームが來連する筈であるが滿倶後援會では例年の如く左記會員を募集することゝなつた

一、會員別　特別會員、會費金十圓以上一時拂（約百名座席ネット裏中央前部）▲甲種會員、會費金八圓（約六百五十名座席中央より三壘側）▲乙種會員、會費金五圓（約五百五十名座席は一壘側但し滿倶對大連實業の試合には座席を移す）▲丙種會員會費金三圓（約三百名座席は音樂堂附近及び一壘外側）

一、一般席の決定は申込締切後抽籤による

一、申込締切、五月二十日限

一、申込場所、市中の方は滿洲日報社内本村武盛（電話四七六六七番）伊勢町山本運動具店（電話五九七九番）大山通體育堂運動具店（電話三七二三番）連鎖商店街體育堂運動具店（電話二二一五七番）連鎖商店街玉澤運動具店（電話二二三三七番）滿鐵社内は各課所に於て取纏め總務部庶務課經理係滿倶後援會（電話公衆八四三八番社公二一〇八番）

お父さまの趣味（十五）

却々自慢の魚釣り 心細い加賀寶生流の謠ひ手

語る丸山房子さん

水仙町の靜かな官舎で眼鏡の奥にやさしさうな眼をまたゝき乍ら、今年大連神明高女の五年をすました房子さん（一七）はほんとに困つたやうなお顔でした。房子さんのお父樣は溫厚を以て聞えた大連二中校長丸山英一氏で房子さんはその二女、お父樣の氣質をそつくり受けついだおとなしいすなほなお嬢さん

お父樣の趣味なんて私困つてしまひますわ

▲………▼

お父樣のおすきなものといへばまづ釣くらゐのものでせう、夏になると時々學校の先生方と一しよに老虎灘あたりまでいらつしやいますが、釣つていらつしやるのは大がいはぜで大きなお魚なんかちつとも釣つていらつしたことがございませんの、それでいつかお母樣が「お父樣のは魚釣りでなくてはぜ釣りでせう」と仰言つたものですからお父樣がむきになつて「よし、それぢや大物を釣つて來るぞ」とおつしやつて馴れない舟に乘つて釣りにお出かけになりましたら、釣どころかすつかり舟に醉つてはぜの子一匹釣らないで青くなつておかへりになつたことがございましたのよ。

それでゐて御自分ではどこまでもお鼻が高いのですからかまひませんわ、毎年秋になると一度は必ず中等學校の校長先生方で龍王塘の鮒釣り會をなさいますけれど、一度も私共を連れていつて下さらない所を見ると矢張り御自慢ほどでもないんでせう。

▲………▼

ふだんは學校のお仕事がお忙がしいし、別に將棋や碁もなさいませんから、お夕はんが濟むと家の者を相手に麻雀をなしたり、弟たちとお相撲をさつたり、五目並べをしたり、新聞をよんだりして大がい家にいらつしやいます、學校ではいろく心配な事やうるさい事があるでせうけれど、家へかへつたらもう學校の問題には觸れたくないといつた御樣子で、着物にきかへるとゆつくりくつろいで新聞を讀むのをたのしみにしていらつしやいます。

▲………▼

先年歐米へいらした頃は恰度寫眞に熱中していらした時分でしたからあちらこちらの風景を澤山うつしていらつしやいましたが、この頃は寫眞機もどこかへ押こまれてしまつてゐます、體が太つてゐますから學校の遠足等でもないと進んで遠足をなさる程のこともございませんが、先だつてから學校でテニスをやつていらつしやるやうです。音樂はさり立て、お好きでもありませんが、謠曲だけは若い頃二三年加賀寶生流とかを學んださうで、今でも時折謠本をひつぱり出してゐる事があります、でも本がなくては一くだりも自信がないといふのですから心細いものでございますわ。

滿日各地版

漸く六ヶ月目に戰死兵の遺骸發見
鐵嶺に淋しく凱旋

【鐵嶺】昨年十月中旬通遼附近の戰鬪に於て戰死せる鐵嶺守備隊第四中隊軍曹黒木靜江氏、上等兵兒玉良作、箱崎光、吉田喜平等の遺骸は死後半歳を經るも發見されず止むなく去月慰靈祭を行ひたるが其後安藤中尉の一行が戰死現場附近に出動して遺骸搜査に全力を注いだ結果漸くこれを發見、同時に行方不明となつてゐた砲兵勇士の遺骸も發見したので即時茶毘に附し十三日午後九時着列車で遺骨を護送して來た、驛頭出迎への人達は白木の遺骨を迎へて更に涙新たなるものがあつたが戰死説傳はつて以來半歳の間杳として發見されなかつた遺骸を發見し得たるは故人の靈に對しても最大の慰めとならう

匪賊、五道溝の分署を襲擊
電話を破壞、武器强要

【安東】十二日午前二時頃大刀會匪于子四の部下約廿名が五道溝地方警察署分署を襲擊し電話を破壞して通信不能に陷らしめ兵器の提供を迫つて署員一名を拉去した東溝兵分隊では直に梅木班長以下六名が地方警察署員十五名を率ゐて騎馬で出動し情況偵察の後正午歸隊したが左の如く語つた

襲擊したのは二千名位だが屋外に約百名、直ぐ前の山の背後に約三百の大部隊が居た模様で附近を偵察したが草木が青々と茂つてゐる爲め殘念ながら發見出來なかつた、彼等は兵器を掠奪する爲めやつて來たものらしく拉去された分署員一名も無事歸つて來たが、匪賊も地方に居ては掠奪する何物もなく食物を得る爲めに段々都會地に接近して來る形勢があり殊に今朝襲擊された五道溝の分署など安東から僅か二里ばかりの距離で騎馬なら一時間もかゝらない位だから何時匪賊の侵入襲擊を受けるかも知れず全く油斷が出來ない

海城蓋平縣下に紅槍會匪橫行す
討伐隊との交戰頻々

【大石橋】▲海城縣第八區分局長の報告する處によれば十二日午後四時頃遼陽縣第七區自衛團長直仇東は部下百餘名と海城縣第九區鴨子蛇に於て紅槍會匪と交戰の結果直仇團長以下四名戰死した、遼陽縣警察隊百餘名于芷山討伐軍四百名はこれが應援のため目下遼海兩縣境なる接官堡を鴨子蛇に向けて前進

▲海城縣勝警務局長以下百名の討伐隊は午後三時西荒地に到着した

▲十二日來海城縣鴨子蛇に蟠居中の紅槍會匪賊團は十三日朝來勝警務局長及び顧大隊長の率ゆる警察討伐隊並に接官堡より南下せる遼陽縣警察隊に包圍的討伐を受けたため賊團は鴨子蛇の西北方なる高蛇子方面に向け逃走せるを以て討伐隊は之れを追擊中である勝警務局長は鴨子蛇に於て全員の指揮の任に就いた

▲十二日午前十時頃城内を距る西北方約六邦里趕馬河子に三四十騎より成る匪賊現はれたるを以て蓋平縣警察隊第二中隊長牛得坤の率ゆる討伐隊出動二時間餘に亘り交戰の結果漸く賊を擊退したが賊は逃走に當り五名の死體を遺棄したなほ重傷捕虜二名を得たが討伐隊中馬巡警は賊彈を受け名譽の戰死を遂げなほ討伐隊中三名の負傷者を出した

大刀會匪輯安に入城

【安東】十二日通溝(輯安)對岸の美他より安東署への情報に依れば輯安城内は縣長の威令全く行はれず、依然として混亂狀態に陷つてゐるが十一日夜來から麻線河に潛伏してゐた反軍公安隊六十名は漸次移動し來り十二日早朝を期して城内に侵入した、又一方反軍のために解放された「教養公館」の不良者四十名も城内に在つて頗る橫暴を極めてゐる、ために城内各商店は全部閉鎖し今や各方面への避難民で大混雜を極めてゐると

洮南に匪賊

【洮南】五月十日午後九時頃洮南南站附近居住雜貨商張發周方に各自拳銃を所持せる匪賊七名侵入し家人を脅迫し現大洋九十元を强奪し何れへか逃走した、急報により洮南警務局第三分局に於て嚴重搜査中である

新立屯に匪賊

【洮南】五月九日午前八時頃洮南縣西北方約八十支里新立屯に頭目國好の率ゆる八十餘名の馬賊現はれ同地に於て朝食をなし强奪暴行を恣にし西方に向ひ移動した

四洮鐵路管理局の警戒

【四平街】四洮鐵路管理局にては時下匪賊跋扈の現狀に鑑み一般局內居住者の保護に萬全を期する目的を以て同局周圍及び局內に張られたる電線に去る十日より毎日午後七時より翌日午前六時迄發電所より送電してゐる

殉職二警官悲しき姿で歸溪
十四日盛大に市民葬

【本溪湖】通化方面邦人救出の爲め出動し五月一日二道河口に於て大刀會の大集團と遭遇し惡戰苦闘の結果名譽の戰死を遂げた本溪湖署坂元警部及皆島巡査部長の遺骨は戰友に護られて十二日午後四時奉天着、奉天警察署に一先づ安置されたが本溪湖署より嘉村警部、光永高等係、村田巡査の三名と坂元未亡人及令息、令孃四名は十二日午前十一時發出奉し遺骨を受取り十三日午前十一時〇四分着列車にて遺骨を靜かに持して歸溪全市民は此の勲功に輝ける二勇士を迎へる爲め驛頭を埋めるの未曾有の人出で如何に殉職者に對し感激の念を抱き居るかを如實に現し涙ぐましきまでの場面を畫いた而して時局委員では協議の結果十四日午後一時より小學校庭にて市民葬を以て警官二勇士の英靈を赤誠以て弔意を表した、委員左の如し

▲葬儀委員長大岩銀藏▲庶務係野村、山本、小林(清)小原(以上本溪湖)下田、有村(下馬塘)▲設備係溝上、赤杉、山根、太田、松林▲受付係谷口、野呂、中村、橋立、光永▲弔電係嘉村▲進行係尾崎、中井、西松▲場內整理係在鄉軍人▲花環係田中、小林、小原

開原青年團七年度行事

【開原】開原青年團は十日午後七時地方事務所會議室にて幹事會を開催し今年度の行事を協議し左の通り決定した

五月十五日野遊會、六月十日時の宣傳、同十九日スポンヂ優勝旗爭奪戰試合、七月十七日庭球大會、同月廿三日レコード演奏會、八月七日川狩り、同十四日體育ボール大會、九月八日商店訪問競爭、期日未定遠足、九月廿三四五日スポンヂ優勝旗爭奪試合、十月鞍山見學、十一月三日劍道大會、同廿日兎狩り、一月義士會、期日未定ピンポン大會、二月珠算競爭、三月辯論大會と春季總會

尚此の外毎月の行事として青年カード配布座談會早起會講演及在鄉軍人分會の射擊大會に參加する事

四洮局日語學校
十二日から授業開始

【四平街】最近滿洲國人側に日本語の修得熱勃興しつゝあるに鑑み四洮鐵路管理局にては日本語教育を開始すべく計畫をたて希望者を募集した處局員及び其の子弟より希望者は實に三百名を突破する狀況に幹部に於て協議の結果四洮局日語學校といふ名稱にて去る九日同局に於て盛大なる開校式を擧げ講師は日本人二名滿洲人二名(何れも同局員)にして既に十二日より教育を開始した尚四洮局附屬たる四洮小學校に於ても本年度より日語科を正科とし廣く國語、歷史等も教育し人情風俗等に就いて深く理解せしめる樣努めつゝあり日滿の感情と意志を相互に融和せしむる爲めにも裨益する處頗る多く日滿あらゆる方面より好感を以て迎へられて居る

鎭江山の雪洞

【安東】櫻の開花とゝもに一段と鎭江山飾り一美觀を爲してゐるが雪洞は櫻の落花で人足も少くなつたのでいよ〱十五日の日曜から取去る事となつた

鐵嶺から出動の警官歸る

【鐵嶺】通化在留邦人救助の爲め鐵嶺署より選拔出動を命ぜられた渡邊警部、千葉警部補、岩崎、吉田、平岡、清水の六氏は十三日解散して午後四時半着特急列車で開原、四平街の選拔警官隊十四名と共に鐵嶺に到着した、鐵嶺官民數百名はホームに出迎へ渡邊警部以下を取圍み親爺や婦人の包圍攻擊で驛頭は全く凱旋將軍を迎へるやうな觀があつた警官一行は連日の苦闘を物語るものゝ如く顔は何れも赤銅色に焦げ見違へるやうな姿であつたが元氣頗る旺盛怒濤のやうな萬歲の聲に送られて本署に入つた

通化脫出の邦人等を慰問

【奉天】森島總領事代理は十二日夕刻總領事官邸に興津副領事以下通化避難邦人及び警官隊合計三百餘名を招待して盛大な慰勞宴を張つた

傷病兵還送
遼陽發大連を經て

【遼陽】遼陽衛戍病院に收容中の傷病兵十二名と北方の衛戍病院に收容中の傷病兵三十名合せて四十二名は十三日午後十時七分遼陽驛發列車で大連經由內地に還送された

鞍山興盛廟春祭り
滿洲國人各地より集り

【鞍山】鞍山興盛廟春季大祭は既報の如く十三日午前十一時より祭典を嚴肅に執行されたが來賓として松木警察署長、小野寺地方事務所長、岡本憲兵分遣隊長、佐藤郵便局長、各課長等參列定刻導師の讀經燒香あり、祭典委員長高知九氏の昇黃表の儀行はれ燒香禮拜、祭典委員の燒香、來賓代表の燒香ありて餘興團體代表の禮拜、餘興の奉納、祭典委員長の閉式の辭あり式典終つたが、當日は早朝より例年の如く營口、大石橋、瀋陽、遼陽、奉天等より滿洲國人の參詣者數千名に達し社頭は文字通り立錐の餘地なき人山を築き高足蹺、龍頭蹺、獅子舞、手品其の他數種の餘興ありて夜は活動寫眞を公開し煙火は絕えず打ち揚げられ空前の大盛況を呈した

鐵嶺の優良赤ちやん表彰

【鐵嶺】滿鐵社會係主催の赤ちやん審査會は十三日第一審査を終つたが今十五日午後一時より滿鐵クラブに於て優秀嬰兒のみの再審査を行ひ等級を定めたる後直に表彰式と賞品授與引續き母の會を催す

盛會を極めた鐵嶺の日滿聯合運動會

日滿人聯合して營口の大運動會
融和、親睦、祝賀の渦

【營口】營口に於ける日滿聯合の建國祝賀大運動會は十三日商科高級中學校體操場で開かれた、前日からの强風にもかゝはらず折からの快晴に惠まれ和氣靄々裡に榮へある日滿人無慮四萬人を算した當日はさしもの大運動場も觀衆內外に溢れ整理委員に多少の困難を與へた感があり又其稀空前の盛大さを三千萬民衆の前に力强く與へたであらう、午前九時先づ群立爆竹に開會は宣せられ同時に定刻前より

貴賓席 に着席せる楊、荒川兩會長はさすがに歡びをつゝみ得ざるなごやかな笑をたゝえ副會長金、門間兩氏に國旗の授與式を行つた、過ぐる事半刻國旗は商業學校生徒の樂隊演奏に希望の前途を祝福するものゝ如く莊嚴裡に竿頭高く揭揚せられ參觀者等しく歡呼を以て迎へた、次で兩國々歌は各學校兒童生徒に依て合唱せられ參集者又も期せずして拍手萬雷の如く湧き起り十時廿分楊會長より營口における日滿兩國民は今日此處に聯合運動會を開催す一は此の期に於て兩國建設を祝賀し一は此の期に滿洲國民が親善を益々深ふせん事を希望す參加團體は此の趣意を體し潑剌たる意氣を示さん事を希望す

とのべ愈々豫定のプロにうつた滿洲側小學校生といひ日本小學校生と云ひ共に催しな

賑はし しダンス、リレーを問はず共に祝賀新興にふさはしいものであつた閉會に際し荒川氏は略楊氏と同樣の趣意の辭を以て大盛會裡に終了した

開原守備隊の內部檢査

【開原】開原守備隊は十、十一の兩日にわたり田所大隊長來開の上嚴密なる內部檢査を行つた

酌婦のドロン

【奉天】奉天柳町一山樓抱酌婦金彌事太田ハツ子(二三)は兩三日前登樓した橋立町十三中島武次郎(二七)と共に外出した儘逃走したので樓主より搜査手配に依り十二日安東署の手に發見され十三日午前六時二十分着列車で連れ戻され金彌は再び苦界の勤めをなす事となつた

戀の逃避者夫々捕はる

【奉天】合緣奇緣の文句通り妻まである分別盛りの男と娘のやうな女との戀の戲れが何時しか眞劍となり戀愛の淨土を築かんと內地へ道行きを志したが遂に警察の厄介となつた春にふさはしい戀愛物語―琴平町阿部某(三七)假名は同町カフエー銀鈴に女給をしてゐたまつ枝(二四)といふ阿部某の妻女の妹さまつ枝が姉を賴つて來奉中に懇意な間柄となり昨年周圍がうるさいまゝにまつ枝を一先づ歸國させて落着したが昨年十一月頃再び來奉したまつ枝は〇〇座に勤務することゝなり二人の間は再び燃え上つた、最近に至り遂に二人の仲は妻女の知るところとなり家庭爭議を卷き起す始末、阿部はまつ枝を歸國させると九日午後十時五十五分の列車で手をとつて道行きを決行した、躍起となつた妻女は直に行方不明の夫の搜査願を警察に提出したので女は釜山で男は安東で手配に依り取押へられたがこの三角關係の家庭爭議は今警察の手に握られて解決を待つてゐる

安東競馬
廿一日から

【安東】安東競馬は愈々來る二十一日から六日間(二十一日より三日間、二十五日より三日間)開催する事となつたが昨年も國境競馬として非常に興味を唆り殊に福券一圓で八百圓を!と云ふので滿鐵沿線は勿論、京城、平壤或ひは遠く南鮮方面からもドシ〱と押しかけ人氣を煽つたが本年の春季競馬からは出場馬數も增加し大連、奉天方面からの新馬も參加する筈で、從來の福券一等八百圓を本年から千圓に引上げたのでファンの胸は今から高鳴つてゐる有樣である、尚ほ之人筋も毎日々々の調教振を見て夫々研究を重ね時季到來さへ腕を撫でゝゐるから本季のレースこそ見物であるべくその好況が豫想されてゐる

坂田上等兵遺骨

【安東】四月廿四日未明湯山城分遣隊步哨勤務中名譽の戰死をとげた故坂田上等兵の遺骨は安東守備隊の赤羽上等兵に捧持され十四日午前六時四十五分發で一先づ大連に赴き船便で故鄉長野縣小縣郡丸子町に歸還する事となつた

本間俊平氏講演

【鐵嶺】修養講演の大家として有名な本間俊平氏は來る十八日來鐵し同夜七時より滿鐵クラブに於て講演の筈

沿線往來

▲大連大正小學校團 十三日熊岳城へ
▲公主嶺小學校團 同來奉
▲高岡市實業視察團 同大連へ
▲佐世保中學生 同安東へ
▲大阪市南區學校長團 同來奉

海城

海城の花祭り

十三日は釋尊の御誕生日に相當するので海城寺に於ては御堂の內外を美々しく飾りつけ花祭を催した、朝來風强く砂塵吹き荒む中を老幼男女の御參詣多く正午頃は小學校及幼稚園の兒童で賑はひ甘茶やお菓子の接待があつた、午後一時より餘興となり塚本公醫夫人の指導で成淸、淸水兩孃の琴と三味線の合奏に初まり丸正のお孃さん方はお得意のお座敷踊で一寸氣分を變へ他山驛のの崎光若右の浪花節乃木將軍と辻占賣は米若のそれに似て面白く其他田邊夫人の新作物のお琴などあつて參詣人を喜ばせ盛會裡に四時散會した

憲兵分遣隊長更迭

昨年事變以來海城憲兵分遣隊は簗谷隊長を首め奉天其他へ出張中であつたが簗谷氏は先般退職民政部へ入り、後任として曹長前田正氏が十二日着任した

多田郵便局長榮轉

海城郵便局長多田累氏は今回開原郵便局長へ榮轉近く赴任の筈

鞍山

小甸子部落で匪賊と交戰

十二日午後二時ころ匪賊頭目海寬三勝の率ゆる部下一團は海城縣小甸子部落に於て劉二堡の自警團及び王總連長、王旭東の率ゆる騎馬隊約三十騎、徒步隊約百名と午後九時まで交戰し、王總連長及部下二名は戰死し負傷兵五名を出したこの戰鬪に於て賊も多大の損害を蒙つたが暗に紛れて西方に逃走した、劉二堡北區自衛團及區長等は目下賊跡搜査中なるも不明であると

鞍山雜信

鞍山社員俱樂部幹事會は十八日午後四時三十分より俱樂部に於て開催すると

◇

鞍山警察署より通化方面の邦人保護の爲め出動中の五警官は十三日午後二時五十三分着急行列車にて無事歸鞍した

鞍山の競馬
興盛廟の大祭と併せて大いに賑ふ

【鞍山】鞍山乘馬會主催の春季競馬大會は既報の如く十三日午前十時より鐵道西明治通り競馬場に於て第一日は開催された、恰度當日は興盛廟大祭のことゝて南は營口大石橋、海城より北は遼陽、奉天撫順等より多數來鞍し定刻には無慮數千名の人山を築き、有信飯店農商務聯合會、柳町の一樂等より寄贈された優勝旗は若葉薫る空高く飜り、出場馬百數十頭は休馬場に勢揃ひをなし我れ劣らじと意氣込んで居る、出馬係の合圖により第一レース丁組六頭はコースに雄姿を現はし佐藤審判長の合圖によつてスタートは切られた、騎手も馬も最大のスピードを出し決勝を競へば勝馬投票の觀衆は男も女も熱狂し第一レースは「愛宕」が一着の榮冠を得た、この頃から觀衆は益々増し快晴に惠まれ午後二時には一萬數千人に達し次から次へとレースは進みいよ〱熱狂したが第十三レースの馬主伊藤益太氏の「滿月」は斷然リードし着差三十馬身を以て第一着の榮冠を得、また第十七レースに於て馬主八畝田龜吉氏の「天祐」はこれまた斷然第一位を占め第十八レースは四分の三コースを以て左の福券付レースを行つたが福券一等の幸運は北二條町能登谷サカ氏に、二等は鐵道西北一番町平田アサノ氏、三等は北二條町二〇九ノ一一中尾才兵衛氏に當籤し大盛況裡に午後五時十分第一日を終了した、因に當日の五十錢券最高配當は四圓三十錢にて總賣高は六千七十一圓五十錢である【寫眞は賑つた春競馬】

……安隊と交戰の結果賊は三名の戰死者を出し南方に向け逃走した

遼陽

森氏令弟死去

公主嶺地方事務所長森泰樹氏は令弟死去の報に十二日午前九時三十五分發の急行で郷里に急行した

電燈に扁額

遼陽電燈公司が創業二十周年記念として城内貧民學校の維持費に金一千圓を寄附せるに同校から數日前「樂善好施」と書いた縱三尺横六尺の扁額を公司に贈呈した

深尾氏轉地

遼陽城内特産商深尾準滋氏は滿鐵醫院に入院中のところ餘程輕快に赴いたので十三日急行で夫人附添ひ朝鮮經由で滋賀縣八幡に轉地療養のため出發した

小學校遠足

遼陽小學校では十四日午前九時から全校生徒の太子河畔遠足を實施した

……新分所持證明書を發給するも將來各公署の執照を受けしむる事 四、警察官の腕章制定に關しては縣長及指導員に於て協議の上適宜作成の法を採ること 五、地方公款不足せるを以つて商務會預の市政貸款を回收し速に準備金に充當する事

五警官凱旋

四月二十七日通化方面險惡の風雲に滿つるや突如邦人救出の重任を負ひ一路同方面に向つた大石橋警察勤務森田木田井上白鳥中川の五巡査は奉天に於て警察中隊長田警部の指揮の下に通化に到り萬難を排して邦人救出に努めた、通化西方約二里半二道河口に於ては約五千と稱へらるゝ敵匪と交戰警友坂元警部補吉島巡査の殉職に悲憤の涙を呑み五月四日迄三日三晩山上の壕内生活ありとあらゆる辛酸を舐め九日午前七時啄木營子に於て完全に邦人を救出し使命を果たし十三日歸着した原田署長は午後四時五分着列車にて眞黒に陽に燒けた五名を迎へるや感に滿ち慰撫激勵午後五時より署員一同と振武館に會し一行の無事凱旋を祝つた

洮南

憲兵隊昇格

從來洮南憲兵分遣隊は少員數を以て治安維持に當つてゐたが當局に於ては時局柄増員の必要を認め今般愈々分隊に昇格し人員數名を増加する事に決し下士以下數名は既に去る十日來洮し治安維持の任に當つてゐる、なほ分隊長は前東京憲兵分隊長前田直美大尉に決し近日中に來洮する筈

不穩落書發見

聯盟調査員の來洮期を控へ當地日滿兩軍警は日夜嚴重警戒して居るが十日洮南城内守備隊兵舍萬福鱗公館前支那家屋の壁に「打倒小日本才好」等白墨にて大書しあるを通行中の邦人發見し洮南憲兵分遣隊に届出た、同分遣隊にては直に現場調査の上守備隊と協議し内偵中である

本間氏講演

社會思想善導のため基督教本山より派遣せられた本間俊平氏は各地巡回講演中のところ十二日午後零時五十一分着第一一列車で來石午後七時より滿鐵社員俱樂部で一般のために精神講話を爲し同夜驛前梅洲家旅館に投宿し十三日午前十時より同俱樂部で婦人聯合會のため再び講演を爲し午後零時五十六分發第一一列車にて鞍山に向つた

岩木警部補

通化邦人救出のため名譽の戰死を遂げたる警察官葬儀列席のため署長代理として岩木警部補十四日午前三時發第一三列車にて出發した

反田警部補

大石橋警察に於ては鹽塚警部補の後任として本日開原警察署より反田警部補着任した

開原

秋山憲兵伍長榮轉

開原憲兵分遣隊伍長秋山雅助氏は今回奉天本部附を命ぜられ十三日午前十一時四十六分發列車にて離開赴任した、後任には熊本憲兵隊より伍長齋藤勝馬氏が十一日着任した

匪首中華蠢動

昨秋昌圖東方沙岡子炭坑に立籠り昌圖開原附近を横行した賊首中華は本年一月錦州方面に逃走したのであつたが一兩日前部下數十名を引連れ再び沙岡子炭坑に舞ひ戾り各地の賊徒と連絡を採りつゝあり……

本溪湖

……長赴奉……

……鐵俱樂部に開催した當夜の演題は「樺太民族は何を思ふか」と題し樺太土人の生活習慣と風習及言語と傳說、滿蒙民族と樺太民族の關係、東洋民族の古代中世と現代について日本人以上の巧な内地語により熱辯に多數の聽衆に感動を與へた

陸大生來公

既報戰史旅行陸軍大學生六十二名は瀨川中將引率の下に十一日來公丸福旅館その他に分宿十三日北行した

五家子入りの鮮農出發

第五回五家子入りの鮮農五十餘名は十二日午前七時警官二十名の保護の下に公主嶺を出發した

匪賊の動靜

伊通縣東大溝の北方三十支里の部……十日正午各自長銃及拳銃を攜……十餘名の騎馬賊移動し來……

安東

荒木軍曹離安

安東憲兵分隊に在る事約四年間、事變後は滿洲街方面を擔當して日滿兩官民の信望篤かつた荒木軍曹は十日附を以て大連分隊勤務を命ぜられ十四日離安、赴任することゝなつたが同氏の遲安は各方面に惜まれてゐる

朝日校修學旅行

朝日小學校六年生八十二名は十一日午後五時廿五分發で京城、仁川方面へ修學旅行を催し、五年生七十名は十六日午後八時四十五分發で奉天方面へ旅行する事となつた

兩女史送別會

大和小學校同窓會では今回勇退した岡田、三浦兩女史の送別會を十五日午後二時から公會堂で催すと

大石橋

蓋平自治執行委員會

蓋平縣自治執行委員會では昨日午前十時より縣公署に各委員を招集し左記事項の決議を爲した……

旅順

陸戰隊の演習

在滿第十六驅逐隊では十三日午後日沒と共に陸戰隊約百五十名を編成市内を中心に夜間發火演習を決行水交社附近には土嚢鐵條網を設け白兵戰を演じその壯烈言語に絕した

御めでた

▲高千穗町三ノ三　松下重行氏長男和生君二十日出生
▲乃木町三ノ二二　大坪要三郎氏長男功君三日出生

●●●●

傳染病發生　桃園町八川島典（八）は十三日擬似猩紅熱と診斷さる

兎耳鷲目

旅順市では昨秋滿洲或は上海事變の爲め出動した陸海軍々人家族の爲め謹て慰安の計畫中であつたが愈々來る十五日午後一時から同四時迄右家族を昭和園に招じレビュー映畫等可成家族的たるものを上場し慰安會を開催する事となつた

◇

滿電旅順待合所では十五日から營業を開始する戰跡遊覽自動車の試乘運轉を行ひ各方面の關係者數十名を招待した

◇

旅順民政署庶務河内弘邦氏は本月七日郷里に於て八幡小牆氏夫妻の媒妁に依り林麗作氏長女もと子孃と華燭の式典を舉げ歸旅したが十九日旅順偕行社に於て披露宴を爲す

◇

退職を惜しまれた前軍人後援會旅順支部幹事伊澤信一氏は十二日午後一時三十分旅順驛發列車にて夫人令孃同伴出發せるが驛頭には日内務局長を始め在旅文武官多數見送りを爲した因に氏の……市觀音町西二丁目四六六

SAN[TE]

……の革命的治療藥

……學博士 藤澤好雄氏 創見
臨床大家六十餘博士 實驗推奬

サンテ

結核は不治に非ず、治すに道あり

「結核は不治なり」とは云ひ古されたる言葉であるが、醫學の進歩しない時代のその觀念が今に於てなほ相當有力に人々の腦裡に存して、近代的教育を受けた若い人々の間に於てさへ、漠然と然し可なり根強く印象付けられてゐる事は實に慨はしい事である。

この不可解なる理由なき觀念が、どれほど結核治療上の障害になつてゐるか知れない。結核病卽ち死の宣告であるかの如き誤まれる觀念に支配されて、治るべき肺病を惜しげもなく諦めて自暴自棄に陷る人の如何に多き事か――

結核は斷じて不治では無い。寧ろ或る條件の下に於て最も治し易き病である。

その條件とは何か？

卽ち「殺菌と排毒」これである。

然るに、世に行はれてゐる結核藥は多くはこの根本的條件を忘れて仕舞つてゐる。專ら結核毒素の中毒作用として現はれ來る發熱、盜汗、血痰、咳嗽、食思不振、頭痛、心悸亢進、下痢等の表面的症狀に對してのみ之を沈靜せんと力を注いでゐるに過ぎない樣に思はれる。

これでは、百年河淸を待つが如く、たとへ一時的に症候が消退しても、病菌に對する根本的處置をおろそかにしてゐる限り何時まで待つても病氣そのもの丶治癒は望まれない道理で、その治療は「邪道を走れる結核治療」と云はねばならないのである。

いろ〳〵藥を服んでも少しも効果が見にぬといふ事をよく聞くが、これは明かに治療が邪道に踏み込んでゐる證據で、さうなると益益焦つて思慮分別を失ひ、彼か是かと迷ひ拔いて一層病勢を惡化させる例が甚だ多い樣であるのは御氣の毒千萬である。

自分の服む藥に正しい認識を持たず、結核の藥と名が付けば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする人は、自分自ら治る希望を捨てた人と云はれても致方あるまい。

「サンテ」は飽くまで「殺菌と排毒」の學理に立脚して結核治療の正道をまつしぐらに直進する革命兒である。

ぐづ〳〵廻り道などをせず、單的に病竈の中心に飛び込み之を粉碎せしめねば止まぬ、赤く燃ゐたる手榴彈である。

發賣して日は淺いが、山間の古沼の如く沈滯せる結核治療界に潑溂たる生氣を與へ回春の光明を投げたる功は、蓋し沒すべからざるものである。

現に臨床大家六十餘博士から實驗推奬を蒙つてゐるが、短日月に斯くも多數の權威者から推奬を受けた事は結核藥の歷史に未だ曾て無い事である。目下各官公私立大病院や公私立結核療養所に於て盛んに處方せられて居り一度使用せられた方は皆直ちにその偉効を認められて推奬せらるる有樣であるから、今後續々御推奬者の增加を見る事は明かである。

東京帝大、入澤達吉博士の主宰せらるる實地醫家の機關紙「實驗醫報」四月號誌上にも、內野淺次郎博士に依つて「サンテ」の効驗が報告せられ「超越せる卓效を有する理想的新藥にして從來の他藥の追隨し得ざるも……」と記載せられたる如き、如何に「サンテ」が……に於て歡迎せられつゝあるかを窺知するに足るのである。

自宅療養の患者諸氏より「サンテ」の卓効を賞讃して申越される御手紙も夥しい數に上つてゐるが、最初一號（有熱用）を服み始められた方が、やがて二號（無熱用）を服まれる樣になり、その內に恢復期に入つて今度は三號（虛弱質用）を注文して來られる樣になつて來るので、ズン〳〵全快に向はれる樣子が目に見ゐる樣で實に喜ばしい次第である。

「サンテ」の効果の手近な證明は、實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

――食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
――發熱去り、平溫となる
――ねあせ止み、夜間安眠する事を得
――咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
――胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
――ラッセル消失し、下痢頓挫す
――肩こり、全身異和感去り、元氣振起す

斯くの如き著名な症狀の減退が、「サンテ」の服用後、早きは四五日おそくも一週間目頃からメキ〳〵と現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、不快なる症狀の日增しに消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、步一步全快への堅實な步みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられてゐる。

單なる症狀の鎭靜劑であつてもこの樣に速かに安全に奏效を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、卽ち「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ樣作用して忽ち殺菌排毒の効果を現はす獨特の藥劑なればこそであつて、斯くてこそ始めて本當の治癒がそこに期待出來得るのである。

なほ、本劑か、服用極めて容易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれどもその必要なし）唯一劑のみにて十分各種の効果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せらるる所である。

「サンテ」には三種の別ありて各病狀に適合す

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管枝加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】
「サンテ」一號＝有熱期に適す
「サンテ」二號＝無熱期に適す
「サンテ」三號＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

【藥價】
「サンテ」一號　一二〇錠 二圓八十錢　三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」二號　一二〇錠 二圓八十錢　三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」三號　一二〇錠 二圓五十錢　三六〇錠 七圓二十錢

◉別に醫家調劑用粉末あり（容量二五〇瓦、五〇〇瓦）

御注文方法

◉御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◉御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用が御便利、前金の御注文には送料を要せず
◉代金引替便ならば御注文と共に送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社學術部
振替貯金大阪三五七番

弊社が明治二十三年賦々の聲を揚げて以來既に四十四年、此間終始一貫治に技術に對する眞摯なる研究的態度を持し、堅實なる發展を遂げ各位の信任を辱うしつゝあるは世に認めらるゝ所であります。茲に「サンテ」を發賣するに當りて社會衞生上責任の益々重大なるに鑑み、一層慎重なる注意の下に之が職責を果すべく充分の用意ある事を附言致します。

◉先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）逡呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第逡呈す

「サンテ」を實驗推奬せらるる臨床諸大家【イロハ順】

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山觸島氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 原田光男氏
醫學博士 濱田正枝氏
醫學博士 牛田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 西浦清一氏
醫學博士 豐田正逵氏
醫學博士 富島嘉門氏
醫學博士 大國二郎氏
醫學博士 大森斌彥氏
醫學博士 岡本達三郎氏
醫學博士 小野彥吉氏
醫學博士 渡邊貞惠氏
醫學博士 川上理作氏
醫學博士 川上勝恭氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 米山義績氏
醫學博士 高橋三千彥氏
醫學博士 高橋四郎氏
醫學博士 高山四朗氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 玉田壽次氏
醫學博士 竹島光蔵氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 內藤榮太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 內田謙益氏
醫學博士 內野淺次郎氏
醫學博士 稚苗福次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 野々上好太郎氏
醫學博士 野口健次氏
醫學博士 野木愛三氏
醫學博士 黑岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香任氏
醫學博士 增田貞一氏
醫學博士 藤田武夫氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 江副慶太郎氏
醫學博士 齋名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 櫻木勇吉氏
醫學博士 木村良恭氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寬氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀潔氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂悍氏
醫學博士 杉田貞之氏

ST 54

本社主催 大連實滿野球戰 試合日程決定
六月十一日(土曜日)午後から 五回戰の火蓋を切る

日本球界の一大爭霸戰として毎年全日本野球ファンより待望されてゐる本社主催の大連實業團對大連滿洲倶樂部定期野球戰は昨昭和六年度より從來の三回戰を廢止し五回戰を以て雌雄を爭霸することゝなり滿洲野球史上一大エポックを劃したが本年度もシーズン來ると共に兩軍首腦部種々協議の結果十四日正午より本社樓上會議室に於て滿倶側より辻田主將、福山マネイヂャー、小林後援會幹事、實業團側より宮崎監督、安藤選手（高橋主將病氣缺席）本社側より佐賀營業局長、事業部、運動部社員集合の上第一回協議會を開催の結果試合日程を左の如く決定した

第一回戰	六月十一日(土曜日)	午後四時二十分	實業球場
第二回戰	六月十二日(日曜日)	午後二時三十分	滿倶球場
第三回戰	六月十八日(土曜日)	午後四時二十分	實業球場
第四回戰	六月十九日(日曜日)	午後二時三十分	滿倶球場
第五回戰	六月二十日(月曜日)	午後四時　十分	實業球場

尚メンバー交換は來る五月二十九日正午を期して本社樓上に於て行ふことゝなつた

松花江船員同盟の 頻々たる陰謀事件
こんどは運送船衝突

【ハルビン特電十四日發】學良及び南方の手は北滿の到るところに延ばされてゐるが、殊に國民黨員が中心となつてゐた松花江船員同盟中には不良分子を多數發してゐるので警戒中のところ最近數回に亘つて船舶の燒き打陰謀が發覺したので滿洲國官憲が嚴重警戒してゐる、燒き打の目的は皇軍の松花江下流方面出動を阻止せんとするものであるが十三日朝吉林軍の出動に際しても突然運送船の衝突を起し一隻は浸水し輸送不可能に陷つた、衝突の原因については目下調査中であるが衝突船の舵手が船員同盟の中心人物で國民黨員であるため一層疑惑を増してゐる

わが長谷部部隊 兵匪と交戰
敦化附近の匪賊討伐

十四日午前八時二十分長春發臨時軍用列車にて敦化に向け出動した驛頭には來長中の陸軍大學校長を始め小山憲兵中佐、板野憲兵中佐その他官民多數の盛んな見送りがあつた、因に同隊は多門中將麾下で鶴見枝隊と共に長谷部少將の指揮を受け敦化を中心に猛威を揮つてゐる王德林軍一味、大刀會匪の討伐を決行する筈【長春電話】

谷部少將は榮城田〇隊に出動を命じ同〇隊は十三日午前九時三十分敦化を出發敦化西方八キロの地點に差しかゝつた際突如孤山子方面において兵匪約八十名、騎馬兵匪約三十名の射撃を受けたのでわが軍は直に野砲、山砲、迫撃砲を以て應戰し兵匪を西南に潰走せしめ同日午後零時三十分無事敦化に歸つたが敵匪は相當大損害あるらしく我軍には一名の損害もなかつた【長春電話】

十二日午前四時四十分吉敦線秋梨溝大平嶺間の木橋を破壞し附近部落を掠奪した頭目不明の匪賊はわが監視兵のため發見されその射撃を受けて孤山子方面に退却したがこれが掃蕩のため敦化警備司令長

石黑枝隊出動

長春において待機中であつた第〇隊石黑枝隊は森尻大佐統率の下に

海林駐屯の 我軍苦戰

【ハルビン特電十四日發】海林のわが駐屯軍に對し約一千名の兵匪は十日夜襲すべく近づいて來たのでこれを激撃し戰鬪は十一日朝に及びわが軍一時苦戰に陷つたが牡丹江駐屯のわが歩兵及び砲兵が救援に來たので敵は死體三百を遺棄して東方に潰走した、わが損害は戰死二名、負傷三名である

實滿兩軍が 練習開始

上圖は滿倶軍　下圖は實業軍

歡呼に送られ 勇躍し北上
第十四師團後續部隊

滿洲守備の重任に就くべく上海より來滿、十三日朝大連に上陸した十四師團の勇士は十三日午後七時發の臨時列車で北上の途に就いたが、驛頭には學生、軍始め各團體一般市民等數千の群衆が充ちみちて萬歳の聲、太鼓の音、大旗小旗の波等に心から我等の勇士の行をさかんにした、この熱烈なる見送りに十四師團の勇士は何れも一そう顔色を緊張させて、萬歳に和し手を打ち振つてゐたが發車直前輸送指揮官〇隊長宮村俊雄大佐は北上部隊を代表して簡單なる挨拶をなし、大和男子の覺悟を述べ、われんばかりの萬歳に送られて將士一同勇躍、滿洲守備の途に上つた

『滿洲に來たやうだ』と、素晴らしい人氣
きのふ中の入場者三萬に上る 開いた大滿洲國展

【東京特電十四日發】帝都の人氣を呼んだわが社主催の大滿洲國展は十四日午前九時より賑はしく蓋をあけた、會場白木屋前には定刻前盛裝の令孃、軍人、學生、老人子供が若葉＝和た幸ひに黒山の如く押しかけショーウインドウの建國祝賀大盛況、高脚踊りの

行列 に先づ滿洲氣分を味はつた、日滿大國旗交叉の入口が開かれるとドッと雪崩れ込み十數臺所のエレベーターは皆滿員、五階々上北陵の大門をくゞると會衆は「ヤア滿洲に來たようだ!」と大喜び、建國促進の旗やビラの記念物に目を見張り滿洲新貨幣に珍重がり銀百圓が金で殘らかなあ等と計算をする熱心者もあり更に陸軍省出品今村少佐の滿洲風景水彩畫十數點、武藤大將、關東軍首腦部の肖像畫等にひどく感心する馬賊、兵匪よりの分捕武器銃、小銃等にしげ〳〵と見入られる、その隣り

本社 從軍記者蒐集の服類、寫眞等に吸ひ寄せられる、蒙古人の風俗、鄭孝胥氏、閻奉天市長、徐實業廳長等揮毫の書畫が珍しい、この他大阪商船、航空會社、滿蒙毛織、南滿工業等の出品も賑はしく人目を惹いてゐる、午前入場者無慮五千、土曜日のこととて午後は二萬に達し警官は交通整理に忙殺されてゐる、何といつても内地の滿洲熱は盛んなものである

同志社大學の 西尾理事來滿

同志社大學教授理事西尾幸太郎氏は日本組合基督教會理事、傳道部主任として滿洲各地の皇軍並に日滿兩國人のキリスト教會を慰問し

……がありましたがこの新國家建設の時に當り日滿宗教家が互に手を握りあふ事は非常に有意義なことゝ考へられます、宗教に依る日滿親善、これも國民として、宗教家としての任務でせう、上海事變に際して上海の外人宣教師は支那に同情し、日本の軍事行動を曲解した報告を本國に送つてゐるさうですが、日本にゐる外人宣教師はよく事變の眞相を知つて、正確なる報告を發してゐます、私も今回の旅行を終へて歸國の上は外人宣教師に滿洲の實情をよく傳へ、日本の誠意を傳へようと考へてゐます【寫眞は西尾氏】

死體を解剖
リンディ第二世事件

【ホープウエル十二日發】リンディ二世の死體解剖は當地の醫師の手で行はれたが頭蓋骨に骨折あるを發見した、これより見てリンディ二世は兇器を以て頭部を毆打されたか又は疾走中の自動車から投出されたものと信ずる

金槌で毆殺

【トレント十二日發】リンディ大佐愛兒アウガスタスの死體檢視の結果公表された所に依れば、子供の頭部に二個の酷傷あり右は何者かゞ子供をしつかり抱き締めて居て金槌で毆りつけ卽死せしめたものであると

貴金屬を狙つて 墓をあばく
宏濟善堂の墓地で

十三日午前零時半頃沙河口西山會大山屯宏濟善堂墓地で墳墓を發掘してゐる二名の支那人ある旨同舍事務所書記梁廣泰(三七)が發見一名を逮捕して沙河口署に突出した、取調の結果右犯人は市內橋立町露天市場二區十劉景林(五〇)で沙河口署では引續き取調べると共に共犯者を搜査中、墓は二年前死んだ張宗昌部下軍長第三夫人を埋葬してあるところで右墓を發掘して貴金屬を竊出せんとしたものである

軍隊慰問大相撲 今年奧地で行ふ
日本相撲協會の山科理事 きのふ來連語る

大日本相撲協會理事山科長之輔氏は錦綱田、十四日朝來連し二泊の上十六日出帆のばいかる丸で歸京の豫定であるが氏は本社を訪問して語る

先般千賀浦理事が來たのは主として滿洲博覽會開催に就ての準備打合せのためであつたが今度私が來たのは地方巡業の挨拶打合せのためです、相撲協會も例の新興力士團、革新力士團等の

脱退で 一時悲境に陷つたがその後建直して武藏山、玉錦、清水川、沖ツ海、能代潟等の強剛を中心に新番附を編成し又巨漢出羽ケ嶽の復歸で新興氣を添へた、今度の巡業は夏場所後釜山を振り出しに朝鮮各地を經て滿洲に入り長春、奉天等の奧地を打揚げた後御當地で厄介になる豫定ですが多分七月下旬頃には御伺ひ出來るでせう、奧地では軍隊の慰問相撲を行ふプランで私は歸京後直に理事會を開いてその協議をなすつもりです、協會力士の中でも武藏、玉、沖ツ、清水などの最近の成績を見ると力量殆ど

相伯仲 し殊に大力士の風格を備へる沖ツはめき〳〵強くなつて大關武藏も玉も油斷出來ません、又幕下以下にも有望力士がドン〳〵擡頭し中にも今度十兩に昇進した小野ケ嶽(二十山部屋)は身長六尺五寸大砲の再來といはれ朝潮や出羽などゝは型の違つた強剛力士として認められ近き未來の横綱と期待されて居ます、今度の巡業では東西兩力士軍が全部打揃つて來るのですから本場所と何等變りなく且非常な眞劍味を帶びて居ます、新進有望力士の擡頭が著しいだけに假令脱退力士の歸參なくとも協會の恢復は茲一兩年後の事だらうと思ひます、何うか何分よろしく

內地放送を 奉天中繼
全滿に放送

【東京十三日發】今回放送局は夜間の內地演奏を奉天に送り滿洲一帶に放送する事となり右は千葉縣檢見川送信所の設備を利用し滿洲へ短波長にて送り滿洲で放送波長になすもので近日中實施の筈である

これは意外! 熱血の日本女馬賊

花をあざむく絶世の美人が驚くべし滿洲の大馬賊の頭目!世にも不可思議なる實話をキング六月號に掲載!到る處で話題の中心です!!

戰死者の遺骨

滿洲事變のため湯山嫩及び九大子において戰死せる坂田信夫上等兵外一名の遺骨は十五日午後四時五十分大連驛着十六日午前十時出帆のばいかる丸にて內地に送還される、なほ戰死者遺骨は送還當日は乘船前午前八時三十分より埠頭において市役所主催慰靈祭を執行する

チヤプリン一行 燕號で東上
日本料理を味つて

【神戸十四日發】上陸後菊水で鼈川嬢等の斡旋により日本料理に舌鼓を打つたチヤプリン一行は、群がるファンに押潰されさうな中を自動車で漸く神戸驛に辿り着き驛長室に入り小憩の上零時二十五分發「ツバメ號」の最後部展望車に乘り込んで市內見物もそこそこに神戸を辭して終つた

床次鐵相招待

【東京十四日發】チヤプリンを迎へる國際觀光局では、平井事務官を沼津まで出迎へさせ佐原觀光局長からの歡迎のメッセージをチヤプリンに手交し床次鐵相が我國固有の雅樂に招待することを傳へて出席を求めた

リーグ聲明書を早大に手交

【東京十三日發】リーグの池田書記は評議會の贊同を得た理事會可決の聲明書を持ち十三日正午早大恩賜館に野球部永井幹事を訪問、聲明書並に正式通知を表明した添狀を手交したが早大としては今明日中體育幹事會を開き考慮の餘地なしとの回答を十四日中に送達することとなり兩者の關係は全く暗礁に乘上げた

稻門倶樂部の 調停斡旋困難

【東京十三日發】早大野球部リーグ復歸を斡旋のため稻門倶樂部より選ばれた委員等十二名は十二日非公式に早大に永井幹事を訪れたが學校當局の意見は再考の餘地なき樣に思はれる、よつて今後如何なる態度を執るかにつき十三日午前再び會議を開き問題が此處迄至つたからには倶樂部は中間に立つて情勢を好轉せしむることは相當難事となし或は調停から手を引くのではないかと見らる

中間驛へ 慰安車
十七日に出發

例年の通り滿鐵社會施設係では沿線中間驛の平素娛樂機關と機會にめぐまれると少き鐵道現業員並にその家族慰問のため十七日朝大連驛發で娛樂車、販賣車、食堂車よりなる本年春季慰安車を約四十日間に亘り沿線各地に派遣する

本年は晝間娛樂車內において兒童のため童話會を催す外食堂車ではうどん、そば、コーヒー、紅茶の簡單なサービスをなすことゝし特に時節柄滿洲國の建國精神の普及と民族協和運動の一助として滿洲國人宣傳員二名を乘込ましめて到る所で民衆に通俗的に宣傳し野外活動寫眞と相俟つてこれが徹底を期する筈であるがその他娛樂車のラヂオ、蓄音機、圍碁、將棋、映畫や販賣車の日用、食料品の消費組合の出張販賣等は從來通りである

少年の無錢飲食
蓋平から家出し來連

十三日午後三時ごろ市內寺內通うどん屋長門屋で四十五錢の無錢飲食をして大連署に突き出された少年があつた

同人は蓋平驛前で農園經營をしてゐる添原俊三の長男俊雄(一六)といひ去る九日兩親に無斷で家出して大石橋にゆき三日間ほど諸所を徘徊して所持金一圓五十錢を使ひ果し、十三日午前一時の貨物列車に薩摩守をきめ込んで、甘々と來連、市內をあちこちとうろついたが空腹で歩けなくなつたので東公園町英安貿易商會の前に立てかけてあつた自轉車を竊んで走り廻り、午後三時ごろ寺內通の飲食店長門屋に飛び込んで四十五錢の無錢飲食をしたものである、大連署では直ちに留置し目下親許に照會中である

社員招聘

四庫全書保管 委員會を設置

奉天崇宮內の文溯閣に藏されてゐる四庫全書は滿洲國の最高文化中心として最も貴重視されてゐるが奉天省教育廳はこれが管理に遺漏なきを期するため四庫全書保管委員會を組織することゝし目下成立準備中である【奉天電話】

和田助教授

元第二東京市立中學校教諭和田晋氏は今回和田勤助教授の後任として南滿工專助教授に新任十四日入港のばいかる丸で着任した、同氏は和田勤助教授の令弟で東京高師出身の劍道五段柔道三段の猛者である

オリムピック 漕艇代表推薦

【東京十四日發】十五日尾久コースで行はれるはずであつたオリムピック漕艇三回チヤレンヂレースはフオアの外語、エイトの商大共に棄權したので漕艇オリムピック委員會で推薦の上正式に早大エイト、慶應フオアをオリムピック代表に決定するはずである

高級車リンコルン輸入

今回市內常盤橋のフオード販賣店に世界最高級の自動車といはるゝリンコルンが入荷したが右はヘンリーフオードの所謂科學的理想の産物でこれまで餘りに高價なるため東洋には僅かに數臺しか輸入されて居なかつた、無論滿洲では初めての入荷であり價格はいづれも一萬三千圓以上の優秀品であると

本社見學

十三日午前、藤井住近氏引率四平街小學校五年生八十名

安樂椅子

世界各國民の內でもロシア人程キッスの好きな國民は珍しい、旅行に行く時にもキッス、久し振りで會つてもキッス、朝亭主が出勤する時もキッス、歸つて來た時もキッスする、殊に復活祭には男女を問はず訪問客には必ず三回づゝ「キリストは蘇へり給へり」と言つてはキッスする。所でこのキッス黨に大鐵槌が降つた事件がある。

◇

ハルビンのカセンペン醫院に今から一週間許り前に入院したコノワールと言ふ男があつた、四十日許り前に狂犬にかまれて早速連續注射をしてゐたが復活祭で注射は中止するし、おまけに酒をしたゝか飲んだので忽ち發病して入院したがもう遲かつた醫師も接近出來ない程の恐水病の發作が起り、のた打ち廻つてゐる。

◇

而も同人が復活祭にキッスした相手が三百人は確にあると言ふから驚く、同人が發病したことが傳はると忽ち文字通りの一大センセイションを巻起して醫師の所に盛んに問ひ合せが來る、「キッス丈でも傳染するか」と言ふのである。

◇

處で醫師の證言はこうだ「キッス丈けでも立派に傳染する、例へ本人が潜伏期間中にあつてもやはり傳染する」と、さアそれを聞くと大さはぎで同人が社交界の花形であつた丈けに夫人、未亡人、令孃と言つたやうな意外な連中が朝から病院にワンサワンサと押しかけてゐる【ハルビン支局】

曙の鐘 (284)

倉田潮　河野想多畫

征服（七）

あけみは二人がそこへ來てゐるのを見ると、手を叩いて跳び上りたいほど嬉しかつた。彼女はベル・ボタンを押して、出て來た主人のドイツ人に

「お夏と由太郎が來てゐるわね」

と云つたと思ふと、もう上にあがつてゐた。ドイツ人は周章てゝ遮るやうに手を振つて答へた。

「ゐません、御孃樣」

「ゐるわよ。下駄があるぢやないの」

「否、この日本靴、うちの坊つちやんのものあります」

「何を云つてるの。隱しても駄目よ」

とあけみはドイツ人の手をすりぬけて、勝手を知つてゐる二階へかけ上つて行つた。ドイツ人は燕に飜弄された鷲のやうに間誤つきながら

「日本女、あま――りに禮義知らな過ぎます」

と泣き言を云ひながら後を追つて來た。

「そつちで居留守の不禮を使ふんですもの、こつちの禮を破るのは對等ぢやないの」

あけみは二階の一番右隅の部屋の前に來ると、立止つて人の氣配をうかゞつた。その部屋こそ此の前お夏が由太郎を連れこんだ室だつた。が、そこには何の物音もしなかつた。しかし闖入者に脅えて息をのんでゐるのだと思つて、あけみはすぐ扉を投げ開けた。と、二つ並べた椅子の上にお夏と由太郎が竈なり合つて、壯士芝居のセンチな戀人のやうに闖入者を恐れたやうな風をしてゐた。その甘いポーズがあけみは癪にさはつた。

「お夏」と彼女は憎惡に燃える眼で二人を見つめて、聲を顫はせて云つた。「先夜由太郎を思ひ切るから金を出せなぞと、しらじらしいことを云つておいて、金をさつすに、なほ甘つたるく由太郎と重なり合つて、泣いてゐるやうな風をしてゐる。あけみはムカムカとしたが、今度は由太郎に

「由ちやん、そんな鬼のやうな女に[illegible]うして諦らめ義理立てなんのかい」

お夏はさう云はれても返事もせかするのよ」

と云つても由太郎までお夏の眞似をして返事をしないので、なほ一層カッとなつて

「私が來たんだから、挨拶をなさいよ」

と由太郎の腕をとつて引起さうとした。餅のやうに柔かく重い男の身體はズルズルと二三尺疊の上を滑つたが、由太郎はなほ身を起さなかつた。

「まだ起きないの」

とあけみは跳びよつて、由太郎の體をかゝへ、右手を顎にかけて顏を無理に上にねぢつた。恥羞と恐怖に薄紅く色づいた氣高いやうに美しい顏が、眼を疊に向けたまゝあけみの眼に相對した。あけみはその唇に已の唇を近づけたが、すると急にその時お夏が身を起して、

「お孃樣、あんまりぢやありませんか」

ときつとなつてあけみを瞰んだ

「何云つてんの。この鬼女が。先夜約束した言葉が私を欺く罠だと判つた今、よくもそんなしやあしやあしたことが云へたものだわね」

「わなではありませんわ。由太郎が私を思ひ切つた場合には……ぜあの時も申してあるぢやありませんか、それが思ひ切れないと云ふ以上、私は由太郎と別れなくてもいゝ譯だと思ひますわ」

「お前が狡猾な戀のトリックで、思ひ切るさ云へないやうにしてしまつたのよ」

あけみはさう答へておいて、なほも由太郎の體に白蛇のやうに卷きついて行つた。そして、その紅い唇に已の唇を觸れようとあせつた。

由太郎は手を口にあて體をねぢつてそれを防いだが、怖ろしい執念の蛇の魅力には敵することが出來なかつた。生き物を食ふ花の中に閉ざされた胡蝶のやうに無益に身を悶えるばかりだつた。

あけみは魔術にしびれて自由を失つたやうな由太郎の手を引いて

「さ、此方へ來るのですよ」

と引摺るやうに部屋の外に連れ出さうとした。

けふの放送

大連　JQAK　五月十五日

▲午後零時十分　ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時十分　ニュース
▲滿洲工業講座「建築概觀」村田治郎
▲東明節（以下内地中繼、七時）（一）松の操（二）白百合、唄東明松舟、三味線同吟幸
▲「聲帶描寫」古川緑波、伴奏指揮福田宗吉
▲浪花節「鹽原多助」東家樂燕（以下大連放送局より）
▲五月祭舞踊練習第三回、櫛木龜二郎
▲ニュース
▲氣象通報

名譽のレート化粧料

畏くも伏見宮殿下を總裁として奉戴し目下東京上野公園に於て開催中の第四回發明博覽會に於てレート化粧料本舖株式會社平尾贊平商店出品のレート化粧料は審査の結果同會最高賞たる大賞を授與せられた、之れ同店が不絶國產報國、優良廉給の爲に精進せる努力赤誠の酬ひと云ふ可く我國化粧品界の誇りである

現代（六月號）

「危機に立つ議會政治」「米國は日本に勝ち得るか」その他現代人士の讀まねばならぬ事柄が豐富に力強く載せてある

第四十三回　滿日勝繼碁戰

（沼本氏一回勝二回目）先相先先　高本吉郎氏　沼本到氏

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

—【6】—

●一〇一 ロ十三　○一〇二 ロ十四
●一〇三 ホ十五　○一〇四 ホ十四
●一〇五 ヌ十三　○一〇六 チ十三
●一〇七 ト十四　○一〇八 ロ十二
●一〇九 ヘ六　○一一〇 ヘ七
●一一一 リ十一　○一一二 チ十一
●一一三 ヌ十二　○一一四 チ十二
●一一五 リ十　○一一六 チ九
●一一七 ニ十八　○一一八 ハ十八
●一一九 ニ八　○一二〇 ホ九

▲清水三段講評　白百二〇の約へ無

理隨て黒百三は(い)に夾み白の應手を見白若し(ろ)に下れば黒(は)に切るべく白(に)なれば黒(ろ)に當て白(は)のさき黒(ほ)白(へ)なれば黒十八に打ち何れに變化しても黒大に有利でせう黒百七は百八に締れるが利益又百十七はこに衝き當り白(ち)ならば黒百十八又は白百十七なら黒(ち)に出て打つがよい